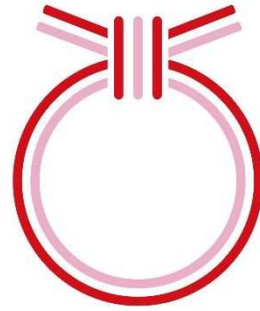


令和6年度(2024)

事業報告及び決算報告書



千代田区社会福祉協議会
Chiyoda Council of Social Welfare

目 次

第1章 令和6年度事業のトピックス・寄付者

1 令和6年度のおもな取り組み・・・・・・・・・・・・・・・・	2
2 令和6年度の区内6地区での取り組み・・・・・・・・	4
3 令和6年度決算概要・・・・・・・・・・・・・・・・	6
4 令和6年度寄付者・・・・・・・・・・・・・・・・	12

●目次・・・・・・・・・・・・・・・・	14
---------------------	----

第2章 千代田区社会福祉協議会の概要

I 千代田区社会福祉協議会が目指すもの・・・・・・・・	25
II 中期経営計画(令和5年度～9年度)・・・・・・・・	26
III 千代田区社会福祉協議会の組織・・・・・・・・	28
IV 千代田区社会福祉協議会の事業体系・・・・・・・・	30

第3章 【資料編】令和6年度 事業報告

I 地域福祉推進事業（担当：地域サポート係・アキバ分室＜コミュニティソーシャルワーク事業＞）

1 コミュニティソーシャルワーク事業・・・・・・・・	32
（1）相談件数・・・・・・・・	32
（2）ふくし出張相談会の実施・・・・・・・・	32
（3）地域の生活課題への理解と支え合いを広げる住民向け学習会・・・・・・・・	33
（4）ちよむすび@万世橋・和泉橋・・・・・・・・	34
（5）関係機関との連携強化に向けた取り組み・・・・・・・・	34
（6）関係機関と協働した取り組み・・・・・・・・	35
（7）地区別プラットフォームづくり・地域の活動者のネットワークづくり・・・・・・・・	35
（8）町会やマンション等集合住宅での支え合い・見守り活動支援・・・・・・・・	35
（9）学校・企業との連携・・・・・・・・	36
（10）新たなつながり・つながりの深まり・・・・・・・・	36
（11）広報活動・・・・・・・・	36
（12）組織内部の支援体制・研修・スーパーバイズ、区との連携・・・・・・・・	37

2	サロン事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	38
3	ご近所福祉活動（町会福祉部活動）事業・・・・・・・・	41
4	広報事業（地域情報メールマガジン）・・・・・・・・	43
5	その他の事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	44

Ⅱ ボランティア・市民活動推進事業（担当：地域サポート係）

<ちよだボランティアセンターの運営>

1	沿 革・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	44
2	事業概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	44
3	地域サポート事務事業・・・・・・・・・・・・・・・・	44
	（1）令和4年度～令和6年度ボランティア活動状況・・・・・・・・	44
	（2）令和6年度活動対象別ボランティア活動件数及び活動延人数・・	45
	（3）相談・コーディネート・・・・・・・・・・・・・・・・	45
	（4）福祉ボランティア出張講座・・・・・・・・・・・・・・・・	45
	（5）ちよだボランティアセンター運営委員会・・・・・・・・	46
	（6）ボランティア・市民活動の調査・・・・・・・・	46
4	ボランティア保険・行事保険・・・・・・・・	47
5	企業による社会貢献活動・・・・・・・・	47
	（1）ちよだボランティアクラブ・・・・・・・・	47
	（2）区内企業による地域福祉課題を解決するプロジェクト・・	49
6	ボランティア活動支援・・・・・・・・	49
	（1）ボランティア登録説明会・学習会・セミナー・・・・・・・・	49
	（2）ボランティアグループ・NPO支援・・・・・・・・	50
	（3）学生向けのボランティア活動支援・・・・・・・・	50
	（4）ちよだ企業ボランティア連絡会・・・・・・・・	51
	（5）こども食堂連絡会・・・・・・・・	52
	（6）区内大学ボランティア・社会貢献活動等担当者連絡会・・	53
7	地域福祉活動提案事業助成金・・・・・・・・	53
8	配食サービス活動支援助成・・・・・・・・	54
9	災害ボランティアセンター事業・・・・・・・・	54
	（1）帰宅困難者対応訓練、避難所防災訓練・・・・・・・・	55
	（2）ちよだ災害モデルネットワーク（CMN）・・・・・・・・	55

(3) 災害ボランティアセンター開設・運営訓練	55
(4) 災害時寄り添いサポーター養成講座（災害時要配慮者支援ボランティア養成講座）	55
(5) 災害ボランティアフォーラム	56
(6) 区内大学災害救援ボランティア養成講座助成	56
(7) 災害ボランティア活動助成金	56
10 介護保険サポーター・ポイント制度	56
11 センター広報誌	57
(1) 「ボランティアセンター情報紙」	57
(2) ホームページの維持管理	57
(3) ボランティア情報ステーションの設置	58
(4) メールマガジンの発行	58
12 広報プロジェクト助成事業	58
13 ふれあい福祉まつり	59

Ⅲ アキバ分室事業（担当：地域サポート係）

1 事業概要	60
2 コミュニティソーシャルワーク（CSW）事業	60
3 協働事業	60
4 サロン事業	61
5 アキバ分室ご近所福祉活動（町会福祉部活動）事業	63
6 アキバ分室PR事業	63
7 食を通じた居場所づくり事業『みりおん家～ごはんもあるよ～』	64

Ⅳ 在宅サポート係事業（担当：在宅サポート係）

1 車いす貸出事業	65
(1) 車いす貸し出し	65
(2) 車いすステーション	65
2 ひとり親家庭支援事業	65
(1) ひとり親家庭児童入学祝い金贈呈事業	65
3 ふたばサービス事業（住民参加のたすけあい家事支援サービス）	66
(1) 事業概要	66
(2) 会員状況	67
(3) 活動状況	67

（４）会員事業	68
４ 生活福祉資金等貸付事業	68
５ 千代田区ファミリー・サポートセンター事業	71
（１）事業概要	71
（２）会員状況	71
（３）活動状況	72
（４）会員事業	74
（５）広報活動	76

V 権利擁護事業・成年後見制度推進機関運営事業（担当：成年後見係）

＜ちよだ成年後見センターの運営＞

１ 福祉サービス利用支援事業	77
（１）日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）	77
（２）財産保管・管理サービス	77
（３）将来に備えるサービス	77
（４）権利擁護・成年後見に関する相談対応件数	78
２ 福祉専門法律相談	78
３ 成年後見制度推進機関運営事業	79
（１）権利擁護人材の育成	79
（２）成年後見制度の利用相談・申立て支援	82
（３）法人後見受任事業	82
（４）運営委員会／区民後見支援委員会	83
４ 理解促進事業（説明会・講演会等）	84
（１）一般への周知（出張講座含む）	84
（２）関係機関への周知（出張講座含む）	85
（３）「支援者のための成年後見制度活用ハンドブック」の発行	86
（４）成年後見センターだよりの発行	87
（５）ちよだ版エンディングノート「私の歩みノート」の発行	88
（６）ちよだ悪徳商法バスターズ活動	89
５ 中核機関運営事業	89
（１）検討支援会議	89
（２）地域連携ネットワーク協議会	89

(3) 地域連携ネットワーク研修会	90
VI 法人運営事業（担当：総務係）	
1 普及宣伝・組織運営・PR事業	91
(1) 地域福祉活動計画策定	91
(2) 会報（社協広報誌「ちよだ社協」）発行	91
(3) 組織強化活動	92
VII 収益事業（担当：総務係）	
1 収益事業	92
(1) 自動販売機設置の推進	92
(2) バザー販売	92
VIII 高齢者活動センターの運営（指定管理者受託 担当：高齢者活動センター）	
1 利用対象・休館日等	93
2 利用実績	93
3 事業内容	94
(1) 健康づくり	94
(2) 講座・講習会	95
(3) 企画運営協力事業	97
(4) 長寿会活動支援	97
(5) 同好会活動・利用者有志活動支援	98
(6) 季節・レクリエーション事業	100
(7) ふれあいクラブ	101
(8) ボランティア活動	101
(9) 見学・実習等受入	102
4 PR等広報活動	102
5 健康マージャン事業	102
6 高齢者体力維持支援等業務（シルバートレーニング）	103
IX ちよだで多世代交流 Ciao!の運営（指定管理者受託 担当：多世代交流事業担当）	
1 利用対象等	105
2 事業等実施状況概要	105
3 事業内容	105

(1) 多世代交流事業	105
(2) 協働事業	109
(3) ボランティア活動	110

X 研修センターの運営（指定管理者受託 担当：研修センター）

1 施設概要	111
2 利用対象等	111
3 事業等実施状況概要	112
4 事業内容	112
(1) ボランティアの育成と活動支援	112
(2) 家族介護者のスキルアップ	113
(3) 介護・福祉従事者のスキルアップ	114
(4) 区民向け福祉・医療学習	120
(5) 介護・福祉人材の育成と就職・復職支援	121
(6) 介護カウンセリング（かがやきカウンセリングルーム）	122
(7) 広報事業（メールマガジン）	122

第4章 【資料編】令和6年度 会計決算書（計算書類等）

1 法人単位計算書類

(1) 法人単位資金収支計算書 第一号第一様式	125
(2) 法人単位事業活動計算書 第二号第一様式	126
(3) 法人単位貸借対照表 第三号第一様式	127
(4) 資金収支内訳表 第一号第二様式	128
(5) 事業活動内訳表 第二号第二様式	129
(6) 貸借対照表内訳表 第三号第二様式	130

2 事業区分の計算書類

(1) 社会福祉事業区分 資金収支内訳表 第一号第三様式	131
(2) 社会福祉事業区分 事業活動内訳表 第二号第三様式	132
(3) 社会福祉事業区分 貸借対照表内訳表 第三号第三様式	133
(4) 計算書類に対する注記	134
(5) 寄附金収益明細書	136

(6) 補助金事業等収益明細書	137
(7) 事業区分間及び拠点区分間繰入金明細書	138
(8) 事業区分間及び拠点区分間貸付金（借入金）残高明細書	139
(9) 基本金明細書	140
(10) 財産目録	141
【拠点区分の計算書類】	
(1) 社会福祉事業拠点区分 資金収支計算書 第一号第四様式	142
(2) 社会福祉事業拠点区分 事業活動計算書 第二号第四様式	145
(3) 社会福祉事業拠点区分 貸借対照表 第三号第四様式	148
(4) 計算書類に対する注記（社会福祉事業拠点区分用）	149
(5) 基本財産及びその他の固定資産（有形・無形固定資産）の明細書	151
(6) 引当金明細書	152
(7) 社会福祉事業拠点区分 資金収支明細書	153
(8) 社会福祉事業拠点区分 事業活動明細書	155
(9) 積立金・積立資産明細書	157
(10) 指定管理事業拠点区分 資金収支計算書 第一号第四様式	158
(11) 指定管理事業拠点区分 事業活動計算書 第二号第四様式	160
(12) 指定管理事業拠点区分 貸借対照表 第三号第四様式	162
(13) 計算書類に対する注記（指定管理事業拠点区分用）	163
(14) 基本財産及びその他の固定資産（有形・無形固定資産）の明細書	165
(15) 引当金明細書	166
(16) 指定管理事業拠点区分 資金収支明細書	167
(17) 指定管理事業拠点区分 事業活動明細書	169
(18) 積立金・積立資産明細書	170
(19) 自動販売機設置等事業拠点区分 資金収支計算書 第一号第四様式	171
(20) 自動販売機設置等事業拠点区分 事業活動計算書 第二号第四様式	172
(21) 自動販売機設置等事業拠点区分 貸借対照表 第三号第四様式	173
(22) 計算書類に対する注記（自動販売機設置等事業拠点区分用）	174
4 付表	
(1) 会計区分表	175
(2) 令和6年度歳末地域たすけあい募金 配分実績表	176

（3）高額寄付者一覧表	177
5 監査報告書	181

第2章

千代田区社会福祉協議会の概要

千代田区社会福祉協議会が目指すもの

～活動理念(Mission)に基づく3つの目標(Vision)と8つの指針(Way)～

活動理念(Mission)

みんなが参加し、ささえ合うまちづくり



千代田区社会福祉協議会
Chiyoda District Social Welfare Council

活動目標(Vision)

1. 公的な制度だけでは対応できない複雑多様な生活上の問題を解決するために、地域の社会資源の活用、多様な団体との協働、新たな仕組みづくりを行い、誰も取り残さない地域社会づくりに取り組みます。
2. 日常の生活圏における住民主体の福祉活動の立ち上げや支援、福祉団体、ボランティア・NPO等の多様な社会資源との関係づくりやネットワーク化を行い、インフォーマルな活動(家族、近隣、友人、民生委員、ボランティア、非営利団体などが行う支援や活動)を創出します。
3. サービスの受け手と支え手という関係を超え、誰もが支え手となり、すべての人が社会参加できる機会を作り、誰もが生きがいを持って生活できる地域共生社会の実現を目指します。

活動指針(Way)

1. アウトリーチを中心とした調査と地域との信頼関係に基づく情報収集により、地域の福祉課題を把握するとともに、社会資源を発掘し、多様な機関との関係づくりを行います。
2. 支援を必要とする人と支援ができる人とを結びつけます。
3. フォーマルサービスやインフォーマルな活動を適切に組み合わせ、必要な支援を調整します。
4. 多様な機関が集まる場を設け、課題解決のための情報共有やケース検討を行います。
5. 既存のサービスだけでは対応できない課題に対し、住み、働き、学ぶ広範な区民の主体的な活動を活性化することにより、新たなサービスや支援の仕組みを創出します。
6. 広範な区民に対して、地域や福祉について関心を持つ機会を提供することで、地域の福祉課題に気づき、地域の活動に参画し、主体的に行動しようという人を増やします。
7. 過剰な情報の中から必要な情報を選択できるよう支援するとともに、意思決定を尊重し、その権利を擁護します。
8. これらを達成するために、地域福祉推進のための体制を整備し、コミュニティソーシャルワークを実践します。

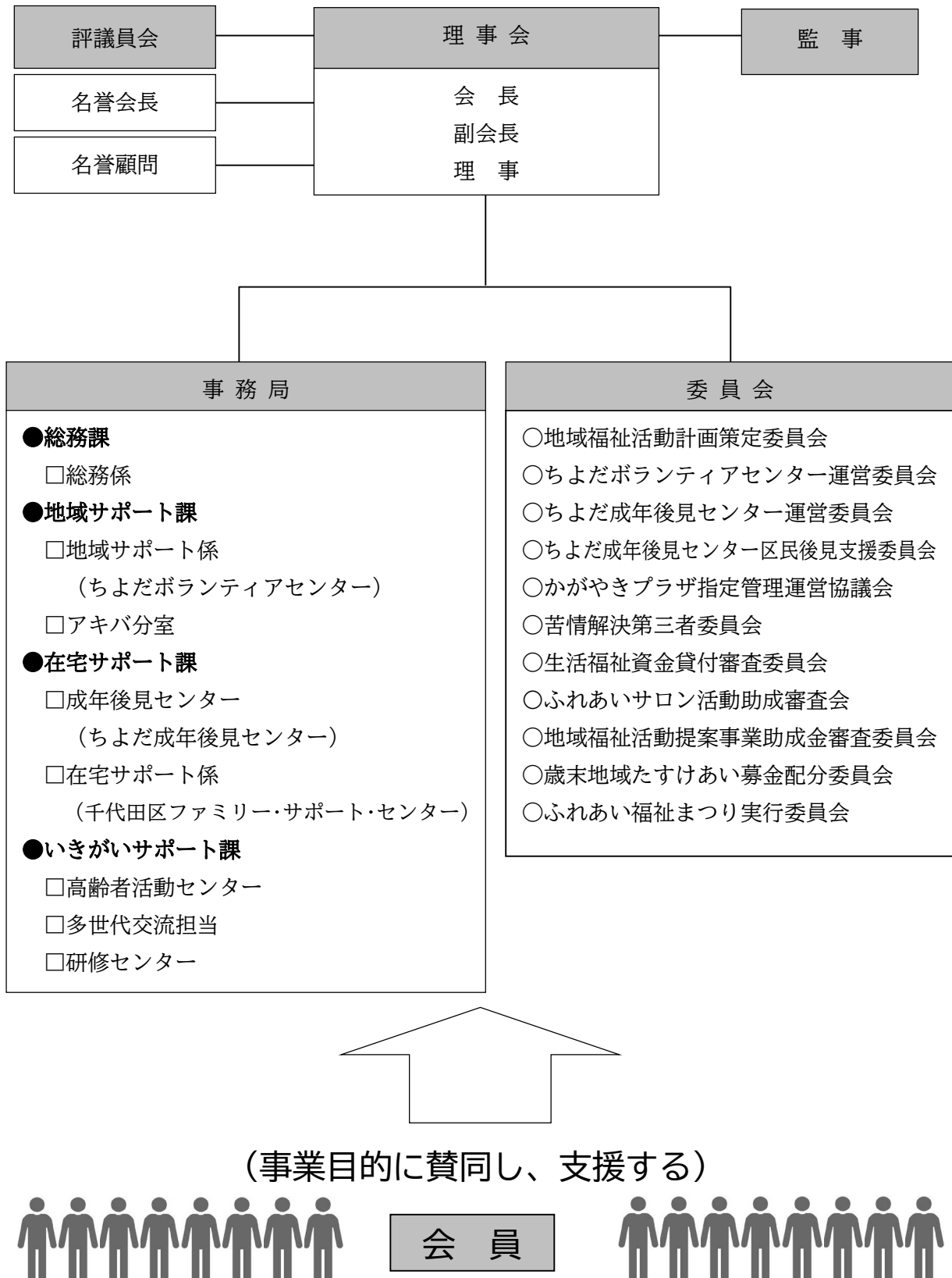
Ⅱ 千代田区社会福祉協議会 中期経営計画(令和5年度～9年度) 体系図

No.	目 標	取り組み
1	つどう	①身近な圏域ごとの常設相談窓口の整備
		②地域交流サロン等の居場所づくり
		③多世代交流イベントの企画・支援
		④地域内の企業・団体・学生等との協働
2	気づく	①地域福祉に関する効果的な情報発信
		②地域に身近な生活課題を話し合う場と機会の確保
		③アウトリーチを中心とした調査と情報収集
3	ささえる	①権利擁護支援の体制整備
		②支援会員、地域生活支援員、区民後見人等の地域における福祉人材の確保・育成
		③ボランティア活動の推進
		④多様な人々が主体となった福祉活動の提案・立ち上げ・運営等支援
		⑤生活福祉資金の貸し付け
4	つなぐ	①コミュニティソーシャルワーカーの配置検討と、職員の能力向上
		②社協内部での連携強化(個別課題から地域課題への発展)
		③区内の社会福祉法人のネットワーク化
		④介護と医療の連携強化
		⑤各制度上のコーディネーターとの連携・調整
5	組織体制 の強化	①デジタル化の普及・推進
		②職員一人ひとりの能力向上と人材確保
		③弾力的な組織編制
		④財政基盤の強化

方針・計画
社会福祉協議会の役割を広く周知し、地区担当職員が地域に出向き、様々なニーズを拾う/出張所を単位に福祉相談窓口として定期的な相談会の実施/一番町はあとサロン(居場所)を活用し、麴町地区の分室を開設
一番町はあとサロンを多世代、多機能型サロンとして整備/麴町・神田地区における子育て世帯向けの居場所の開設・拡充/地域課題を知るための学習会や講座の実施/住民主体の居場所づくり実施団体等の立ち上げ、運営支援
麴町と神田地区、あるいは区内6出張所地区等、エリアをしぼった顔のみえやすい多世代交流の実施/地域の福祉課題をテーマにした多世代交流の実施や地域福祉への理解や活動参加の促進
企業や区内大学と協働したボランティアプロジェクト等を試行実施
情報が見つけやすいようなホームページのレイアウトや親しみやすい情報発信の検討/漠然とした呼びかけではなく、具体性や効果等が分かりやすい情報発信の工夫と SNS を活用した PR の拡充/対象に合わせた情報発信の検討
地域ごとの資源や課題を整理し、まちミーティングの参加者拡充を図る/地域生活課題に関する区民アンケートの実施/地域活動(学習会や相談会)の実施/麴町、神田地区におけるまちミーティング(住民等との課題を話し合う場)の定期的な開催と地域活動等の効果検証
地区担当職員による定期的なアウトリーチの実施/地域生活課題に関する区民アンケートの実施(ニーズ調査)/ニーズと地域資源をコーディネートするにあたり、地域資源の情報管理と情報共有
中核機関の受託・検討支援会議ならびに地域連携ネットワーク協議会の開催/権利擁護支援の地域住民および関係機関への理解促進/身元保証や居住支援に関する調査、取り組み検討
新たな担い手を発掘するため、学生や企業、マンション住民等への出前講座や説明会の実施/支援員の養成講座、フォローアップ研修、交流会などを通じて、支援員活動の継続と質の向上を図る/区民後見人の養成講座の実施
個人ボランティア登録者を拡充し、スキルアップの機会を拡大/新たな担い手を発掘するため、福祉出張講座を強化/企業、大学、団体の強みを活かした課題解決型の活動を創出/生活に困りごとを抱えた外国人や障がい者等を支える仕組みづくり
CSW、ボランティアコーディネーター、人材育成・研修拠点、多世代交流拠点の連携強化により、講座・イベント・地域住民の話し合いの場づくり等を充実
貸付対象外となってもその時点で終結せず、世帯の抱える課題に対し貸付以外の方法で支援ができないか組織全体で検討する/コロナ特例貸付者のその後の生活状況を把握するため、アンケート調査もしくは接触できる機会を検討する。
地域の拠点整備にあわせ、専任のコミュニティソーシャルワーカー配置(令和6年度2名/令和7年度2名)/コミュニティソーシャルワーク実践に関する研修等への参加
地区担当の役割、関わり方の整理/個別や地域ニーズを情報交換会で共有し、定期的に課題検討会を実施/CSW を中心にまちミーティングを実施し、地域課題の整理と取り組みを検討
加入団体の増加/千代田区所管部署との連携/日常業務での連携強化
多職種協働研修で高齢者のテーマだけでなく、複合的な問題を抱える家族に対する地域住民も含めた支援の事例を取り上げ、それぞれの役割についての理解促進、関係強化
コーディネーター連絡会の目的、メンバー構成、すすめ方について、区やメンバーと協議し、地域で活動するコーディネーターのプラットフォームにしていく/地域づくり実践研修の内容の充実を図り、参加を広げる/アウトリーチを強化し、地域で連携すべき関係機関との関係を作る
社内 LAN の無線化と体系的なネットワーク環境の整備/勤怠管理システム及び人事管理システムの導入、連携/事業対象者のコミュニケーションツールとしての IT 機器の導入/本会が有する地域福祉情報等のテキストマイニング、分析の実現/IT リテラシー啓発のための研修/資格取得制度の導入
研修体系の整理/研修履歴を記録する(人事管理システムと連携)・キャリアアップ(昇任)のための資格制度の導入
CSW に合わせた組織体制への再編/昇任選考及び研修等による課長・係長の増員/アキバ分室に倣い、麴町地区に分室を設置
事務費に対する区補助金の導入を要望/寄付金の増額検討/収益事業の増収(自動販売機の増設、区有地を活用した収益事業検討)、基金の創設、財産運用の検討・実施

Ⅲ 千代田区社会福祉協議会の組織

1 全体組織（令和7年4月1日現在）



2 役員名簿 敬称略

※令和7年4月1日現在

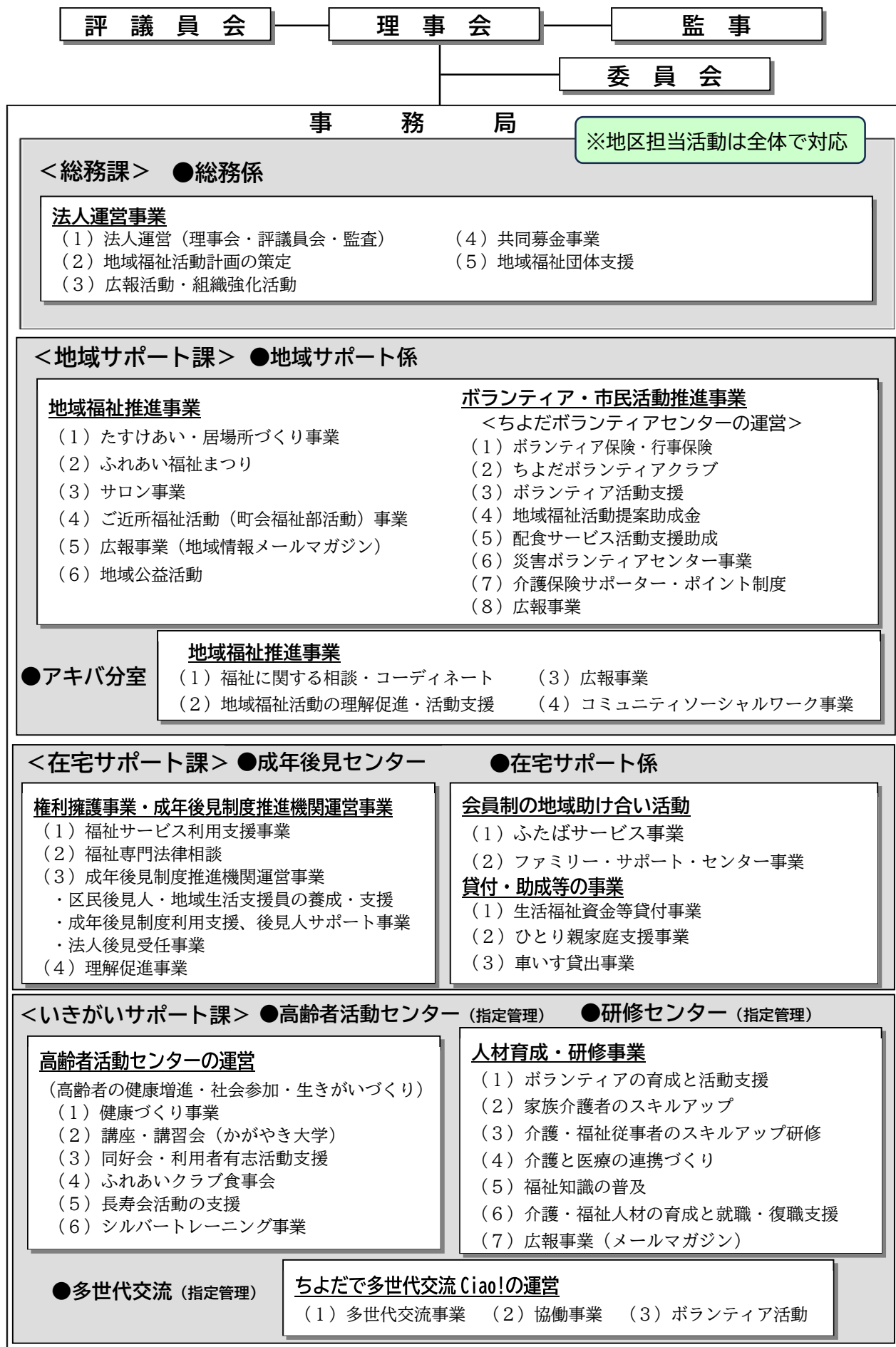
役 職	任期：令和7年度定時評議員会まで
	氏 名
会 長	中井 修
副 会 長	小野田 文紀
副 会 長	角谷 幸子
副 会 長	横山 義文
理 事	大原 正道
理 事	石田 敦子
理 事	赤城 正晃
理 事	三谷 健太郎
理 事	石渡 伸幸
理 事	藤田 義一
理 事	中川 典子
理 事	清水 章
常務理事	(選考中)
監 事	鎌倉 勤
監 事	榎本 滋
監 事	若月 曠義

3 会議等開催状況

会 議 名	回 数
理事会	6 回
監事監査	1 回
評議員会	2 回
評議員選任委員会	1 回
地域福祉活動計画評価委員会	1 回
ふれあい福祉まつり実行委員会	4 回
歳末地域たすけあい募金配分委員会	2 回
ちよだ成年後見センター運営委員会	3 回
ちよだ成年後見センター区民後見支援委員会	3 回
ちよだボランティアセンター運営委員会	3 回
地域福祉活動提案事業助成金審査委員会	1 回
かがやきプラザ指定管理運営協議会	2 回
ふれあいサロン活動助成審査会	2 回（書面持ち回り）

Ⅱ 千代田区社会福祉協議会の事業体系

令和7年4月1日現在



第3章 【資料編】

令和6年度事業報告

第3章 令和6年度事業報告

I 地域福祉推進事業

1 コミュニティソーシャルワーク（CSW）事業※区委託事業

目 的 公的な福祉サービスでは対応できない、公的な制度の狭間で困りごとを抱えている人を支援するために、専門機関・サービス・住民やボランティア団体との連携の調整や新しい仕組みづくりにむけて、コーディネートを行う役割を担います。

沿 革 令和6年4月 区の受託事業として実施
地域サポート係、アキバ分室にコミュニティソーシャルワーカーを1名ずつ配置

予算決算 令和6年度 決算額 23,137,276 円
令和7年度 予算額 21,137 千円

事業実績

(1) 相談件数

合計81件（新規相談のみ）

個別支援	39 件	地域支援	42 件
------	------	------	------

【主な相談内容】

個別支援	・家庭内で家事を担う子どもへの支援 ・高齢者の転居支援 ・要介護状態や子どもの障がい等、複数の課題を抱える家庭に関する相談 ・大人の発達障がいに対する支援 ・家の中が物であふれている高齢者に関する相談
地域支援	・集合住宅内の見守り体制の構築 ・大学生ボランティアサークルネットワークによる子どもへの学習支援のコーディネート ・子ども食堂での高校生ボランティアによる学習支援のコーディネート ・児童支援教室に通う子どもたちへの企業による出前講座、社会科見学受入のコーディネート

(2) ふくし出張相談会の実施

目 的 公的な福祉サービスでは対象とならない生活課題、福祉ニーズや複合的な課題をかかえる住民等からの相談を受け止め、適切な情報を提供し支援へつなげたり、必要な新たな支援体制を構築していきます。

対 象 区内在住者
内 容 区民が気軽に福祉や生活に関する相談ができる身近な場所として、区内6出張所地区ごとに区民館等を利用した相談会を実施。

事業実績

開催日・会場	① 令和6年7月 5日(金) アキバみんなのサロン ② 令和6年7月18日(木) 富士見出張所 洋室B ③ 令和6年9月 3日(火) 一番町はあとサロン ④ 令和6年9月 5日(木) 神保町区民館 洋室AB ⑤ 令和7年2月10日(月) 神田公園区民館 洋室A ⑥ 令和7年2月13日(木) 和泉はあとサロン
参加人数	①2名 ②1名 ※その他個別対応4名(重複含む) ③3名 ※うち親子1組 ④0名 ⑤0名 ※問合せ1名あり、後日個別対応 ⑥2名
主な相談内容	・近所に気になる高齢者への対応について ・家族に呼び寄せられた高齢者の孤独について ・大人の発達障がいについて ・一人暮らし高齢者の不安

(3)地域の生活課題への理解と支え合いを広げる住民向け学習会

目 的	千代田に暮らす誰もが、地域課題を我が事として受け止め、ご近所の悩みや困りごとに気づききっかけとするため、区民と共に考えたい地域課題をテーマに開催。
対 象	区内在住・在勤・在学者
内 容	①ちよだの今を知る～障がい・高齢 地域の課題について学ぶ会～ ②ヤングケアラーを知っていますか？～子どもが子どもでいられる地域について考える会～

事業実績

開催日	① 令和6年6月22日(土)10:00～12:00 ② 令和7年3月 8日(土)10:00～12:00
会場	① かがやきプラザ4階 研修室1・2 ② アキバ分室 みりおんスペース
講師	① 千代田区立障害者福祉センターえみふる 的場氏 高齢者あんしんセンター麹町 飛田氏 ② NPO法人 介護者サポートネットワークセンター・アラジン 理事長 牧野史子氏
参加者	① 28名(町会関係者、民生児童委員、在勤者、ボランティアセンター登録団体、ふたばサービス支援会員、よろず相談 Light 職員など) ② 22名(町会関係者、民生児童委員、在勤者、ファミリーサロンボランティア、こども食堂関係者など)



<6/22 住民向け学習会>



<3/8 住民向け学習会>

(4)地区別プラットフォームづくり(ちよむすび@万世橋・和泉橋)

目的 多様な人々が出会い、互いを知り、地域の課題について話し合う場をつくり、住民への福祉意識の醸成、地域住民の福祉力が高まることで、新たな取り組みが生まれることを目指します。

対象 区内在住者

内容 ちよむすびの趣旨説明(新たな出会いの場、気づきの場、新しいことを生み出していける場)。またお互い(の活動)を知るため話し合いを行う。

事業実績

開催日	① 令和7年2月 8日(土)10:00～11:30 ② 令和7年2月22日(土)10:00～11:30
会場	① アキバ分室 みりおんスペース ② こもれび千桜1階 千桜ホール
参加者	① 11名(民生児童委員・子ども食堂ボランティア・高齢者サロンボランティア・障害者支援事業所・企業・地域住民など) ② 11名(民生児童委員・町会・NPO団体など)



<2/8 ちよむすび@万世橋>



<2/22 ちよむすび@和泉橋>

(5)関係機関との連携強化に向けた取り組み

①コーディネーター連絡会

目的 分野の枠を越えた視点を持ち、他分野のケースを知ることで、本来のコーディネート業務において多角的な視点でコーディネートできるよう、学びや情報交換の場として開催。実際の事例をもとに、他機関連携の方法を検討します。

対象 高齢、障がい、子ども、生活困窮、保健所等のコーディネーターや相談員

内容 CSW事業や区の包括支的な相談体制の説明・実績報告
障害者福祉センターえみふるの事例(8050ケース)や、CSW が実際に受けた複合的な課題のある家庭の事例を基に、分野を越えた事例検討を実施

事業実績

開催日	① 令和6年7月26日(金)10:00～11:30 ② 令和7年1月24日(金)10:00～11:30
参加者数	① 25名 ②26名



②スクールソーシャルワーカーとの情報交換

定期的な情報交換を行い、子どもへの学校内だけでなく、学校の外の生活も含めた一体的な支援ができるように、それぞれの活動状況、社会資源・地域情報、地域課題の共有を行った。

日 時 : 令和6年 7月16日(火)10:00~11:30

12月10日(火)10:00~11:30

参加者 : 延べ12名

教育研究所(学校問題対策専門員、SSW)、児童家庭支援センター、CSW

③地域課題共有会(万世橋地区、和泉橋地区)

福祉部連絡会で出された地域の福祉課題や社協、関係機関が支援の積み重ねから見える共通点を共有するために行った。

日 時 : 令和6年9月4日(水)15:00~17:00

参加者 : 万世橋地区、和泉橋地区を担当する関係機関 15名

(相談センター、あんしんセンター、えみふる、障害者よろず相談Light、SSW、CSW) ※町会福祉部連絡会参加機関

④マンション連絡会への参加

CSW事業の周知をするとともに、情報交換やマンション内での福祉課題把握のために定期的に参加。(隔月開催)

(6)関係機関と協働した取り組み

①障害者支援事業所連絡会への出席

障がい者の計画相談業務に従事する各事業所の相談専門員の連絡会で、CSW事業の説明および相談事例を報告するとともに、地域課題の共有と多機関連携の必要性を伝える。

日 時 : 令和7年2月28日(金)15:00~17:00

参加者 : 障害者支援事業所の相談支援専門員 約20名

(障害福祉課、千代田保健所、障害者よろず相談Light、同行援護事業所mitsuki、NPO法人ホープなど)

(7)町会やマンション等集合住宅での支え合い・見守り活動支援(地区担当の取り組み)

①地区別学習会(神保町地区・神田公園地区・和泉橋地区)

◆神保町地区:町会コラボ企画「孤独死」について考えよう

「町会福祉部連絡会」の中で話が挙がった「孤独死」をテーマに、福祉部の垣根を越えた、意見交換をする場として実施。“町の人考える、孤独死のイメージ”、“孤独死に対して、日頃から何ができるか、各町会、地域で取り組んでいること”のグループワークや町会からの事例発表を行った。

日 時 : 令和6年11月21日(木)14:00~15:30

会 場 : 神保町区民館 洋室A 参加者:7名

◆神田公園地区:「ちいきカフェ」

神田公園地区のニーズを社協・相談センターが把握し、地区のケースを地域住民に共有する。

日 時 : 令和7年2月3日(月)13:30~15:00

会 場 : 神田公園区民館 洋室A 参加者:9名

◆和泉橋地区:25町会向け勉強会「これからも和泉橋地区で暮らしていくために

“今”みんなができること～高齢者サービスについて知っておこう～

福祉部連絡会でそのままになっている課題(孤独死、担い手不足、町会での見守りなど)を共

有し、安心して暮らし続けるために地域にある資源・情報を共有する。

日 時 : 令和7年2月3日(月)18:00~19:00 ちよだパークサイドプラザ
 令和7年2月5日(水)14:00~15:00 こもれび千桜 千桜ホール
 令和7年2月7日(金)18:00~19:00 岩本町ほほえみプラザ

参加者 : 6町会11名 関係機関・社協地区担当職員:4名
 3町会 7名 関係機関・社協地区担当職員:4名
 8町会18名 関係機関・社協地区担当職員:5名

(8)学校・企業との連携

①ゲストティーチャー授業

授業を通じて自分の将来をイメージし、日常の授業や勉強の持つ意味を考える機会とし、小学生が初めて福祉について学ぶため、福祉の入口に触れてもらう

日 時: 令和6年6月8日(土)9:00~12:00
 会 場: 富士見小学校
 対 象: 小学4年生児童97名(3クラス)

(9)新たなつながり・つながりの深まり

紀尾井町ロータリークラブとの協働による寄付のコーディネート	子ども食堂に対する支援を行いたいとの相談があり、9月のみりおん家の見学を調整。当日、必要な物品などをボランティアに直接聞き取りをし、10万円の寄付につながる。
神田ロータリークラブとの協働による寄付のコーディネート	神田エリアの子ども食堂への寄附を行いたいとの相談がある。外神田の子ども食堂「ながさんのおうち」につなぎ、必要な物品の聞き取りを行い、お米 100 キロの寄付につながる。
秋葉原工作室との連携	・みりおん家内でのプラモデルサロンの実施。 ・みりおん家に参加している生徒の居場所支援の相談。 ・ちよむすびへの参加。

(10)広報活動

区内の様々な団体、機関へ CSW の広報を行った。

- ①計39団体に訪問等で直接説明
- ②計25の会議で直接説明

(11)組織内部の支援体制・研修・スーパーバイズ、区との連携

①コミュニティソーシャルワーカー担当者連絡会

目 的 CSW相互におけるピアスーパービジョンの場を作り、CSWの抱えるケースを横断的に進捗を管理する。

実施回数 4月10日 5月8日 6月12日 7月9日 8月14日 9月11日 10月17日
 11月13日 12月10日 1月8日 2月12日 3月5日(計12回)

※情報交換会…担当者連絡会以前に行っていた社協全体の情報交換会。

令和6年度会議形態の見直しを実施し、情報交換会は廃止。

②地区担当リーダー連絡会

目 的 地区担当のリーダーを中心に、地域支援や個別ケースの共有、ピアスーパービジョ

ンなどを実施。
実施回数 5月24日 7月18日 11月5日 11月7日 12月11日 1月8日
 2月12日 3月5日(計8回)

③CSW事業定例会

目的 情報交換会やリーダー会、CSW相談会等で取り組みが必要とされている地域課題の経過の共有、活動の方向性等スーパーバイズ、また今後の方向性について検討する。
実施回数 6月22日 8月14日 10月22日 12月24日 3月5日(計5回)

④社協力UP事業報告会

目的	・係や地区担当を越えたグルーピングで多様な係の事例検討を行うことで、職員の連携や多角的な視点を持った考え方を学び、1年間の係業務や地区担業務での成果や途中経過を職員間で分析し、紹介する機会とする。 ・CSWが関わっていない事例でも、今後CSWが関われるとしたらどのような形で関われるか、という視点で事例検討や紹介を行うことで、CSW事業担当者以外の職員も、今後よりCSWの視点で業務にあたれるような学びの機会とする。
内容	6グループに分け、個別支援、地域支援等CSWと協力して行ったことも含め、特に尽力した事例や行き詰っている事例、深掘りしたい事例等を各職員がグループに持ち寄り紹介、グループで検討。その中から報告会当日に1グループにつき1ケースを発表し、はあとプラン及びCSW事業のスーパーバイザーでも関わりのある菱沼幹男先生に講評をいただき、今後の社協職員としてのCSWの動き方を学ぶ。 【Aグループ】 地域活動に繋げる!大学生と障がいのある子ども達との交流事業(地域支援) 【Bグループ】 『地域デビュー応援講座～マジック習得であなたも地域デビュー!』から広がる地域支援(地域支援) 【Cグループ】 サロン利用者の衛生的・健康的な生活に向けた支援(個別支援) 【Dグループ】 第三者搾取疑い高齢者に対する地域の見守り(個別支援) 【Eグループ】 生活困窮者を知るための学習会から広がる地域支援(地域支援) 【Fグループ】 18歳女性・身体障害および高次脳機能障害者の余暇サポート(個別支援)
開催日	令和7年3月12日(水)17:30～19:30
会場	かがやきプラザ1階 ひだまりホール
講師	菱沼幹男教授(日本社会事業大学)

2 サロン事業

目 的	地域の方々が公共施設や自宅などを活用し、高齢者・障がい者・子育て中の親子などを対象とした健康増進や生きがいづくり、交流などを行うふれあいサロン活動に対して支援を行います。 なお、はあとサロン（いきいきプラザ一番町・和泉会館に設置）とアキバみんなのサロン、三崎町ふれあいサロンについては、職員が常駐し、地域の高齢者が気軽に立ち寄れるスペースとし、高齢者の見守り態勢をつくります。 アキバみんなのサロンは高齢者に限定せず、区内在住どなたでも対象にしています。
根 拠	ふれあいサロン登録要綱、ふれあいサロン活動助成要綱 はあとサロン実施要綱
内 容	ふれあいサロン実施グループに対しその経費の一部を補助 はあとサロンの運営
予算決算	①ふれあいサロン 令和6年度決算額 5,747,337円 令和7年度予算額 6,003,000円 ②はあとサロン 令和6年度決算額 7,107,061円 令和7年度予算額 9,062,000千円
沿 革	平成15年度 ふれあいサロン助成開始 平成20年度 はあとサロンを開室（いきいきプラザ一番町・ジロール神田佐久間町）、三崎町ふれあいサロンを開室、ふれあい健康マージャン教室を開始 平成21年度 3か所目のはあとサロンを開室（かんだ連雀） 計3ヶ所のはあとサロンを運営 平成28年度 9月にジロールはあとサロン閉室 10月に和泉はあとサロン開室 11月より三崎町ふれあいサロン火曜日閉室 令和元年度 8月よりふれあいサロン登録要件の見直し ふれあいサロン活動助成要綱の整備 ①介護予防型ふれあいサロン②居場所型ふれあいサロンに対する活動助成および①に対する立ち上げ助成を新設。 令和3年度 かんだ連雀の連雀はあとサロンは令和3年3月で閉室 4月にアキバ分室開設によりアキバみんなのサロンを開設 令和5年度 10月より、子育てサロンがファミリーサロンに名称を変更。 従来の「親子がイベントを楽しむ場」から「子育てに悩む地域の親子が語り合う場、または相談できる場、地域資源につながる場」として変更。 令和6年度 一番町はあとサロンが対象年齢を設けない、一番町みんなのサロンとなる。

サロン実施状況

区分 \ 年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度
はあとサロン (職員配置型サロン)	4カ所	4カ所 (三崎町ふれあいサロン含む)	4カ所 (三崎町ふれあいサロン含む)
ふれあいサロン (ボランティアサロン)	35カ所	30カ所	31カ所
(その他のサロン)		2カ所	2カ所

※同一のグループが別の会場でサロンを開室した場合は1か所としてカウントする。

※活動休止中のサロン、年度途中で活動終了となったサロンもカウントする。

※令和6年度より、ふれあいサロンを「ボランティアサロン」と「その他のサロン」に分けず、統合することとする。

事業実績

①みんなのサロン（職員配置型サロン）

名称	一番町 みんなのサロン	アキバ みんなのサロン
実施回数	100回	101回
のべ参加者数	1,351人 男146人 女1179人 (内、子ども26人)	859人 男254人 女570人 (内、子ども34人)
ボランティア活動数	211人	281人
会 場	いきいきプラザ一番町	アキバ分室



一番町みんなのサロン



アキバみんなのサロン

②はあとサロン（職員配置型サロン）

名称	三崎町はあとサロン	和泉はあとサロン
実施回数	120回	101回
参加者数	689人 (男262人・女427人)	685人 男234人 女449人
ボランティア活動数	51人	131人
会 場	三崎町ふれあいサロン	和泉会館



三崎町はあとサロン



和泉はあとサロン

③サロンボランティア養成講座

内容	参加者数	講師	日時
地域の居場所で活動するボランティアを養成・すでにボランティアをしている方への継続支援のための学習会	15名	大槻由美氏 「心をほぐす対話力」	8月29日(木)

④ふれあいサロン活動助成金

目 的 ふれあいサロン活動を実施するにあたり、その活動や立ち上げ経費の一部を助成することにより、千代田区内におけるふれあいサロン活動を拡充し地域福祉活動の推進を図ります。

- 対 象** (1)介護予防型ふれあいサロン活動
 体操などの介護予防に取り組みながら、住民同士のたすけあい、支え合いの活動を行うふれあいサロン活動。原則月3回以上で、参加者が10名以上。
- (2)居場所型ふれあいサロン活動
 身近な場所において高齢者や障がい者、子育て中の親などの居場所をつくり、交流や仲間づくり等を行うふれあいサロン活動。原則月1回以上。
- 内 容** (1)介護予防型ふれあいサロン
 ・活動助成金 初年度上限は24万円
 翌年度～20名以上年間上限30万円/10名以上20名未満
 年間上限24万円
 ・立ち上げ助成金 上限10万円
- (2)居場所型ふれあいサロン
 ・活動助成金 年額上限10万円
- 沿 革** 平成26年度より地域福祉活動提案助成金として助成。
 令和2年度よりふれあいサロン活動助成金として新たに要綱を制定。

事業実績 令和6年ふれあいサロン活動助成金支払実績

種類	サロン名	申請額	助成額
居場所型	番町おもちゃ病院	100,000円	100,000円
居場所型	ふれあいサロン万世	82,000円	77,726円
居場所型	ふれあいサロン・ココ	100,000円	92,898円
居場所型	ふれあいサロン・神田	100,000円	73,139円
居場所型	ドレミの丘	150,000円	0円
居場所型	ふれあいサロン♡ ランプの灯	52,500円	19,307円
居場所型	さくらの会	60,000円	10,312円
居場所型	ちよだワークミーティング	100,000円	76,540円
居場所型	四季の会	100,000円	60,228円
居場所型	一般社団法人 ちよママ	100,000円	94,264円
居場所型	キッズキッチンBonape（ボナペ）	150,000円	150,000円
居場所型	就学準備の幼児教室「りりーふ」	100,000円	99,283円
居場所型	子育てママの息抜きサロン	100,000円	90,040円
居場所型	オヤコプラス+	100,000円	100,000円
居場所型	ふれあいいいきサロンヒルフェ	100,000円	65,195円
居場所型	こどもひろば ながさんのおうち	100,000円	100,000円
居場所型	東京ちよだ子ども会	100,000円	0円
居場所型	Colorful LABO	100,000円	57,955円
居場所型	ちよだ日本語カフェSwan face to face	50,000円	17,969円
介護予防型	バーディー木曜会	240,000円	240,000円

介護予防型	ちよだ元気クラブ	240,000円	239,345円
介護予防型	エクサゴールド	240,000円	214,000円
介護予防型	イーグルクラブ	240,000円	239,500円
介護予防型	にこにこ体操クラブ（月）	240,000円	240,000円
介護予防型	にこにこ体操クラブ（火）	240,000円	240,000円
介護予防型	ウォーキングの会	240,000円	228,000円
介護予防型	リモート体操サロン	240,000円	240,000円

3 ご近所福祉活動（町会福祉部活動）事業

目 的 町会等の地域を単位とする地域福祉活動の組織づくりを支援し、地域住民が互いに支え合える地域社会の実現に努めます。

根 拠 ご近所福祉活動事業実施要綱

内 容 ①ご近所福祉活動をすすめる町会に活動助成金（年間6万円）。
 ②ご近所福祉活動の企画提案、活動の支援。
 ③困ったことがあったら相談にのり、必要に応じて関係機関へつなぐ。
 ④新しい福祉サービスなど地域福祉情報の提供。
 ⑤研修会や福祉部同士の情報交換。
 ⑥活動中の事故に備えた保険に加入。
 社協職員が地区担当制をとり、地域福祉の推進づくりをすすめています。

予算決算 令和6年度決算額 5,791,001円

令和7年度予算額 13,975千円

沿 革 平成10年度より開始

事業実績 ※（ ）内は年度内新規加入町会数

区分 \ 年度	令和6年度 (内年度内設置町会数)	令和5年度 (内年度内設置町会数)	令和4年度 (内年度内設置町会数)
福祉部設置町会	68町会 (0町会)	68町会 (1町会)	67町会 (1町会)

①町会福祉部の主な活動内容

※集計数 66町会（福祉部設置68町会のうち）令和6年月初旬集計

町会福祉部活動内容	令和6年度	令和5年度	令和4年度
高齢者への訪問、安否確認の実施	57町会 (のべ188回)	55町会 (のべ168回)	56町会 (のべ208回)
福祉部打合せ、社協との情報交換の実施	57町会 (のべ121回)	46町会 (のべ88回)	60町会 (のべ118回)
地域イベント時の対応・送迎等	5町会 (のべ6回)	14町会 (のべ15回)	15町会 (のべ15回)
茶話会、食事会の実施	39町会	37町会	30町会
延べ実施回数	154回	174回	107回

講座、勉強会等の実施	14 町会	33 町会	37 町会
------------	-------	-------	-------

事業項目	内容／実施日	実績
町会福祉部 連絡会	①町会福祉部活動の現状の共有とC S W事業の説明 ②町会福祉部同士の情報交換や地域情報の共有により、活動の課題や困りごと解決のきっかけをつくる。 ③行政・社協・あんしんセンター・相談センターをはじめとする区の関係機関等による情報提供による、各町会福祉部の活動推進 ◆日時/場所 ※時間は共通で13:30~15:00 ① 麴町地区 7月17日(水) 麴町区民館 ② 富士見地区 6月18日(火) 富士見区民館 ③ 神保町地区 7月4日(木) 神保町区民館 ④ 神田公園地区 6月25日(火) 神田公園区民館 ⑤ 万世橋地区 6月26日(水) 万世橋区民館 ⑥ 和泉橋地区 7月8日(月) 和泉橋区民館	参加者数(合計 223 名) ① 麴町地区 24 名 (関係機関・社協職員 20 名) ② 富士見地区 14 名 (関係機関・社協職員 24 名) ③ 神保町地区 22 名 (関係機関・社協職員 12 名) ④ 神田公園地区 15 名 (関係機関・社協職員 20 名) ⑤ 万世橋地区 14 名 (関係機関・社協職員 19 名) ⑥ 和泉橋地区 21 名 (関係機関・社協職員 18 名)
ご近所かわらばん	「ご近所福祉活動(町会福祉部活動)」の推進のため、地域の福祉部活動の取り組みの紹介や、新しい福祉サービス・地域の情報を発信。 ① 53号 発行日:6月10日(月) (全地区版) ② 54号 発行日:9月20日(金) (地区別版) ③ 55号 発行日:2月14日(金) (地区別版)	①発行部数:9,000部 ②③発行部数 麴町:1,200部 富士見:1,400部 神保町:2,100部 神田公園:1,100部 万世橋:2,000部 和泉橋:1,200部
ご近所かわらばん (ウェブ版)	ご近所福祉活動事業担当者および、各地区担当が発信するブログで、地域の福祉部活動の取り組み、地域やご近所の集まり・イベント情報などを中心に発信。	※随時発信

事業項目	内容／実施日	実績
地区担当制	社協の地区担当職員が、それぞれの地区の町会および福祉部の実施する事業やイベント等へ参加し、福祉部の活動の推進、地域の皆様との顔の見える関係づくりを行った。	＜参加回数/のべ人数＞ 麴町地区：20 回/67 人 富士見地区：29 回/73 人 神保町地区：29 回/70 人 神田公園地区：18 回/45 人 万世橋地区：25 回/56 人 和泉橋地区：20 回/49 人
地区担当職員によるアウトリーチ	地域へのアプローチを実施。地区担当職員が、地区担当内の様々な機関・企業・団体・住民等のもとへ出向き、関係づくりや地域資源・課題の把握を行った。	＜実施件数＞ 麴町地区：8 件 富士見地区：14 件 神保町地区：10 件 神田公園地区：8 件 万世橋地区：9 件 和泉橋地区：10 件



西神田町会 敬老祝い品配付

錦町三丁目第一町会
神田防災ウォーキング

4 広報事業（地域情報メールマガジン）

目 的	地域住民、ボランティア、企業、NPO等が連携を図るための情報を掲載したメールマガジンを配信することで、地域福祉活動への参加、ならびに推進を図ります。
根 拠	地域情報メールマガジン事業要綱
内 容	隔週火曜日に千代田区の地域活動やボランティア情報の配信
予算決算	令和6年度決算額 2, 9 1 5, 8 3 9 円 令和7年度予算額 3, 2 4 4 千円
沿 革	平成15年度より実施（毎月10回配信） 平成25年度9月より、地域情報とボランティア情報を合わせ、「千代田でつながるメールマガジン（つなメール）」として新たに配信を開始（毎週火曜日配信） 令和6年度より、隔週火曜日の配信に変更
事業実績	千代田でつながるメールマガジン「つなメール」

年度 区分	令和6年度	令和5年度	令和4年度
配信回数	26回	52回	51回
読者数	1,648人	1,697人	1,671人

ンプで記録し、ポイント化することで翌年の介護保険料に充てるための資金

5 その他事業

①令和6年度 共立女子大学看護学部「地域看護学援助演習」インタビュー受け入れ

内 容	・千代田区の地域特性や高齢者、母子の特徴 ・高齢者、母子支援の取り組みやその中での課題 上記についてインタビュー形式の演習を受け入れ実施。
開催日 参加者数	10月24日（木）9時30分～12時 共立女子大学看護学部2年生 36名

Ⅱ ボランティア・市民活動推進事業

<ちよだボランティアセンターの運営>

1 沿革

千代田区内のボランティア活動の活性化を図るため、
昭和59年4月 千代田区社会福祉協議会事務局内にボランティアコーナーを開設。
「地区ボランティア活動推進事業協力地区」に指定される。
平成7年 5月区の施設「いきいきプラザ一番町」2階に移転。
名称を「ちよだボランティアセンター」と改称。
平成13年3月 西神田庁舎3階に移転。非営利な市民活動（NPO）
を含めた広範で多様な活動の支援・協働を推進。
平成20年3月 同庁舎4階に移転
平成27年11月 「かがやきプラザ」4階に移転
「かがやきボランティアサロン」オープン



かがやきボランティアサロン

2 事業概要

目 的 千代田区に集うすべての人々のボランティア・市民活動への参加促進と活動の活性化
を図り、地域の福祉を推進します。
根 拠 ちよだボランティアセンター設置規程
利用時間 月曜日～土曜日 午前8時30分～午後5時15分
※日曜日・国民の祝日、年末年始を除く

3 地域サポート事務事業

予算決算 令和6年度 決算額 1,086,434円
令和7年度 予算額 1,244千円

（1）令和4年度～令和6年度ボランティア活動状況

年 度	令和6年度	令和5年度	令和4年度
個人ボランティア登録者数※	68	120	235
登録グループ数	115	120	135

活動件数 (件)	個人・団体等	6,781	7,466	4,611
	受託事業	0	0	0
	計	6,781	7,466	4,611
活動延べ人数 (人)	個人・団体等	32,878	31,851	25,831
	受託事業	0	0	0
	計	32,878	31,851	25,831

※個人ボランティア登録者：既存の制度では対応が難しい個別の福祉課題に対して、ボランティアセンターに登録し協働する意志のある活動者のこと
 ※活動件数・延べ人数は、活動状況調査の回答があった個人・団体の総数

(2) 令和6年度活動対象別ボランティア活動件数及び活動延人数

個人及びグループ活動

種 別	内 容	活動件数	活動延人数
施 設	高齢者施設、障がい者施設、児童施設、美術館、博物館など	1,265件	3,700人
ボランティアグループ NPO等	国際協力、障がい者支援、高齢者支援 環境保護、子ども・家庭支援、手話など	2,774件	10,075人
個 人	使用済み切手整理、傾聴ボランティアなど	67件	259人
社会福祉協議会	ふれあいサロン、地域行事他	1,351件	10,033人
合 計		5,457件	24,067人

(3) 相談・コーディネート

目 的 多様なボランティア活動・市民活動に関する相談を受け、コーディネートを図ることにより、地域の福祉活動をすすめます。

事業実績

年 度	令和6年度	令和5年度	令和4年度
1) 相談	699件	779件	1,057件
ア ボランティア活動希望相談	76件	101件	159件
イ ボランティア募集相談	23件	44件	61件
ウ その他の相談	600件	634件	837件
2) 活動件数	5,457件	6,411件	4,493件
ア 個人・団体等	5,457件	6,411件	4,493件
イ 受託事業	0件	0件	0件

(4) 福祉ボランティア出張講座

目 的 ボランティア・NPO等の協力を得て、学校・企業・団体等へ出張し、車いすや手話等の体験、環境、ボランティア等の講座を実施し、ボランティア・市民活動への理解を深め、参加のきっかけづくりをします。

対 象 企業・学校・団体等（原則として区内）

内 容 ボランティア・市民活動や環境・福祉に対する理解促進のための出張講座等を行います。

沿 革 平成7年度より開始



事業実績

年 度	令和6年度	令和5年度	令和4年度
開 催 数	15回	21回	10回
人 数	1,420名	2,194名	1,809名

団体名	開催内容	回数	参加者数
二松学舎大学	ボランティア入門講座	2回	97名
東京歯科大学短期大学 2年	ボランティア入門講座	1回	46名
日本大学理工学部 建築学科 3年	手話体験講座・車いす体験講座	2回	374名
第一学院高等学校 秋葉原キャンパス	ボランティア入門講座	1回	31名
都立日比谷高等学校 1年	ボランティア入門講座・手話体験講座 ※ボランティア入門講座後に切手整理活動の実施	2回	660名
三輪田学園高等学校 2年	車いす体験講座	1回	153名
三輪田学園中学校 2年	ボランティア入門講座	1回	228名
麴町小学校 4年	車いす体験講座・手話体験講座・ アイマスク体験講座・	3回	309名
女子学院中学校 3年	アイマスク体験・車いす体験	1回	225名
MSD製薬株式会社	車いす体験	1回	25名
合 計		15回	2,138名

(5) ちよだボランティアセンター運営委員会

目 的	運営委員会を組織することで、ボランティアセンターの全体の運営や区内のボランティア・市民活動に関する意見を吸収し、事業の立案や評価に生かすことを目的とします。
根 拠	ちよだボランティアセンター運営委員会要綱
委員構成	知識経験者1名、町会1名、民生・児童委員1名、ボランティアグループ2名、NPO・NGO1名、地域福祉団体2名、地域活動団体1名、企業関係者1名、福祉施設1名、教育機関2名、行政機関1名、社協役員2名 計16名
内 容	事業計画の検討、実施事業の評価・反省、役割分担（広報、講座、運営評価等）についての打ち合わせ、報告を行います。
沿 革	平成13年度より設置

事業実績

年 度	令和6年度	令和5年度	令和4年度
運営委員会開催数	3回 (ZOOMと対面を併用して開催)	3回 (ZOOMと対面を併用して開催)	3回 (ZOOMと対面を併用して開催。)

(6) ボランティア・市民活動の調査

目 的	ボランティア・市民活動のボランティア活動の状況を把握するため、ボランティアの受入れ状況を調査することを目的とします。
対 象	ボランティア・NPO・市民活動グループ等
内 容	月毎に活動内容とボランティアの人数を調査

事業実績

年 度	令和6年度	令和5年度	令和4年度
調査	①ボランティア活動調査 ②ボランティア登録団体现況調査	①ボランティア活動調査 ②ボランティア登録団体现況調査	①ボランティア受入調査 ②コロナ禍におけるボランティアグループの活動調査

4 ボランティア保険・行事保険

目 的	千代田区内で安心して、安全にボランティア活動を行ってもらうことを目的に実施
対 象	千代田区内でボランティア活動をする方で、ボランティアセンターにボランティア登録をする方
内 容	ボランティア保険、行事保険の加入事務 ボランティア保険料の一部助成（令和4年度まで）
予算決算	令和6年度 決算額 7,400円 令和7年度 予算額 128千円

事業実績

		令和6年度	令和5年度	令和4年度
ボランティア保険(人数)	助成あり			693名
	自己負担	2,275名	5,118名	4,498名
行事保険(件数)	自己負担のみ	259件	241件	197件

5 企業による社会貢献活動

(1) ちよだボランティアクラブ

目 的	企業とその社員が、地域のボランティアグループや福祉施設等とつながりをもち、法人としての企業と個人としての社員が地域福祉の推進を図ります。
対 象	区内の企業・ボランティアグループ・福祉施設など
内 容	企業は、任意で自社の社員が地域や施設等でボランティア活動をした時間に応じた金額を社会福祉協議会に寄付します。社会福祉協議会は、いただいた寄付金をボランティア活動の受け入れ団体等に配分します。企業としては、自社の社員のボランティア活動時間等実績報告を専用ホームページで把握することができ、CSR報告書等で活用することができます。
沿 革	平成17年度から実施 平成21年3月に専用ホームページを立ち上げる。 平成21年3月より企業社員自らが会員登録を行ってカードを所持し、カードのID番号で活動の記録を行うシステムに変更。 同時に企業の寄付を任意として「ちよだボランティアクラブ」に名称変更。 平成25年3月ホームページ全面リニューアル。
予算決算	令和6年度 決算額 1,173,557円 令和7年度 予算額 1,168千円



カード見本

事業実績

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
参加企業数	82社	81社	75社
受入れ団体数	55団体	55団体	55団体
総活動時間	615時間	929時間	664時間
寄付金額	480,000円	484,000円	232,000円

【マッチング企業】 18社

- 1)ジブラルタ生命保険株式会社 2)前田建設工業株式会社 3)丸紅株式会社
- 4)MS & ADインシュアランスグループホールディングス株式会社
- 5)三菱地所株式会社 6)安田不動産株式会社 7) NTT コミュニケーションズ株式会社 ヒューマンリソース部
- 8)株式会社サンメディア 9)千代田区社会福祉協議会はあとユニオン
- 10)株式会社コスモテック 11)ソニー銀行株式会社
- 12)日本アムドックス株式会社 13)明豊ファシリティワークス株式会社 14)ブルームバーグL. P.
- 15) 株式会社日陸 16) 株式会社ホスピタリティエージェント 17) Celonis 株式会社
- 18) ハイトマンインターナショナル LLC

【参加企業】 64社

- 1)株式会社大和証券グループ本社 2)株式会社大塚商会 3)ダイダン株式会社
- 4)三和電子株式会社業務統括部 5) 三菱製紙株式会社
- 6)明治安田生命保険相互会社 7)三菱ガス化学株式会社 8)ライフネット生命保険株式会社
- 9)株式会社セブン銀行 10)株式会社ゼンリン 11)興産信用金庫
- 12)東海旅客鉄道労働組合新幹線地方本部新幹線鉄道事業本部支部 13)プロロジス
- 14)株式会社デジタルライン 15)城南信用金庫神田支店 16)新ケミカル商事株式会社本社
- 17)日管株式会社東京支店 18)株式会社協同宣伝 19)クラスメソッド株式会社
- 20)日本ゼオン株式会社 21)双日株式会社
- 22)ロジスティック・プランニング・スタッフサービス株式会社
- 23)城南信用金庫九段支店 24)興研株式会社 25)株式会社農心ジャパン
- 26)明治安田生命保険相互会社 総合法人第五部 27) 三菱UFJファクター株式会社
- 28)三菱樹脂株式会社 29) 大和リース株式会社東京本店 30)向井建設株式会社
- 31)株式会社NEXCO保険サービス 32)日立自動車交通株式会社 33)隼町クラブ
- 34)株式会社マイナビパートナーズ 35)クミ化成株式会社
- 36)全国土木建築国民健康保険組合 37)ヤフー株式会社 38)株式会社東京金融取引所
- 39)ハワイアン・エアーラインズ・インク
- 40)株式会社パソナグループ 41)株式会社セールスフォース・ジャパン社会貢献室
- 42)コマニー株式会社 43)ブライトリンクス株式会社 44)リコーリース株式会社
- 45)株式会社日本コンラックス 46)株式会社 LIFULL senior 47)RIKAI 株式会社
- 48)西村あさひ法律事務所 49)ソフマップ労働組合 50)株式会社 Hibou
- 51)明治安田損害保険株式会社 52)株式会社セブン&アイクリエイトリンク
- 53)株式会社ユタカ 54)ジョンソン・マッセイ・ジャパン合同会社 55)株式会社 GRCS
- 56)インサイト・バイオサイエンス・ジャパン合同会社
- 57)旭・デュポン フラッシュスパンプロダクツ株式会社 58)川崎汽船株式会社
- 59)明治安田生命保険相互会社 品質管理部 60)株式会社サンゲツ
- 61)三菱ガス化学トレーディング株式会社 62)ケネディクス株式会社
- 63)株式会社フジヤマ 東京支店 64)株式会社明治安田総合研究所

(2) 区内企業による地域福祉課題を解決するプロジェクト

プロジェクト名	参加企業・施設	内容
出前授業	明治安田生命保険相互会社 品質管理部 × 千代田区立教育研究所「はくちょう教室」	○様々な理由で学校に通えない学生が自主学習をする場である「はくちょう教室」にて、金融保険の出前授業を実施。 ○小学生向けと中学生向けに授業を分けることで、それぞれのレベルに合わせより理解を深めることができた。
社会科見学	明治安田生命保険相互会社 品質管理部 × 千代田区立教育研究所「はくちょう教室」	○上記の出前授業の延長線上で、社会科見学と題して会社見学を実施。会社説明、社員との対談や疑似名刺交換などを行った。 ○普段先生以外の大人と関わる機会の少ない子どもたちにとって、働くことが少し身近に感じる事ができた。
地域模擬面接官	神田一橋中学校 × ちよだ企業ボランティア連絡会 参加企業	○3年生の進路選択の一環として学校で面接練習を行うこととなり、コロナ過で少なくなっていた地域との繋がりを取り戻すため、ちよだ企業ボランティア連絡会参加企業に面接官ボランティアを募集。



明治安田生命保険相互会社 品質管理部×千代田区立教育研究所「はくちょう教室」

6 ボランティア活動支援

予算決算	令和6年度	決算額	434,517円
	令和7年度	予算額	730千円

(1) ボランティア登録説明会・学習会・セミナー

目 的	ボランティア・市民活動への理解を深め、参加のきっかけづくりをします。
対 象	在住・在勤者、在学者など
内 容	現在ボランティア活動をしている方同士の情報交換、課題の共有、個別相談

日 時	内 容	参加者数
令和 7 年 3 月 18 日（火） 13:30～15:00	ボランティア学習会 「聞き上手になるためのコツ～傾聴のススメ～」 ① 「傾聴」の前提として、相手に話してもらうために ② 会話の留意点 ③ 傾聴の実践	48 名

(2) ボランティアグループ・NPO支援

連携・協働・協力事業

目 的 学校や企業、地域の様々な事業等に支援・連携・協働することにより、ボランティア・市民活動への理解と促進を図ります。

年 度	令和6年度	令和5年度	令和4年度
件 数	11件	15件	14件

<事業実績>

団体・企業名	事業名	協力・共催・協働内容
東京ボランティア・市民活動センター	令和6年度都内ボランティアセンター新任職員研修	現場訪問の受入れ
九段生涯学習館	令和6年度ちよだ生涯学習カレッジ	講師協力
千代田区	障がい者週間	展示協力
専修大学国際コミュニケーション学部	多文化共生論	区内在住外国人・外国にルーツがある方について生活課題の講話
あんしんセンター神田	認知症カフェ（防災講話）	講師協力
東京家政学院中学校	教育活動「ポスタビ」	取材協力
共立女子大学	千代田区における食品ロス削減計画とフードドライブ活動	千代田区清掃事務所と一緒に登壇。区の概況や福祉等の総論を説明
Family couch	ニチレイMIRAIterrace財団「食を通した居場所づくり応援プロジェクト」	助成申請申込みにもなう推薦文の寄稿
なないろkitchen	公益財団法人 キューピーみらいたまご財団 2024年度 第Ⅱ期助成プログラムB	助成申請申込みにもなう推薦文の寄稿
NPO法人リープ・ウィズ・ドリーム	読売福祉文化賞 表彰部門 高齢者福祉部門 助成申込	助成申請申込みにもなう推薦文の寄稿
公益財団法人東京都つながり創生財団	2024年度多文化共生コーディネーター研修	講師協力

(3) 学生向けのボランティア活動支援事業

①夏の中高大学生向けボランティア活動の情報発信

目 的 夏休み期間中に参加できるボランティア活動情報を提供し、ボランティア活動のきっかけを作ることを目的とします。

対 象 区内在住・在学の中学生以上の生徒・学生

内 容 区内の高齢者施設、保育園、児童館等にボランティア受入れの調査を行い、その結果のボランティア活動情報をホームページ等で提供。

②ちよだ大学生ボランティアサークルネットワーク

目 的 区内大学のボランティアサークル同士のネットワークづくりや地域課題に向けた取り組みをします。

事業名	回数	活動者数
ちよだ大学生ボランティアサークルネットワーク定例会	9回	のべ46名
みんな集まれ 大学生といっしょ！	3回	のべ55名
大学生と宿題をすすめる会	3回	のべ21名
ふれあい福祉まつり 防災バッグづくり	1回	18名

(4) ちよだ企業ボランティア連絡会

目 的 社会貢献活動に関心を持つ区内企業との協働で事業の企画・開催、及び情報交換を行います。

対 象 区内に事業所があり、社会貢献担当部署かそれに該当する部署をもつ企業。

内 容 定例会を3ヶ月に1回開催するほか、会員企業の中から幹事企業を決めて、各種の連絡会事業をすすめます。

沿 革 平成8年度発足

事業実績

年度	令和6年度
定例会	①令和6年5月29日(水) 24名 ②令和6年9月12日(木) 14名 ③令和7年1月23日(木) 22名 ④令和7年3月11日(火) 25名 ※いずれもハイブリッドにて開催。①はアキバ分室、④は企業の会場を借りて実施。

実施事業	(1)一番町散策会 令和6年5月11日(土) 19名 コロナ過から数年振りの開催 (2)ぴかいちえんにち 令和6年8月22日(木) 30名 (3)第22回ふれあい福祉まつり 防災関連ブース出展 令和6年10月11日(土) 16名 (4)サンタクロースボランティア ①プレゼント作りボランティア 令和 6年11月15日(月)～令和 6年12月 6日(金) 115名 ②サンタクロースボランティア交流実施(9か所) 21名 a. 令和6年12月18日(水)(アキバみんなのサロン) a. 令和6年12月21日(土)(ジロール麴町) b. 令和6年12月21日(土)(一番町高齢者在宅サービスセンター) c. 令和6年12月21日(土)(高齢者活動センター) d. 令和6年12月21日(土) (児童発達・放課後等デイサービス「ぴかいち」) e. 令和6年12月21日(土)(フォーユーデイサービス淡路) f. 令和6年12月21日(土)(かんだ連雀) (5)学習会(「区内現状を知り社会貢献活動に深みをもたせよう」) ゲストスピーカー 千代田区立教育研究所「はくちょう教室」加藤 景子氏 千代田区立子ども発達センター「さくらキッズ」山崎 佳生子氏 千代田区社会福祉協議会 アキバ分室 渡辺 はるか氏 令和7年 2月12日(水) 18名
------	--

【加入企業名(令和7年3月現在16社)】※休会企業除く。

- 1) ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社 2) 岡谷鋼機株式会社 3) NECネットエスアイ・グループ
4) プロロジス 5) カルビー株式会社 6) 株式会社バスクリン 7) 株式会社セールスフォース・ジャパン
8) 株式会社パソナグループ 9) 株式会社明星電気商会 10) 株式会社久原醤油東京営業所
11) 向井建設株式会社 12) 株式会社あおぞら銀行 13) Celonis 株式会社
15) レノボ・ジャパン合同会社 16) インフォーママーケティングジャパン株式会社

(5) こども食堂連絡会

目 的	区内で子ども食堂の運営や支援を行っている団体が課題の共有や連携を図り、こども食堂の取組みの輪を広げることを目指します。
対 象	区内で子ども食堂を行っている団体等
内 容	各子ども食堂における状況報告(担当者自己紹介/活動内容や取組み状況)および意見交換
沿 革 事業実績	令和6年度より実施

開催日	令和6年11月9日(土)10:00～11:00
会場	かがやきプラザ4階 研修室2
参加者	千代田区内の子ども食堂9団体(※一部多世代交流食堂を含む) (ながさんのおうち・キッズキッチンBonape・麺屋のろし・ちよもぐ・みりおん家・Papahale)

（６）区内大学ボランティア・社会貢献活動等担当者連絡会

目 的	区内の各大学のボランティア・社会貢献活動の担当者が集まり、顔の見える関係づくりを行うことで、相互の情報交換や課題の共有を行うとともに、当会との連携強化を図り、協働して大学生によるボランティア活動の推進を図ることを目指します。
対 象	区内にキャンパスを置く大学
内 容	各大学における状況報告（ボランティア活動や主な取り組み等）と・意見交換（課題、質問など）
沿 革	令和６年度より実施

開催日	令和６年７月２５日（木）１４：３０～１５：００
会場	かがやきプラザ４階 研修室１・２
参加者	千代田区内にキャンパスを置く１５大学 （上智大学・大妻女子大学・二松学舎大学・法政大学・専修大学・明治大学・共立女子大学・日本大学経済学部） ※日本大学は学部ごとに部署を置くため別大学としてカウント

７ 地域福祉活動提案事業助成金

目 的	千代田区の地域福祉を推進するために活動する非営利な団体に対し助成金を交付することにより、千代田区民の地域福祉への参加ならびに活動の促進を図ります。
対 象	有償・無償を問わない非営利な区民主体の公益的な活動（区内の高齢者・障がい者・児童を対象とした、生活支援・居場所づくり・サポート等）を行う団体。
内 容	年額上限１０万円（特例１５万円）を助成します。
予算決算	令和６年度決算額 ４，０３３，０００円 令和７年度予算額 ３，１２７千円
沿 革	平成２６年度より地域福祉活動提案事業助成金を開始 （環境福祉助成金、福祉ボランティア活動支援助成金、ふれあいサロン助成金） 令和２年度よりふれあいサロン助成金は制度変更で別助成金となる。
事業実績	

年 度	令和６年度	令和５年度	令和４年度
件 数	２５件	２８件	３３件

【令和６年度 助成グループの内訳】

グループ名	助成金額	グループ名	助成金額
ちよだ・おはなしひろば	95,710円	千代田こども芸術協会	100,000円
わらべファミリー	50,000円	歯っぴーちよだ	21,594円
Fujimi Action	82,268円	なでしこフレンズ	30,000円
双子ちゃん三つ子ちゃんの会	27,652円	ヘルマンハープ琴和	36,730円
抹茶の会	7,344円	神田お手玉の会	0円
スポーツウエルネス吹矢東京千代田会	79,735円	チャチャ庵！	26,924円
MCW「歩こう教室」	95,691円	腹式呼吸クラブ	35,392円

グループ名	助成金額	グループ名	助成金額
ひつじの会	98,695円	ちよだ絵本の会	36,790円
ちよだ日本語カフェSwan	42,451円	Nailsarasa	100,000円
市ヶ谷だいじょうぶ！カフェ	100,000円	災害時寄り添いサポーターの会	58,367円
たまり場あつまろう会	98,667円	ながさんのおうち	100,000円
障がいをもつ子どもの現在と未来を考える会	38,593円	一般社団法人エスコートダンス協会	12,700円
サタデースクールちよだ	18,741円	－	－

8 配食サービス活動支援助成

目 的	配食サービス活動を行うボランティアグループを支援し、活動助成金を交付することで、地域福祉を推進することを目的とします。
対 象	配食ボランティアグループ（なでしこ麴町・なでしこ万世橋・なでしこ神保町）
内 容	ひとり暮らしの高齢者または高齢者世帯、障がい者へ、手作りのお弁当を配る活動を行っているボランティアグループに対して、助成金の交付や活動上の相談などを行っています。
沿 革	平成9年度より実施
予算決算	令和6年度決算額 1,247,669円 令和7年度予算額 1,350千円

事業実績

地 区	活 動 日	延べ回数	助 成 金 額
なでしこ麴町	第1・3月曜日 昼食	21回	481,900円
なでしこ万世橋	第4水曜日 夕食	11回	249,400円
なでしこ神保町	第2月曜日 昼食	11回	249,400円

9 災害ボランティアセンター事業

目 的	地震等による災害時のボランティアセンター運営準備と、大学生を災害ボランティアのコーディネーターとして養成することを目的とします。
沿 革	平成13年度より災害時ボランティアコーディネートマニュアル策定のため準備会を開催。平成15年3月「災害ボランティアコーディネートマニュアル」を策定。 平成16年1月14日千代田区と「災害時におけるボランティア活動等に関する協定」を締結。災害時のボランティア受入体制を準備。 平成20年12月NPO法人国際ボランティア学生協会と災害時の支援協定を締結。平成24年3月「ちよだ災害ボランティアセンター運営マニュアル」策定。 平成26年4月 区内の施設、企業、NPO、NGO、大学、病院等が、災害時はもちろん、平時からつながるための連絡会「ちよだ災害モデルネットワーク(CMN)」を発足。 平成27年、移転にともない協定書の一部を変更しました。
予算決算	令和6年度 決算額 2,817,852円 令和7年度 予算額 3,577千円

(1) 帰宅困難者対応訓練、避難所防災訓練

項 目	内 容
千代田区帰宅困難者対応訓練 (ボランティアコーディネート)	【日時】 令和7年3月8日(金) 9:45~11:00 【場所】 秋葉原駅周辺 ○外国人誘導ボランティア 5名

(2) ちよだ災害モデルネットワーク(CMN)

「災害時はもちろん、平時からつながるための連絡会」として、区内のネットワークづくりを構築。災害時に具体的な支援を示したガイドライン(行動指針)の作成。行動指針を実践的な内容にするために、学習会を定期的に開催。

項 目	内 容
定例会	①令和6年5月21日(火) 18:30~20:00 11名参加 ②令和6年11月9日(火) 18:30~20:00 8名参加 ③令和7年3月17日(月) 18:30~20:00 5名参加 ※会場とZoomミーティングで実施。
学習会	① 第1回ちよだ災害モデルネットワーク災害学習会 令和6年8月27日(火) 18:30~20:00 15名参加 主催：ちよだ災害モデルネットワーク 協力：千代田区災害対策・危機管理課職員 認定 NPO 法人日本ハビタット協会 事務局長 篠原大作氏 内容：千代田区の防災事情について 能登半島地震の支援報告と今の私たちにできること

(3) 災害ボランティアセンター開設・運営訓練

災害発生時に社会福祉協議会が災害ボランティアセンターを開設・運営するにあたり職員研修も兼ね広範な区民や区内の NPO も参加し、災害ボランティアセンターの役割などを学びました。

実施日時	内 容
令和6年12月7日(土) 9:30~15:00	○会場：かがやきプラザ1階 ひだまりホール ○参加者：①社会福祉協議会職員：32名 ②在勤、在住者等：21名



災害ボランティアセンター
開設・運営訓練

(4) 災害時寄り添いサポーター養成講座(災害時要配慮者支援ボランティア養成講座)

高齢者、障がい者、妊産婦、乳幼児、外国人等の方々が、災害時にどのようなサポートを必要としているのかを学び、受講者には災害時だけでなく、日常から配慮が必要な方への理解と支援を普及・啓発する講座を開催しました。講師は、全てジョージ防災研究所所長の小野修平氏。

実施日時	受講者数
令和 6 年 6 月 24 日（月）18：00～20：00	11 名
令和 6 年 11 月 30 日（土）10：00～12：00	11 名
令和 7 年 3 月 13 日（木）14：00～16：00	8 名

（５）災害ボランティアフォーラム

区内の防災・減災活動に係る課題をテーマに、ゲストとともに参加者が平時からどのような行動を取ればいいのかを考えるイベント。

実施日時	実施内容
令和 7 年 3 月 15 日（土） 13：30～15：00	会場：かがやきプラザ 4 階研修室 1・2 参加者数：12 名 テーマ：「災害時に、日常からやっていることを活かすためには」～フェーズフリーの考え方～ 登壇者：一般社団法人フェーズフリー協会代表理事 佐藤唯行 氏 内容：（１）フェーズフリーの概念について （２）フェーズフリーの取り組み事例

（６）区内大学災害救援ボランティア養成講座助成

千代田区と災害時の支援協定を締結している大学において、学生災害ボランティアの養成を目的に各大学主催で実施している講座に開催費用の助成（１回 30 万円）を行う。

大学名	受講者数
専修大学	前期：40 名 後期：40 名
明治大学	前期：29 名 後期：19 名
法政大学	前期：27 名
上智大学	後期：30 名

（７）災害ボランティア活動助成金

災害救助法適用地域、または災害ボランティアセンターが開所し、圏外からのボランティアを受け入れている地域で災害支援ボランティアを行う、千代田在住、在勤、在学者に、年間 1 回一人 20,000 円を上限とする交通費・宿泊費の助成を行う。

災害名	請求者数	活動先	助成額（総額）
2023 年 7 月からの大雨	5 名	秋田県五城目町 福島県いわき市	86,231 円
令和 6 年能登半島地震	1 名	富山県高岡市	20,000 円

10 介護保険サポーター・ポイント制度

目 的	65 歳以上の区民が、地域づくりに参加することで、自らの健康増進や生きがいづくりを行うとともに、介護保険料の負担を軽減することを目的とします。
根 拠	千代田区介護保険サポーター・ポイント制度実施要綱
内 容	介護保険サービス等のサポート活動をする高齢者を対象に、その活動をスタ

ンプで記録し、ポイント化することで翌年の介護保険料に充てるための資金としてお渡しする。

沿 革 平成19年12月 区の受託事業として試行
平成20年4月 本格実施
予算決算 令和6年度 決算額 2,601,682円
令和7年度 予算額 3,006千円

事業実績

年 度	令和6年度	令和5年度	令和4年度
登録者数	121名	128名	124名
受入れ団体数	33団体	30団体	34団体
その他	①かがやきプラザで、登録説明会兼サポーター活動に役立つ講座を1回、年度末に登録強化ウィーク（5日間）を開催。 ②新規登録者15名。	①かがやきプラザで、登録説明会兼サポーター活動に役立つ講座を1回開催。 ②新規登録者18名。	①かがやきプラザで、登録説明会兼サポーター活動に役立つ講座を2回開催。 ②新規登録者16名。

1 1 センター広報誌

(1) 「ボランティアセンター情報紙」（年間6回発行）

目 的 ボランティア・市民活動や福祉に対する理解促進及びPRを目的とします。
内 容 ボランティア募集、NPO紹介、ボランティアセンター事業の紹介などを掲載しています。区内の公立施設や情報ステーションで配布している他、ボランティア活動希望者には郵送、また、ホームページでも閲覧できます。
平成21年11月号（10月25日発行）を通巻300号特別記念号として発行。
平成24年3月に、特別号「ヤング版」「シニア版」を発行（各4,000部）。
平成24年11月に「ちよだご近所かわらばん」との合併号を発行（以後、令和3年度まで毎年発行）。
平成26年3月に「企業向け特別号」を発行。
平成27年3月に「ボランティア」特別号を発行（以後、毎年発行）。
平成30年4月から隔月発行。
令和3年3月に映像作品「ちよだボラ the Movie」を配信

事業実績

年 度	令和6年度	令和5年度	令和4年度
発行部数	33,000 (5,500部/月)	36,000 (6,000部/月)	39,000 (6,500部/月)
特別号 発行部数	1回 3月 7,000部	1回 3月 8,000部	1回 3月 9,000部

(2) ホームページの維持管理

目 的 ホームページを開設し、多様なボランティア・市民活動情報を提供します。
沿 革 平成12年度より実施。
平成17年より株式会社大塚商会様の協力を得て、新サイト「ちよだボラボラ島WEB」を開始。
平成21年度より、ボランティア募集情報を東京ボランティアファインダーに統一。
平成23年区内企業様の協力により災害ボランティア専用サイト「ちよだボランティア情報」を開設。

平成24年7月WEB発信情報を統合。ホームページ全面リニューアル。
令和4年より得意なことでボランティアができる掲示板「ちよだでシェアボラ」の機能を追加。

(3) ボランティア情報ステーションの設置

目 的	区内の身近な場所で、ボランティアセンターだよりを手に入れることができるようにし、ボランティア・市民活動を推進します。
内 容	商店等の店頭にボランティアセンターだよりを配布できるコーナーの設置を依頼。必要に応じて、パンフレットスタンドの貸出を行っています。
沿 革	平成12年度より実施 平成22年3月に生活衛生同業組合の協力で、加盟店舗に約180ヶ所に設置。

事業実績

年 度	令和6年度	令和5年度	令和4年度
設置数	258ヶ所	258ヶ所	286ヶ所

12 広報プロジェクト助成事業

ボランティアグループ広報活動支援助成金

目 的	千代田区における広範なボランティア活動を行う団体に対し、広報活動に関する助成金を交付することにより、区民のボランティア参加ならびに活動の促進を図ります。
対 象	ちよだボランティアセンター登録グループ
内 容	年額上限3万円を助成します。
予算決算	令和6年度 決算額 323,330円
沿 革	平成27年度より開始 故河村忖様の遺贈寄付を活用し、実施期間は平成27年度から36年度までの10年間とする。 令和6年度が10年目となるため、令和6年度をもって終了。

事業実績

年 度	令和6年度	令和5年度	令和4年度
件 数	12件	16件	13件

【令和6年度助成団体の内訳】

グループ名	助成金額	グループ名	助成金額
フレンドシップちよだ	5,190円	NPO法人後見サポート颯乃会	30,000円
認定特定非営利活動法人 ファミリーハウス	30,000円	車いす体験アドバイザー 「いっぽ」	21,340円
認定NPO法人 日本ハビタット協会	30,000円	NPO法人日本民家再生協会	26,800円
NPO法人 江戸城天守を再建する会	30,000円	特定非営利活動法人 地球の友と歩む会	30,000円
認定NPO法人高卒支援会	30,000円	おさんぽ神保町	30,000円
特定非営利活動法人 ちよだニャンとなる会	30,000円	NPO法人生と死を考える会	30,000円

13 ふれあい福祉まつり

目 的

地域とのつながりを深め、共に支え合ういきいきとした“ちよだの福祉コミュニティ”を創ることを目的とします。

運 営 沿 革

ふれあい福祉まつり実行委員会

平成15年度から千代田区全体の福祉の祭典として、「障がい者の日記念の集い」「ボランティアフェスティバル」「いきいきプラザまつり」をすべて統合し、「福祉まつり」の名称で開催していましたが、令和元年度から連合長寿会主催のふれあい秋まつりも統合したことに伴い、名称を「ふれあい福祉まつり」と改めました。

予算決算

令和6年度決算額 4,809,539円

令和7年度予算額 4,500千円



第22回ふれあい福祉まつり	
開 催 日	10月12日(土)
会 場	千代田区役所、かがやきプラザ
実行委員会	委員数10名 計4回開催
内 容	(メイン企画) ～昔なつかし駄菓子屋さん～ボランティア・福祉団体ブースを回ってスタンプを集め、「駄菓子詰め放題」「福引き」に挑戦。 (はあとステージ) オープニング、各地区長寿会、ボランティア地域団体、学生等の演目披露、フレイル予防体操、エンディング (多世代交流コーナー) 縁日コーナー、子ども子育て応援コーナー、模型サロン、ボッチャ広場 (その他企画) フクシ☆チャレンジ(福祉体験)、活動紹介・物販、JINRIKI 防災・減災コーナー、社協オリジナル絵本くまじろうコーナー 10階飲食スペース(レストラン運営)
参 加 者	入場者数 延べ2,950名(内、ボランティア数730名)参加団体66団体

Ⅲ アキバ分室事業

1 事業概要

目 的	千代田区に住み、働き、学ぶ人々の地域福祉活動や、社会福祉を目的とする事業への参加促進と活動の活性化を図るために、千代田区社会福祉協議会の分室として設置されています。事業実施にあたっては、主に神田地区を対象としています。
根 拠	アキバ分室設置規程
内 容	①福祉に関する総合相談事業 ②ご近所福祉活動（町会福祉部活動）の支援、推進 ③サロン事業の企画、運営、支援、推進 ④その他、地域福祉活動等に関する理解促進事業 ⑤開放スペースの管理・運営
予算決算	令和6年度決算額 7,472,179円 令和7年度予算額 9,798千円

2 コミュニティソーシャルワーク（CSW）事業

*地域サポート係コミュニティソーシャルワーク(CSW)事業参照(32ページ参照)

3 協働事業

	協働内容
『バルーンアートでパパとあそぼう』	8月と2月に千代田区男女共同参画センターMIWと協働して実施。前半は大妻女子大学のサークル「ぼろん。」に依頼してバルーンアートづくりのワークショップと、後半はパパ同士の情報交換会を行った。
ちょこっとバリアフリー体験	アキバ分室、研修センター、万世橋出張所・区民館で共催実施*研修センター事業 ページ参照



『バルーンアートでパパとあそぼう』



『バルーンアートでパパとあそぼう』

4 サロン事業（アキバ子育て広場・ファミリーサロン）

①アキバ子育て広場

名称	アキバ子育て広場
実施回数	91回
参加者数	親子 498人 (男 152人・女 346人)
ボランティア活動数	39人
会 場	アキバ分室開放スペース『みりおん』
実施プログラム内容	4月『ヘルマンハーブ演奏会』1組2人 5月『ミニみゅうじろう作ろうワークショップ』2組5人 6月『絵本の読み聞かせ』3組6人 6月『脱水症と熱中症のお話』4組9人 7月『絵本の読み聞かせ』6組12人 7月『保健師による育児相談と体重測定』5組11人 8月『絵本の読み聞かせ』3組6人 8月『入浴剤づくり』15組29人 8月『手遊び&絵本の読み聞かせ』8組18人 8月『親子ストレッチ』6組12人 9月『絵本の読み聞かせ』2組6人 9月『睡眠講座』13組24人 10月『絵本の読み聞かせ』5組11人 11月『絵本の読み聞かせ』1組2人 12月『絵本の読み聞かせ』1組2人 12月『親子ストレッチ』9組19人 1月『絵本の読み聞かせ』2組14人 1月『親子で楽しむエクササイズ』3組6人 2月『絵本の読み聞かせ』2組4人 2月『保健師による育児相談と体重測定』6組12人 3月『絵本の読み聞かせ』2組4人
プログラム実施回数	全21回
参加者数	97組（213人）
ボランティア活動数	37人
会場	アキバ分室開放スペース『みりおん』



企業ボランティアによる『入浴剤づくり』



子育て広場の利用者さんによる
『手遊び&絵本の読み聞かせ』

②ファミリーサロン

内 容	親子がイベントを楽しむ場（交流、季節行事など）と、成長や発達に課題を抱える子どもとその保護者が語り合う場、または相談できる場、地域資源につながるができる場を隔月で実施。
会 場	かがやきプラザ（1回）、アキバ分室（6回）、万世橋区民館（4回）

日時	内容	協力	参加者数
4月20日（土）	バイオリン&ピアノ演奏会	プログラムボランティア2名 運営ボランティア2名	親子13組
5月18日（土）	ほっと一息♪おしゃべり会	プログラムボランティア1名 運営ボランティア3名	親子2組
6月15日（土）	親子で楽しめるエクササイズ	プログラムボランティア1名 運営ボランティア2名	親子6組
7月20日（土）	茶話会：ペアレントメンターとお話ししませんか？	プログラムボランティア5名 運営ボランティア4名	親子8組
9月21日（土）	茶話会：ペアレントメンターとお話ししませんか？ テーマ：子どもの行動面の悩みについて	プログラムボランティア3名 運営ボランティア4名	親子1組
10月19日（土）	親子で楽しむリトミック♪	プログラムボランティア1名 運営ボランティア4名	親子8組
11月16日（土）	茶話会：「この不安は私だけ？」ぎくばらんなおしゃべりタイム	プログラムボランティア2名 運営ボランティア3名	親子4組
12月21日（土）	アキバにサンタがやってくる！『みんな集まれクリスマス会』	プログラムボランティア3名 （ちよだ企業ボランティア連絡会） 運営ボランティア3名	親子7組
1月18日（土）	茶話会：パパペアレントメンターと話そう『パパの子育てどうしたらいいの？』	プログラムボランティア3名 運営ボランティア1名	親子2組
2月22日（土）	茶話会：Colorful LABO（カラフルラボ）×上智大学寺子屋サークル teraco 協力！ 『おうちでの宿題、どうしてる？』	プログラムボランティア4名 運営ボランティア4名	親子4組
3月15日（土）	使用済み切手を使ってSDGsに取り組もう！『オリジナル缶バッジづくり♪』	運営ボランティア4名	親子5組



親子で楽しむリトミック♪



5 アキバ分室ご近所福祉活動（町会福祉部活動）事業

目 的	アキバ分室管内である万世橋地区・和泉橋地区の町会等の地域福祉活動の組織づくりを支援し、地域住民が互いに支え合える地域社会の実現に努めます。
根 拠	ご近所福祉活動事業実施要綱
事業実績	福祉部連絡会やアウトリーチ等で得た町内の見守りに関する課題を解消すべく、和泉橋地区（3連合）ごとに高齢者サービスを知るための勉強会を実施しました。

① 町会向け勉強会（再掲）

内容	参加者数	講師	日時
和泉橋地区 25 町会向け勉強会 「これからも和泉橋地区で暮らしていくために“今”みんなができること～高齢者サービスについて知っておこう～」	36 名	相談センター 神田職員	①令和 7 年 2 月 3 日（月） ②令和 7 年 2 月 5 日（水） ③令和 7 年 2 月 7 日（金）

6 アキバ分室 P R 事業

目 的	開設されたばかりのアキバ分室の周知のための事業を行いました。参加者だけでなく、ボランティア活動の場としての担い手発掘の機会ともしました。また、近隣企業様より寄付物品をいただき、それをもとに事業を行いました。
根 拠	アキバ分室設置規程
内 容	事業実績参照
事業実績	

	参加者数 (延べ人数)	ボランティア数 (延べ人数)	日付・回数
古着のリメイクしてみっか (コマ貸し)	8 名	3 名	4/20 (水・祝) 1 回
mikka とゴミ×共生活動して みっか (コマ貸し)	7 名	3 名	6/29 (土) 1 回
模型サロン (コマ貸し)	195 名	7 名	11/16 (土) 1 回
サペレメソッド (コマ貸し)	11 名	3 名	11/30 (土) 1 回
サイコロおもちゃをつくろう	4 名	2 名	3/23 (日) 1 回



サペレメソッド



サイコロおもちゃをつくろう

7 食を通した居場所づくり事業『みりおん家～ごはんもあるよ～』

目的 子育て世帯が増えている神田エリアにおいて、子どもや保護者が安心して集い、語り合える居場所を作ること、それぞれが抱える課題や困りごとに気づくきっかけとなることを目指し実施しました。また、ボランティアが月に一度カレーを提供するほか、子どもや保護者と触れ合う、話を聞く、学習のお手伝いをするなど、多様な地域活動の場となることも目指しています。

根拠 アキバ分室設置規程
内容 事業実績参照
事業実績

実施回数	12回
参加者数	親子282名 (子ども148名・大人134名)
ボランティア活動数	139名
会 場	アキバ分室開放スペース『みりおん』
実施内容 (プログラムを実施した場合はカッコ内に記載)	4月 キーマカレー 5月 バターチキンカレー (お菓子のつかみ取り大会) 6月 夏野菜カレー (ヘルマンハーブ演奏会) 7月 キーマカレー (プラモデルサロン) 8月 シーフードカレー (学習ボランティア) 9月 ポークカレー 10月 ハロウィンカレー 11月 バターチキンカレー 12月 クリスマスポークカレー (学習ボランティア) 1月 キーマカレー (学習ボランティア) 2月 節分大豆入りカレー (学習ボランティア) 3月 春キャベツとシーフードカレー (学習ボランティア)
その他	ボランティアとの話し合いを重ねた結果、ボランティアグループとしての活動開始につながり、今後はボランティアグループが会を運営する。



ボランティア手作りカレー



ボランティアによる配膳



参加者の様子

IV 在宅サポート係事業

1 車いす貸出事業

予算決算 令和6年度決算額 252,540 円(再掲)
令和7年度予算額 482 千円(再掲)



(1) 車いす貸し出し

目 的 歩行に支障のある方に車いすを貸出すことにより、外出の機会を増やし、社会参加の促進を図ります。

根 拠 車いす貸出事業実施要綱

対 象 歩行困難な方及び高齢者等

内 容 貸出日の属する月は無料。
翌月から1年間の利用料は月額500円。
2年目以降は利用料月額1,000円。
希望により有料での配達・回収も可能。

沿 革 昭和47年度より開始
昭和63年6月より配送・回収サービス開始
平成12年4月より有料化
平成14年7月より貸出期限撤廃

事業実績

年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度
貸出件数	131件	132件	97件

(2) 車いすステーション

目 的 車いすの利用者の利便を図るため、区内の個人・店舗・公共施設等の協力を得て、車いす貸出拠点を設置します。

根 拠 車いすステーション設置要綱

内 容 区内の個人宅・店舗・公共施設等に車いすを用意し、一週間以内の無料貸し出しを行います。

沿 革 平成14年8月要綱施行

事業実績

年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
区分				
ステーション数	47ヶ所	42ヶ所	40ヶ所	42ヶ所
車いす設置台数	66台	68台	53台	55台
貸出件数	574件	594件	362件	292件

2 ひとり親家庭支援事業

(1) ひとり親家庭児童入学祝い金贈呈事業

目 的 千代田区のひとり親家庭のこどもが義務教育終了後に上級学校に進学する際に、祝い金を贈呈することにより進学への意識を喚起します。

根 拠 入学祝い金贈呈事業実施要領

対 象 以下の学校に進学し、新たに入学する児童等を扶養している世帯であって、かつ、当該児童等が進学・入学する年度の前年度の3月31日時点において千代田区児童育

成手当(育成手当・障害手当)の受給資格を有している世帯

(1)高等学校

(2)大学

(3)短期大学

(4)高等専門学校

(5)専修学校(高等課程・専門課程・一般課程)

予算決算 令和6年度決算額 2,326,260 円

沿革 平成29年度より実施 令和6年度にて終了

事業実績

年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度
件数	61件	38件	46件
合計金額	2,290,000円	1,480,000円	1,660,000 円

3 ふたばサービス事業（住民参加のたすけあい家事支援サービス）

（1）事業概要

目的 区民等の協力と参加を得て、支援を必要とする方に対し家事援助等のサービスを提供し、地域の助け合い活動を促進します。

根拠 ふたばサービス実施要綱

沿革 平成7年11月より支援会員の募集、12月より依頼会員、賛助会員の受付を開始し、平成8年1月よりサービス活動を開始。

平成24年1月より料金を改定。

平成31年4月からは、支援メニュー拡大のほか、高齢者困りごと24事業を「ちょこっとサポート」の名称で統合。

令和6年度に引き続き、支援会員登録説明会で使用していた活動内容紹介動画を新たに作成を検討中。

予算決算 令和6年度 決算額 3,629,326 円

令和7年度 予算額 3,088 千円

※マッチングアプリ終了に伴いカスタマイズ追加分減

対象 この事業は、会員制で行うこととし、次の会員で構成します。

①依頼会員	千代田区に居住する方で日常生活を営むのに支障があり、サービスを必要とする方
②支援会員	この事業に理解を有し、趣旨に賛同する18歳以上の方で、依頼会員にサービスを提供することができる方

賛助会費 平成25年度までは、「賛助会費」の他、「年会費」として依頼会員と支援会員から11,000円を納入していただいていた。平成26年度より「年会費」を廃止し、「賛助会費」(1口1,000円)と統一。任意での納入をお願いしている。

内 容

メニュー名	サポート内容
①家事サポート	掃除や洗濯、買い物、食事の支度などの家事、ペット等の散歩やペットに関する買い物 (介護保険等に対応できない日常の生活支援)
②産前産後サポート	産後最長6カ月未満の方を対象に、上記①と同様の家事をサポート
③おでかけサポート	通院や買い物、墓参り等の外出の付き添い
④よりそい・いきがいサポート	訪問による傾聴、趣味のお相手、食事の同席等
⑤ちょこっとサポート (依頼者は会員登録不要)	電球交換や簡単な家具の組み立て等 ちょっとした日常生活の困りごと (清掃関係は家事サポートでの対応)

料 金 表

	時間内 月～土(午前9時～午後5時)	時間外 (日・祝日と年末年始は原則除く)
依頼会員利用料	◎利用料 1時間につき1,300円 ◎事務費/1時間につき100円	◎利用料 1時間につき1,500円 ◎事務費/1時間につき100円
支援会員活動費	1,200円×活動時間 +交通費実費(限度額400円)	1,400円×活動時間 +交通費実費(限度額400円)

※平成24年1月1日より、税務当局の指導により活動費が源泉徴収の対象となる

(2) 会員状況

年度 区分	令和6年度	令和5年度	令和4年度
依頼会員	368人 (女303人/男65人)	334人 (女276人/男58人)	309人 (女251人/男58人)
支援会員	295人 (女215人/男80人)	297人 (女216人/男81人)	292人 (女212人/男80人)

(3) 活動状況

①活動件数及び活動時間

年度 区分	令和6年度	令和5年度	令和4年度
活動件数	2,727件	4,360件	4,999件
活動時間	3,492時間	5,047時間	5,855時間

②サービス内容

活動延べ件数 2,727件

(1回の活動で複数のサービスを提供する場合があります、活動件数の合計と活動延べ件数は一致しない。)

内容	件数	内容	件数
食事の支度	133 件	窓ふき	45 件
清掃・整理整頓	1573 件	ペットの買い物・散歩	73 件
洗濯	143 件	外出付き添い	92 件
買い物	308 件	通院付き添い	152 件
見守り・話し相手	84 件	訪問傾聴	53 件
植栽の手入れ	1 件	ちょこっとサポート	70 件

◆ちょこっとサポート 内訳

清掃・片付け	14 件	家電確認	22 件
荷物・家具の移動	11 件	買い物	2 件
電球交換	14 件	その他	2 件
家具の設置	5 件	計	70 件

(4) 会員事業

① 理解促進

事業名	内容	実績数
支援会員 交流会	日時：11月29日(金)10:00～11:30 場所：かがやきプラザ4階 和室 ① 介護保険・関係機関との連携について講義 ②支援会員同士でグループワーク	参加者：5名
支援会員 登録 説明会	① 日時：6月19日(水)13:30～15:00 場所：かがやきプラザ4階 会議室3 ② 日時：11月21日(木)13:30～15:00 場所：万世橋出張所・区民館 6階アキバ分室 ・ふたばサービスの制度、支援会員実務の説明 ・支援会員体験談	参加者： ①4名 ②4名

4 生活福祉資金等貸付事業

①生活福祉資金

目 的 低所得世帯や他からの借入が困難な世帯の相談に応じ、資金の貸付によって世帯の更生を図ります。(東京都社会福祉協議会よりの受託事業)

対 象 千代田区内に住んでいる下記の方

- ① 他からの借入が困難な低所得世帯
- ②「身体障害者手帳」「愛の手帳」「精神障害者保健福祉手帳」等の交付を受けている方の世帯
- ③ 日常生活上、療養または介護を必要とする、概ね65才以上の高齢者のいる低所得世帯

予算決算 令和6年度決算額 419,726 円(事務費のみ)
令和7年度予算額 1,388 千円

沿革	昭和30年 10月 東京都社会福祉協議会より受託
	平成14年 3月より離職者支援資金貸付開始
	平成15年 4月より長期生活支援資金貸付事業、緊急小口資金貸付開始
	平成21年 2月より離職者支援貸付事業を再就職支援貸付事業の名称にて期間限定(平成22年3月まで)実施
	平成21年 10月より総合支援資金貸付事業、臨時特例つなぎ資金貸付開始 「長期生活支援資金」が「不動産担保型生活資金」に名称変更
	平成23年 東日本大震災にともない緊急小口資金の特例貸付と生活復興支援資金貸付開始 (※特例貸付は平成 24 年3月末をもって終了)
	令和 2年 3月25日から新型コロナウイルス感染症拡大に伴う特例措置である緊急小口資金等の特例貸付(以下、新型コロナウイルス感染症に係る特例貸付)を開始
	令和 2年 6月 新型コロナウイルス感染症に係る特例貸付の受付期間 令和2年9月30日まで延長(当初期間7月31日まで) ※この後7度にわたる延長で、令和4年6月30日までの受付期間となる
	令和 4年 9月 新型コロナウイルス感染症に係る特例貸付の受付終了
	令和 4年 12月 新型コロナウイルス感染所に係る特例貸付の借受人に対するフォローアップ支援事業を開始

事業実績

年度	令和6年度	令和5年度 (コロナ特例内数)	令和4年度 (コロナ特例内数)
相談件数	814件	638件 (66)	537件 (405)
新規貸付	4件	8件	95件 (94)

<令和5年度生活福祉資金等本則新規貸付決定内容一覧>

資金の種類	申込件数	申込金額	貸付件数	貸付決定額
福祉費	1	99,000 円	1	99,000 円
緊急小口資金	2	90,000 円	1	90,000 円
教育支援資金	2	2,480,000 円	2	2,480,000 円
総合支援資金	—	—	—	—
不動産担保型生活資金	—	—	—	—
臨時特例つなぎ資金	—	—	—	—
ひとり親家庭高等職業訓練促進資金	—	—	—	—
合計	5	2,669,000 円	4	2,669,000 円

②特例貸付フォローアップ支援事業

目的	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた生活福祉資金貸付制度における緊急小口資金特例貸付(以下、特例貸付という)の借受人で生活に困窮しており、生活再建のために支援が必要な借受人に対し、適切なフォローアップを行う。
----	--

(1)基本事業 相談件数(延べ) 132件

償還猶予に関する相談の受付、猶予申請における調査意見書の作成、電話や訪問による生活状況の把握、見守り支援のほか、自立相談支援機関との連携など

(2)任意事業

電話・訪問等のアウトリーチによる生活再建に向けた相談支援と、自立相談支援機関に繋ぐ等の支援

<相談件数(延べ)>

	令和6年度
未応答者	14件
償還困難者	19件
免除決定者	48件

※償還困難者・・・滞納理由が把握できており、猶予や少額返済等の利用意向がある・利用中・利用済みの借受人

※未応答者・・・免除・猶予等の相談や申請が一切ない滞納者で、その理由が把握できない借受人

<生活実態調査アンケートの実施>

時期	対象	対象人数	回答者数
6月	初期督促対象者	150 名	12 名
8月	初期督促対象者	6 名	0 名
11月	償還免除者	327 名	50 名
11月	償還猶予者	7 名	2 名
12月	償還実績のある滞納者	103 件	8 名
合計		593 件	64 件

※初期督促・・・連続3か月滞納している借受人

<回答者に対する生活相談>

種別	相談件数
電話相談	19 件
来所相談	37 件

<学習会の実施>

タイトル 「コロナ後に見えてきた千代田区の生活困窮
～孤独・孤立について考える～」

対象者 区内在住・在勤・在学
参加者 24名
講師 菅野 道夫 氏(淑徳大学教授)
内容 相対的貧困に関する講義
生活福祉資金担当による報告
関係機関による報告
参加者同士の意見交換



<相談会&フードパントリーの実施>

アンケート(生活実態調査)回答者を対象に、対面での生活相談を行い、支援機関等の紹介

を行った。また希望者に食糧支援を行った。

来場者 30名
継続支援 5名
ボランティア 9名



5 千代田区ファミリー・サポート・センター事業

(1) 事業概要

目 的 ファミリー・サポート・センターは、「子育てのお手伝いをしてほしい方（依頼会員）」と「子育てのお手伝いをしてくれる方（支援会員）」で構成される会員組織で、会員間の支援活動を実施することにより、区内の育児世帯の仕事・社会参加と家庭の両立を図るとともに、保護者の育児不安や負担感を軽減し、児童が健やかに成長できる子育ての環境をつくることを目的としています。

根 拠 千代田区ファミリー・サポート・センター実施要綱
対 象



①依頼会員	千代田区に居住する方で生後6カ月から小学校6年生までの子どもの保護者
②支援会員	心身ともに健康で地域の子育てに理解と熱意のある18歳以上の区内在住・在勤・在学者（高校生不可）
③準支援会員	心身ともに健康で地域の子育てに理解と熱意のある18歳以上の区内在学者（高校生不可） ※準支援会員は登録時の講座受講が一部任意となる代わり、支援内容に制限があります
④両方会員	①と②どちらもの資格を満たした者

内 容 ファミリー・サポート・センターにアドバイザー（常勤職員）を配置し、会員の募集、登録、支援活動の調整、会員向けの講習会などを行っている。

料 金 表 利用料および支援会員への活動費は、下記表のとおりです。

	月～土 ※祝日・年末年始を除く		日曜・祝日・ 年末年始 (12/29～1/3)
	9:00～17:00	7:00～9:00 17:00～21:00	7:00～21:00
利用料	1時間900円	1時間1,100円	1時間1,100円
	・最初の1時間はそれに満たない場合でも1時間とみなし、その活動開始時間帯の1時間分の料金となります。 ・1時間を超える場合は30分毎に加算します。		

* 令和6年度より、事務経費（1時間300円）を半期毎に積み上げた額（一括）を支援会員（指定口座）に振り込む。

沿革 平成15年7月より千代田区が事業を開始し、平成24年4月1日より当会が受託運営を行う。

令和5年度、学生等を対象とした準支援会員制度を導入。令和6年度本格実施に向けて説明会を実施。

予算決算 令和6年度 決算額 3,271,722円（人件費を除く）
令和7年度 予算額 5,811千円

（2）会員状況

入退会の状況

	≪新規≫	≪退会≫	増減
依頼会員	78名	115名	▲37名
支援会員	28名 (うち準支援会員4名)	71名	▲43名
両方会員	0名	0名	0名

会員数

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
依頼会員	762名	799名	829名
支援会員	218名 (うち準支援会員12名)	261名 (うち準支援会員8名)	242名
両方会員	3名	3名	4名

準支援会員制度導入にあたり、大学、専門学校への説明会実施

大学名	説明会日時・参加者
大原医療秘書福祉保育専門学校	日時 8/8(木)15:30～16:30 担当者への内容説明、広報協力依頼

上記の大学のほか、昨年に引き続き日本大学、二松学舎大学、共立女子大学に広報活動を行った。

（3）活動状況

①依頼対応件数 134件

結果 \ 年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
紹介成立	76件	63件	87件	91件
紹介できず	6件	16件	15件	3件
辞 退	17件	23件	15件	23件
取下げ(連絡途絶など)	35件	25件	5件	0件
合 計	134件	127件	122件	117件

②事務対応件数 146件

区分 \ 年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
あんしん登録	18件	21件	41件	41件
事前打合せの取り交し	49件	56件	51件	26件
その他	79件	73件	68件	106件
合 計	146件	150件	160件	173件

③活動件数及び活動時間

区分 \ 年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度
活動件数	4,741件	5,116件	5,192件
活動時間	5,305時間	5,873時間	6,251時間

④メール受信件数 2,862件

⑤サービス内容

内 容	件 数
保育所・幼稚園の登園前の預り及び送り	91件
保育所・幼稚園の送り	808件
保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の預り	401件
保育所・幼稚園の迎え	970件
保育所・幼稚園の帰宅後の預り	8件
学童の放課後の預り	2件
学童保育前の預りまたは学童保育への送り	13件
学童保育への迎え及び帰宅後の預り	240件
学童保育からの帰宅後の預り(迎えなし)	4件
子どもの病気時の援助	0件
子どもの習い事の援助	1,670件
保育所・学校等休み時間の援助	0件
保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	0件
保護者等の求職活動中の援助	0件
保護者等の冠婚葬祭・子どもの学校行事の場合の援助	0件
保護者等の外出の場合の援助	85件
保護者等の病気、産前・産後の場合の援助	0件
保護者の家事中の援助	431件
慣らし援助	0件
小学校の送迎	17件
病後の援助	1件
その他	0件

合計	4,741件
*キャンセル回数	67件

(4) 会員事業

① 支援会員養成講座説明会（令和6年度新規事業）

日 時	講座内容	参加者数
5月28日(土) 14:00～15:30	「ファミリー・サポート・センターとは」 「今どきの子育て事情と千代田の傾向」 「現役支援会員の体験談」	2名
8月9日(金)、26日(月) 13:00～14:30	「ファミリー・サポート・センターとは」 「今どきの子育て事情と千代田の傾向」 「現役支援会員の体験談」	8名
10月16日(水) 9:30～17:40	「ファミリー・サポート・センターとは」 「今どきの子育て事情と千代田の傾向」 「現役支援会員の体験談」	3名
1月29日(木) 14:00～15:30	「ファミリー・サポート・センターとは」 「今どきの子育て事情と千代田の傾向」 「現役支援会員の体験談」	18名

② 支援会員養成講座

	日 時	科目	講座内容	参加者数
第1回	6月1日(土) 9:30～16:40	必修	「ファミリー・サポート・センターとは」 「今どきの子育て事情と千代田の傾向」 「子どもの預かりと安全管理」	3名
	6月8日(土) 9:30～16:40	必修	「活動の実務」 「支援会員の体験談」 「子どもの事故と安全・応急処置」	14名
	6月15日(土) 9:30～17:40	選択	「障がいのある子の預かり」 「身体の発達と病気」 「子どもの育ち、保育園での姿」	4名
	6月22日(土) 9:30～15:30	選択	「子どもの健康管理」 「子どもの栄養と食育」	5名
第2回	9月4日(水) 9:30～16:40	必修	「ファミリー・サポート・センターとは」 「今どきの子育て事情と千代田の傾向」 「子どもの事故と安全・応急処置」	19名
	9月11日(水) 9:30～17:40	必修	「子どもの預かりと安全管理」 「支援会員の体験談」 「活動の実務」	9名
	9月18日(水) 9:30～17:40	選択	「障害のある子の預かり」 「身体の発達と病気」 「子どもの育ち、保育園での姿」	8名
	9月25日(水) 9:30～15:30	選択	「子どもの健康管理」 「子どもの栄養と食育」	9名
第3回	11月9日(土) 9:30～16:40	必修	「ファミリー・サポート・センターとは」 「今どきの子育て事情と千代田の傾向」 「子どもの事故と安全・応急処置」	11名

	11月16日(土) 9:30~16:40	必修	「子どもの預かりと安全管理」 「支援会員の体験談」 「活動の実務」	7名
	11月23日(土) 9:30~17:40	選択	「障害のある子の預かり」 「身体の発達と病気」 「子どもの栄養と食育」	6名
	11月30日(土) 9:30~15:30	選択	「子どもの健康管理」 「子どもの育ち、保育園での姿」	4名
第4回	2月3日(月) 9:30~16:40	必修	「ファミリー・サポート・センターとは」 「今どきの子育て事情と千代田の傾向」 「子どもの事故と安全・応急処置」	18名
	2月10日(月) 9:30~16:40	必修	「子どもの預かりと安全管理」 「支援会員の体験談」 「活動の実務」	15名
合 計				132名

③依頼会員登録説明会

月3回を基本として実施（かがやきプラザ：月2回、アキバ分室：月1回）

※申し込みがなかった日程は実施せず。

開催月	日程	申込み者数	参加者数
4月	4日(木)、23日(火) アキバ分室 9日(火)	13名	8名
5月	7日(火)、27日(月) アキバ分室 16日(木)	8名	5名
6月	1日(土)、8日(土)、6日(木)、15日(土)、 18日(火)、27日(木) アキバ分室 13日(木)	12名	11名
7月	アキバ分室 23日(木)	1名	1名
8月	6日(火)、24日(土)、30日(金) アキバ分室 20日(火)	5名	5名
9月	5日(木)、13日(金) アキバ分室 17日(火)	10名	7名
10月	29日(火) アキバ分室 22日(火)	4名	3名
11月	23日(土)、26日(火) アキバ分室 19日(火)	5名	4名
12月	5日(火)、23日(月) アキバ分室 17日(火)	5名	4名
1月	9日(木)、18日(土)、25日(土)、28日(火)	7名	6名
2月	6日(木)、27(木) アキバ分室 18日(火)	15名	13名
3月	4日(火)、15日(土)、25日(火) アキバ分室 14日(金)	10名	10名
合 計 (年間予定数 36 回／実施数 40 回)		95名	77名

④支援会員学習会&交流会

目的		①今後の支援活動に自信を持つ ②支援会員より現場の情報をききとり、今後のコーディネートに役立てる
第1回	対象	現支援会員 234名
	内容	事故防止のお話と救急搬送対応のロールプレイ 講師：助産師・保健師 有馬 祐子氏 支援会員いどばた交流会♪
	実績	令和6年8月31日（土）10時～12時30分 参加者：9名

第2回	対象	現男性支援会員 6名
	内容	活動中の男性限定 交流を深めませんか 支援会員いどばた交流会♪
	実績	令和6年1月25日（土）10:00～11:30 参加者：5名
第3回	対象	現支援会員 220名
	内容	千代田区の保育園での子どもの姿 講師：グローバルキッズ飯田橋園 園長 加藤 真理氏 支援会員いどばた交流会♪
	実績	令和6年3月1日（土）10:00～12:00 参加者：15名



（５）広報活動

① スマイル通信

対 象	全会員
内 容	会員へのお知らせ、会員登録状況、学習会・交流会の報告
実 績	年2回発行 各約1,300部

② 支援会員養成講座チラシ配架

配架先	区内掲示板、関係機関(29箇所)、町会(神保町4町会、和泉橋5町会) 大学等教育機関(4校)、他
-----	---

V 権利擁護事業・成年後見制度推進機関運営事業

<ちよだ成年後見センターの運営>

1 福祉サービス利用支援事業

(1) 日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）

目 的	判断能力に不安のある高齢者、精神障がい者、知的障がい者などを対象に、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理、書類等の預かりサービスを提供することにより、地域での生活を支援します。
根 拠	福祉サービス利用支援事業実施要綱
予算決算	令和6年度 決算額 12,446,682円（人件費委託金含む） 令和7年度 予算額 13,684千円
沿 革	平成11年度 東京都社会福祉協議会が運営主体となり、基幹社協である新宿社協の協力社協としてその事業運営に協力。 平成11年10月 サービス実施。 平成15年1月 基幹社協として東京都社会福祉協議会より委託を受け、サービスを提供する。 平成18年4月 「ちよだ福祉サービス利用援助センター」から「ちよだ成年後見支援センター」に名称を変更。 平成20年4月 「ちよだ成年後見センター」に名称を変更。

(2) 財産保管・管理サービス

目 的	自己の財産等の保管あるいは管理が困難な要支援・要介護の高齢者や身体障がい者等の財産の保管や日常的な金銭管理を行うことにより、地域での生活を支援します。
根 拠	福祉サービス利用支援事業実施要綱
予算決算	令和6年度 決算額 595,000円 令和7年度 予算額 633千円
沿 革	平成13年7月より実施



【支援の様子】

(3) 将来に備えるサービス

目 的	区内に身よりがないか、いても協力が得られない状況にある在宅高齢者で契約時に理解、判断能力がある方を対象に福祉サービス利用援助や自己の財産等の保管、個別のサービスなどを行うことにより、地域での生活を支援します。
根 拠	福祉サービス利用支援事業実施要綱
予算決算	令和6年度 決算額 238,000円 令和7年度 予算額 324千円
沿 革	平成21年11月より実施

【契約件数・契約内容内訳】

年 度	令和6年度			令和5年度			令和4年度		
事業名 契約者数・内容	地域福祉 権利擁護	財産保管 ・管理	将来に 備える	地域福祉 権利擁護	財産保 管・管理	将来に 備える	地域福祉 権利擁護	財産保管 ・管理	将来に 備える
契約中件数	73名	3名	9名	61名	5名	7名	59名	5名	3名
新規契約者数	23名	1名	2名	18名	1名	4名	10名	0名	1名
解約者数	11名	3名	0名	16名	1名	0名	10名	0名	0名

利用援助対応件数	5,876 件	232 件	167 件	2,758 件	84 件	250 件	3,380 件	148 件	32 件
日常的金銭管理対応件数	708 件	24 件	0 件	571 件	25 件	46 件	532 件	38 件	0 件
書類預かり対応件数	21 件	1 件	0 件	13 件	2 件	2 件	19 件	2 件	1 件

(4) 権利擁護・成年後見に関する相談対応件数

区分 \ 年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度
高齢者 初回相談件数	163 件	179 件	188 件
高齢者 継続対応件数	7,236 件	7,852 件	9,035 件
知的障がい者 初回相談件数	10 件	2 件	2 件
知的障がい者 継続対応件数	130 件	296 件	386 件
精神障がい者 初回相談件数	16 件	6 件	5 件
精神障がい者 継続対応件数	1,426 件	1,416 件	1,888 件
身体障がい者 初回相談件数	6 件	53 件	37 件
身体障がい者 継続対応件数	214 件	292 件	212 件
その他 初回相談件数	39 件	72 件	72 件
その他 継続対応件数	183 件	173 件	423 件
初回相談件数 合 計	234 件	312 件	304 件
継続対応件数 合 計	9,189 件	10,029 件	11,944 件

※「その他」は、匿名等属性の聞き取り把握ができなかった相談、エンディングノートや一般・関係機関からの制度に関する問い合わせ等を含みます。

※継続対応件数には、福祉サービス利用支援事業の契約者や法人後見活動等の相談対応が含まれます。

2 福祉専門法律相談

目 的 福祉サービス利用者の法的権利を擁護するため、弁護士による無料相談を月2回実施します。

【実施日】

(原則として) 毎月第2・第4木曜日 午後2時～4時20分

【弁護士】

「福祉相談弁護士グループ」

※ 石川 宏、平澤 千鶴子、八杖 友一、澄川 洋子
石坂 浩、佐野 みゆき、鈴木 一夫



根 拠 成年後見制度推進機関運営事業実施要綱

予算決算 令和6年度 決算額 1,555,000円

令和7年度 予算額 1,565千円

沿 革 平成14年7月より実施

平成18年4月より「ほほえみサポートちよだ弁護士グループ」(7名の弁護士)

による相談を年20回実施
 平成19年4月より年24回実施
 平成20年4月より「福祉相談弁護士グループ」に名称変更、相談時間を延長

【福祉専門法律相談】

年 度	令和6年度	令和5年度	令和4年度
相談件数	57件	45件	47件

3 成年後見制度推進機関運営事業

目 的 高齢者、知的障がい者、精神障がい者等が判断能力の低下によって自らの財産管理、日常生活を送ることが困難になったとき、地域で安心して生活が継続できるよう、成年後見制度の積極的な活用を図ります。

根 拠 成年後見制度推進機関運営事業実施要綱
 区民後見人等候補者育成事業実施要綱

予算決算 成年後見制度推進機関運営事業
 令和6年度 決算額 48,646,962円
 令和7年度 予算額 52,454千円
 区民後見人養成事業
 令和6年度 決算額 2,005,000円
 令和7年度 予算額 2,060千円

沿 革 平成17年度および18年度、東京都の「成年後見活用あんしん生活創造事業」において成年後見推進機関を立ち上げ準備。
 平成19年度より、区からの指定により千代田区社会福祉協議会が「成年後見推進機関」となる。推進機関では、権利擁護に関する相談をはじめ、成年後見制度の理解促進、区民後見人等人材育成や後見人サポート事業等を行う。
 平成27年度より、千代田区独自で区民後見人養成講座を実施。以降、平成28年度・令和元年度・令和5年度に養成講座を実施。
 令和5年3月に、「千代田区地域福祉計画2022」に包含された「千代田区成年後見制度利用促進基本計画」を受けて、権利擁護支援を進めるための基本指針となる「千代田区社会福祉協議会権利擁護活動計画」を策定。

(1) 権利擁護人材の育成

① 区民後見人の養成・支援

目 的 きめ細かい見守りとともに、同じ地域住民の立場・視点で支援を行う区民後見人等を養成し、活動を支援することにより、認知症や知的・精神障がい者などが、判断能力が不十分であっても自分らしく、自らの意思で希望を実現し、地域で安心して暮らし続けることを可能とする地域社会の実現を目指します。

根 拠 区民後見人等候補者育成事業実施要綱



[令和5年度養成講座修了生]

【養成講座の実施】

年 度	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
講座内容	未実施	基礎講座 7/4～9/22 計 25 時間 実践講座 11/9～1/24 計 22.5 時間	未実施
修了者	0 名	13 名	0 名
区民後見人候補者 名簿登録者数	32 名	33 名	24 名

平成 17 年度より東京都において社会貢献型後見人養成講座を実施していたが、平成 26 年度より、養成事業の実施主体が東京都から市区町村へ移行したことに伴い、千代田区独自の区民後見人候補者名簿のしくみをつくり、養成講座を修了した方が登録。

※候補者名簿登録者の中から、平成 24 年度に 1 名、27 年度に 1 名、29 年度に 3 名、30 年度に 3 名、2 年度に 3 名、3 年度に 3 名（計 13 名、14 件）が区民後見人として選任。

【区民後見支援委員会委員による区民後見人受任者への定期相談】

目 的 区民後見人が後見等の活動の中で、財産管理や身上配慮が適切に行われているか確認するとともに、法的問題等への迅速な対処を図るため、専門職からの指導・助言を定期的かつ継続的に行います。

根 拠 区民後見人等候補者育成事業実施要綱

沿 革 平成 29 年 4 月より実施。

年 度	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
受任者	10 名	9 名	9 名
担当委員	8 名	8 名	8 名
相談回数	合計 13 回	合計 10 回	合計 11 回

【区民後見人「受任者連絡会」の実施】

目 的 区民後見人受任者同士の交流のきっかけとし、業務に関する意見交換・仲間づくりの場を提供するとともに、日常の支援内容での悩み相談・支援方法のアイデア交換をすることにより、支援の負担軽減と意欲の向上をはかります。

根 拠 区民後見人等候補者育成事業実施要綱

沿 革 平成 30 年度より実施

事業実績

年 度	令和 6 年度	令和 5 年度
実施内容	グリーフケア講習会 上智大学グリーフケア研究所栗原幸恵氏を講師にお招きし、グリーフケアやグリーフワークについて学ぶ。その他、区民後見人同士の意見後見など。	(未実施)
参加者	6 名	

②地域生活支援員の育成

目 的 福祉サービス利用支援事業において、利用者に対する援助業務を行う地域生活支援員を通年で募集・登録し、それぞれの経験年数に応じたスキルアップのための研修を実施しています。

根 拠 福祉サービス利用支援事業実施要綱

事業実績

開催内容	開催日	参加者数
新任生活支援員研修 「利用者訪問時の留意点、記録の書き方」	令和6年4月～7月	8名
東京都社会福祉協議会主催 新任生活支援員研修 「地域福祉権利擁護事業の基礎的な理解と生活支援員の役割等」（第1回：動画配信、第2回オンライン開催）	動画配信 令和6年7月上旬～ オンライン 令和6年9月18日	6名
東京都社会福祉協議会主催 現任生活支援員研修（オンライン研修（動画視聴）） 「障害のある方への理解とコミュニケーション」	令和7年 1月上旬～3月末	8名

地域生活支援員登録数

年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度
地域生活支援員登録状況 (内、区民後見人候補者名簿登録者数)	40名 (25名)	43名 (27名)	40名 (24名)
新規登録支援員数	1名	10名	9名
登録終了者	4名	7名	1名

※平成20年度より区民を対象に福祉サービス利用支援事業の説明会を実施し、地域生活支援員を募集、登録。

令和3年度は令和4年3月17日に説明を開催し12名が参加。活動希望者の選考後、その内、令和4年度に9名が登録。

令和5年度は区民後見人養成講座修了者の内、登録を希望した方の9名が登録。

③研修の実施

目 的 同じ地域住民の立場・視点で本人に寄り添い、意思決定支援を行う権利擁護支援の担い手のスキルアップを目的とした研修に取り組んでいます
令和2年度より区民後見人候補者名簿登録者向け「フォローアップ講座」と地域生活支援員向けのスキルアップ研修を一体化。

根 拠 区民後見人等候補者育成事業実施要綱
福祉サービス利用支援事業実施要綱

事業実績

開催内容	令和6年度	令和5年度
開催内容	東社協主催 市民後見人フォローアップ研修 (動画視聴とオンライン研修) ・第二期利用促進計画もふまえた成年後見制度の動向 ・災害時における権利擁護支援の一端について ・市民後見人の実践報告	①事例検討によるグループワーク 講師／ばあとなあ東京 鳥居理英子氏・加瀬裕子氏 ②東社協主催 (動画視聴とオンライン研修) ・第二期利用促進計画もふまえた成年後見制度の動向 ・市民後見人の実践報告
開催日	動画視聴 令和6年12月中旬～ オンライン 令和7年1月22日	①令和5年9月7日 ②動画視聴 令和6年1月中旬～ オンライン 令和6年2月22日
参加人数	7名	① 10名 ② 4名

(2) 成年後見制度の利用相談・申立て支援

年 度	令和6年度	令和4年度	令和3年度
新規相談 合計	102件	116件	102件
制度の問い合わせ	48件	51件	23件
申立相談・支援	34件	51件	61件
制度利用者からの相談	10件	5件	14件
後見人からの相談	4件	2件	3件
その他	6件	7件	1件

※新規相談後の支援および継続相談支援対応件数は、前記「1 福祉サービス利用支援事業」の相談対応件数に加わっています。

(3) 法人後見受任事業

目 的 身近な親族がなく、また経済的理由等により、適切な後見人を探すことが難しい方を対象として、審査の上で、千代田区社会福祉協議会が後見業務を受任します。
なお、法的なアドバイスを受けるため顧問弁護士を置いています。

根 拠 法人後見事業実施要綱
沿 革 平成16年4月より実施（初回受任は平成18年度）
全国的運用として、市民後見人が選任された場合は、原則成年後見制度推進機関が後見監督人を受任。

【受任件数】

	年 度	令和6年度	令和5年度	令和4年度
法定後見受任	(受任中件数) 補助	1件	3件	3件
	(受任中件数) 保佐	2件	1件	1件
	(受任中件数) 後見	2件	4件	3件
	新規受任	1件	3件	1件
	受任終了	4件	2件	0件
後見監督人受任	受任中件数	5件	7件	10件
	新規受任	2件	1件	0件
	受任終了	4件	4件	0件

- ※ 法定後見の受任累計数は28件（補助5件・保佐6件・後見17件）
 うち地域福祉権利擁護事業から法定後見への移行 累計22件
 ※ 後見監督人の受任累計数は18件（親族2件、区民後見人16件）
 ※ 任意後見受任実績は過去1件（平成29年受任および終了）

予算決算 令和6年度 決算額 2,031,400円
 令和7年度 予算額 2,134千円

★事務管理（平成19年度よりちよだ成年後見センター規程第5条により事務管理を実施）

年 度	令和6年度	令和4年度	令和3年度
事務管理件数	6件 (新規5件)	8件 (新規8件)	4件 (新規4件)

※開始後累計73件。

（４）運営委員会／区民後見支援委員会

①運営委員会

目 的 ちよだ成年後見センターの業務の透明性・公平性と事業の適正な運営の確保を図るため設置し、当会との法人契約、法人後見受任についての審査等を行います。

根 拠 ちよだ成年後見センター運営委員会設置運営要綱
 構 成 弁護士、医師、民生・児童委員、司法書士、町会関係者、学識経験者、行政、社会福祉士 計10名

事業実績

年 度	令和6年度	令和5年度	令和4年度
回 数	2回	3回	2回

②区民後見支援委員会

目 的 千代田区の区民後見人等候補者養成事業において、区民後見人等人材の育成、区民後見人等の支援に関する事項を検討し実施します。

根 拠 ちよだ成年後見センター運営委員会等設置運営要綱
 沿 革 平成24年度より「小委員会」として実施。平成26年度より「区民後見支援委員会」へ変更
 構 成 運営委員より5名（副委員長、行政、弁護士・司法書士・社会福祉士各1名）
 運営委員以外の弁護士・司法書士・社会福祉士
 他、事案により必要と認めた専門職・関係機関 計10名以内

事業実績

年 度	令和6年度	令和4年度	令和5年度
回 数	2回	3回 (※ワーキンググループ3回)	3回

4 理解促進事業（説明会・講演会等）

目 的 成年後見制度等、権利擁護に関する正しい理解を広めることや、ちよだ成年後見センター事業をPRするため、対象となる区民や福祉サービス事業所等関係機関への情報の提供を図ります。



【グループワークの様子】

（１）一般への周知（出張講座含む）

開催内容	主な内容	開催日	参加者数
エンディングノート「私の歩みノート」活用術 はあとカフェ(かんだ連雀)	・エンディングノートについてと書き方の説明	4月13日	11名
エンディングノート「私の歩みノート」活用術 はあとカフェ(岩本町ほほえみ)	・エンディングノートについてと書き方の説明	4月23日	21名
エンディングノート「私の歩みノート」活用術 (こもれび千桜ホール)	・エンディングノートについてと書き方の説明	6月7日	14名
エンディングノート「私の歩みノート」活用術 (神保町区民館)	・エンディングノートについてと書き方の説明	6月16日	50名
成年後見セミナー～本人の意思を尊重した支援をめざして～(研修センター共催)	・事例から学ぶ権利擁護支援 ・ちよだ成年後見センターについて	6月20日	19名
知ってあんしん！将来のこと～介護とお金の管理は誰がする？～ あんしん神田共催	・介護保険について ・地域福祉権利擁護事業と成年後見制度	7月2日	10名
エンディングノートをじっくり書きませんか(アキバ分室)	・エンディングノートについてと書き方の説明	7月6日	23名
あんしんセンター神田主催 「神田で元気に ながいき教室」 (内神田集会室)	・地域福祉権利擁護事業と成年後見制度について	7月12日	10名
知ってあんしん！将来のこと～介護とお金の管理は誰がする？～ あんしん麹町共催	・介護保険について ・地域福祉権利擁護事業と成年後見制度	7月18日	10名
はじめの一步講座 「将来」ための「今」からはじめる (神田公証役場)	・任意後見制度と遺言について	8月5日	17名
サロンで聞ける！ お金の管理と手続きのハ・ナ・シ (アキバみんなのサロン)	・地域福祉権利擁護事業について ・将来に備えるサービスについて ・成年後見制度(法定後見/任意後見)	9月6日	4名

サロンで聞ける！ お金の管理と手続きのハ・ナ・シ (一番町みんなのサロン)	・地域福祉権利擁護事業について ・将来に備えるサービスについて ・成年後見制度(法定後見/任意後見)	9月27日	11名
サロンで聞ける！ お金の管理と手続きのハ・ナ・シ (三崎町はあとサロン)	・地域福祉権利擁護事業について ・将来に備えるサービスについて ・成年後見制度(法定後見/任意後見)	10月7日	11名
サロンで聞ける！ お金の管理と手続きのハ・ナ・シ (和泉はあとサロン)	・地域福祉権利擁護事業について ・将来に備えるサービスについて ・成年後見制度(法定後見/任意後見)	10月22日	4名
いざという時のために、お金の管理と手続きの話(パークコート富士見)	・地域福祉権利擁護事業と成年後見制度について	10月26日	3名
成年後見センター・リーガルサポート 東京支部との共催事業 「成年後見制度に関する講演会と個別相談会」	・成年後見講演会と個別相談会	12月2日	講演会 18名 相談会 8組
いざという時のために、お金の管理と手続きの話(障害者福祉センターえみふる)	・地域福祉権利擁護事業と成年後見制度について	12月7日	5名
お金の管理と手続きのハ・ナ・シ (あんしんセンター麴町主催 認知症カフェ)	・地域福祉権利擁護事業と成年後見制度について	1月9日	17名
落語で楽しく学ぶエンディングノート(研修センター主催)	・エンディングノートについてと書き方の説明	1月25日	62名
エンディングノートをじっくり書きませんか(飯田橋町会)	・エンディングノートについてと書き方の説明	2月5日	20名
障害者福祉センターえみふる・障害者よろず相談 MOFCA との共催事業「あなたの話をきかせてください」	・発達障害当事者の体験談と座談会	2月7日	13名
エンディングノート「私の歩みノート」活用術(パークコート千代田)	・エンディングノートについてと書き方の説明	2月8日	10名
高齢者施設とお金のハナシ (介護施設研究所)	・高齢者施設の特徴や費用、施設を決めるポイントについて ・地域福祉権利擁護事業と成年後見制度	2月10日	38名
エンディングノート「私の歩みノート」活用術(かがやきプラザ)	・エンディングノートの内容説明、書き方紹介、記入	3月12日	20名

(2) 関係機関等への周知(出張講座含む)

開催内容	主な内容	開催日	参加者数
関係機関向け説明会	・福祉サービス利用支援事業、成年後見制度、権利擁護活動計画について	7月5日	19名
関係機関向け説明会 (区生活支援課)	・福祉サービス利用支援事業、成年後見制度、権利擁護活動計画について	7月18・19日	11名

朝日信用金庫 神田小川町支店	・成年後見制度と地域福祉権利擁護事業について	2月27日	16名
まゆみ薬局	・成年後見制度と地域福祉権利擁護事業について	2月27日	2名
本郷ファミリークリニック	・成年後見制度と地域福祉権利擁護事業について	2月28日	9名

(3) 「支援者のための成年後見制度活用ハンドブック」の発行

目的 支援者向けに成年後見制度の説明と申立時の実務を解説し、本センターの周知、成年後見制度の利用促進をはかるために、ハンドブックを令和5年3月に作成し、配布しています。

(4) 成年後見センターだよりの発行

目的 講座への参加や来所相談が難しい方、また広く一般の方に成年後見制度や福祉サービス利用支援事業等の成年後見センター事業をわかりやすく伝えています。また権利擁護支援の担い手を増やすために、地域生活支援員や区民後見人の活動も紹介しています。

事業実績 令和6年7月、令和7年3月 計2回 各600部



(5) ちよだ版エンディングノート「私の歩みノート」の発行

目的 いつ訪れるかわからない事故や病気に備え、自分自身のことや終末期医療など将来の希望を、なるべく元気なうちにまとめておく大切さを伝えるため、希望する区民に配布しています。



(6) ちよだ悪徳商法バスターズ活動

目的 安心・安全に暮らせるよう、住民自らが消費者被害から身を守る方法を会得し、判断能力に不安のある方の権利擁護とともに、悪徳商法のないまちを目指す活動です。

沿革 平成22年度、千代田区消費生活センターと共催により「ちよだ悪徳商法バスターズ養成講座」の修了生が中心となり結成。千代田区の悪徳商法撲滅のためにできることを考え活動する。



〔悪徳商法バスターズによる朗読劇〕

年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度
活動内容	・連絡会1回 ・「ふれあい福祉まつり」と「くらしの広場」それぞれにブース参加（アンケート調査とカレンダー配布）	・連絡会1回 ・「ふれあい福祉まつり」と「くらしの広場」それぞれにブース参加（アンケート調査とカレンダー配布）	・連絡会1回 ・「ふれあい福祉まつり」と「くらしの広場」それぞれにブース参加（アンケート調査とカレンダー配布）
登録者数	26名	26名	26名

5 中核機関運営事業

(1) 検討支援会議

目的 権利擁護の視点から支援の必要があると認められるケースについて、専門職を含め、成年後見制度の利用や本人に適切な今後の支援方針等を検討する。

検討事項

- ① 対象者に対する支援内容に関すること（対応に苦慮するケースなども含む）
- ② 成年後見制度申立ての可否に関すること
- ③ 成年後見人等候補者に関すること
- ④ その他、権利擁護に関して個別の検討が必要なこと（モニタリングやバックアップを含む）

会議の実施方法

区内の介護・医療・福祉に関わる専門職や関係機関からの権利擁護に関する相談に対して、弁護士・司法書士・社会福祉士で構成する委員が多様な視点からアドバイスを行い、支援方針の立案や成年後見制度利用の検討を行う。※区福祉総務課・成年後見センターは事務局として会議の運営や資料作成等を行う。

開催 毎月第3水曜日 午後2時から（令和6年6月からスタート）

実績 令和6年6月より実施、実施回数10回、ケース検討20件

(2) 地域連携ネットワーク協議会（区福祉総務課とちよだ成年後見センターの共同事務局）

目的 権利擁護支援が必要な人を早期に発見して適切な支援へ繋ぐこと、また本人の意思や心身・生活状況をふまえた支援体制を促進するためには、「地域連携ネットワーク」のさらなる強化が必要。地域連携ネットワーク協議会では、連携強化のために取り組むべき課題や解決策、成年後見制度や権利擁護支援に関する地域課題等の検討を行い、区における成年後見制度及び権利擁護支援の体制強化を図る。

所掌事項

- ① 地域連携ネットワークに関すること
- ② 成年後見制度の利用促進に関すること
- ③ 権利擁護支援に関わる諸施策の進捗状況に関すること
- ④ その他成年後見制度の利用促進及び権利擁護の支援に関し会長が必要と認める事項に関する
こと

実績 令和7年1月20日実施（委員10名出席）

（３）地域連携ネットワーク研修会

開催内容	主な内容	開催日	参加者数
地域共生社会とチーム支援	ネットワーク関係者の共通理解を促進し、連携強化を図ることを目的に、東洋大学福祉社会デザイン学部社会福祉学科教授 高山直樹氏を講師にお招きし、地域共生社会やチーム支援の重要性について学ぶ。	2月20日	30名

VI 法人運営事業

1 普及宣伝・組織運営・PR事業

(1) 地域福祉活動計画策定

①地域福祉活動計画策定委員会

目 的 行政の計画(地域福祉計画)に対し、住民をはじめ地域福祉活動を行っている人・団体等の実践的計画である地域福祉活動計画(はあとプラン)を策定し、計画の円滑な推進を図ることを目的とします。

根 拠 地域福祉活動計画策定委員会設置要綱

委員構成 地域住民、民生・児童委員、福祉施設関係者、学識経験者、福祉団体関係者、教育関係者、区行政機関、社協理事等、計16人以内

予算決算 令和6年度 決算額 265,591円

令和7年度 予算額 565千円

沿 革 平成8年度より設置(任期2年)

平成10年3月、第1次は・あ・とプラン策定
(計画期間:平成10年度～平成14年度)

平成15年3月、第2次は・あ・とプラン策定
(計画期間:平成15年度～平成19年度)

平成20年3月、第3次は・あ・とプラン策定
(計画期間:平成20年度～平成24年度)

平成25年3月、第4次は・あ・とプラン策定
(計画期間:平成25年度～平成29年度)

平成29年度より策定年度のみ委員会を設置
(進捗については理事会、評議員会で報告)

平成30年3月、第5次は・あ・とプラン策定
(計画期間:平成30年度～令和4年度)

令和5年3月、第6次はあとプラン策定
(計画期間:令和5年度～令和9年度)



第6次はあとプラン

事業実績

1. はあとプラン評価委員会

地域福祉活動計画策定委員会の作業部会として開催。年1回、第6次はあとプランの進捗管理を目的に開催。

実施日	会場	参加者名
12月2日(月)	かがやきプラザ	14名

2. はあとプラン職員共有会

計画の進行管理・評価をおもな目的として、年2回半期ごとに全職員による共有会を実施。

実施日		参加者名	会場
第1回	9月20日(金)・9月26日(木)	43名	かがやきプラザ
第2回	3月11日(火)・3月21日(金)	42名	

(2) 会報(社協広報誌「ちよだ社協」)発行

目 的 社協事業の紹介と福祉情報を提供し、社協活動への理解促進を図る。

対 象 社協会員、区内各町会、区内各施設、関係団体など

配布方法 区民への全戸配付、社協会員・町会長等関係者へ郵送、また区内各施設で窓口配布。

内 容 社協事業の紹介と福祉関連の情報を掲載。

予算決算 令和6年度 決算額 5,245,570円

令和7年度 予算額 12,632千円

沿 革 昭和30年2月創刊

事業実績

区分 \ 年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度
発行回数	年5回	年5回	年5回
一回の発行部数	46,000部	46,000部	46,000部



※平成28年度より全面カラー化を行う。

※平成29年度、令和5年度に指名競争入札を実施。

※令和6年度より、一部ではなくすべての号を全戸配布

(3) 組織強化活動

①社協会員及び活動賛助金の増強

目 的 地域を構成する住民、団体及び企業に対して、地域福祉の推進に賛同し、社協活動への関心と理解を求めるとともに、社協の自立性を高めるために会員および活動賛助金の拡充を図ります。

根 拠 会員規程

活動賛助金 個人会員：(1口) 2,000円より

団体会員：(5口)10,000円より

会 員 数 団体会員：団体の規模に応じた額(町会の場合1世帯200円)

区分 \ 年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度
個人会員	97名	96名	96名
団体会員 (法人含む)	155団体	144団体	144団体
活動賛助金	2,245,700円	2,139,590円	2,436,800円

*いずれも3月末日の会員数

②絵本製作・販売

目 的 挨拶の大切さを伝えることで地域内に顔の見える関係性を広げること。またこの絵本の製作・普及を通し、多様な人々が集い、つながることを目的とします。

沿 革 令和4年11月、本会創立70周年記念事業の一環で絵本「にっこりのカギ」を制作・販売。

令和5年、続編となる第2弾の絵本製作を企画、制作協力を広く呼びかけ、ワークショップを実施。

事業実績

区分 \ 年度	発行日	発行部数
絵本第1弾「にっこりのカギ」	令和4年11月	1,000部
絵本第2弾「にっこりのたび」	令和6年10月	1,000部



③事業周知活動

目 的 社会福祉協議会の提供するサービスや実施する事業内容、および福祉情報等を多様なメディアを通して掲載し、社協活動への理解と福祉への意識向上を図ります。

内 容 ①ホームページの開設・運営

②社協事業(ふたばサービス事業、ボランティアセンター事業、高齢者センター事業を含む)の紹介と福祉関連情報の紹介等のパンフレットの作成。

③広報「千代田」に社協活動記事掲載およびPRを依頼。

予算決算 令和6年度 決算額 624,133円

令和7年度 予算額 2,262千円

④社会福祉士実習生の受入

目 的 地域福祉社会の実現に様々な形で貢献する人材養成を目的としました。

対 象 実習生受入希望がある区内及び本会事業に関係する学校を対象

内 容 社会福祉士相談援助実習に基づくカリキュラム

沿 革 平成24年9月より開始

事業実績

年度 区分	令和6年度	令和5年度	令和4年度
受入学校数	3校	3校	2校
受入総人数	3名	5名	4名

※令和5年6月6日(火)より上智大学総合人間科学部社会福祉学科1名を対象に実施。

※令和5年8月1日(火)より日本社会事業大学社会福祉学部福祉援助学科1名、大妻女子大学人間関係学部人間福祉学科1名を対象に実施。

※令和6年2月20日(火)より日本社会事業大学社会福祉学部福祉援助学科2名を対象に実施。

⑤職場体験学習生・インターンシップの受入

目 的 勤労の社会的な意義や勤労の喜びを理解し、将来の人生設計に主体的に取り組む力を育むことを目的としました。

対 象 職場体験受入希望のあった区内及び本会事業に関係する学校を対象

内 容 ①はあとサロン準備、運営、利用者対応

②かがやき大学準備、運営、利用者対応

③同好会体験

④ボランティアセンター運営補助

沿 革 平成24年9月より開始

事業実績

年度 区分	令和6年度	令和5年度	令和4年度
受入学校数	3校	2校	2校
受入総人数	6名	6名	7名

※令和5年7月5日(水)より九段中等教育学校5名を対象に実施。

※令和5年11月1日(水)より上智大学大学院実践宗教学研究科死生学専攻1名を対象に実施。

※令和4年度は神田一橋中学校からも受入。

⑥事業報告会

目 的 職員が他部署の取組について理解を深め、組織内の連携強化につなげることを目的とし、また取組の成果を可視化し、次期の取組に役立てることを目的とします。

対 象 全社協職員

内 容 各部署の事業内容および上半期の重点事業報告

事業実績

実施日	会場	参加者名
9月11日(水)	かがやきプラザ	53名

VII 収益事業

1 収益事業

①自動販売機設置の推進

目 的 社協の自主財源を確保するとともに、社会貢献や防災意識に対する理解促進を図ることを目的とします。

対 象 社協事業に賛同・協力いただける企業・団体・施設、個人商店等

内 容 自動販売機の設置場所を提供していただく。

沿 革 平成14年8月より開始

平成15年8月より災害時に無料で飲料水及び災害情報を提供することができる災害対策用自動販売機を設置。

事業実績

年度 区分	令和6年度	令和5年度	令和4年度
設置台数	19台	19台	28台
手数料収入	3,189,326円	2,683,408円	2,555,202円



②バザー

目 的 社協の自主財源を確保するとともに、社会貢献や防災意識に対する理解促進を図ることを目的とします。

対 象 社協事業に賛同・協力いただける企業・団体・施設、個人商店等

内 容 社協事業に賛同・協力いただいた物品を窓口にて販売。

事業実績

年度 区分	令和6年度	令和5年度	令和4年度
手数料収入	649,313円	667,306円	1,022,628円

Ⅷ 高齢者活動センターの運営（平成28年1月から指定管理者）

高齢者活動センターは、平成28年1月に高齢者総合サポートセンター（かがやきプラザ）に開設した施設で、千代田区社会福祉協議会が管理運営を行っています。高齢者活動拠点として、高齢者がいきいきと元気で暮らしを楽しめるよう、レクリエーション、機能回復訓練等の場を提供し、仲間づくり、生きがいくくり、健康づくりを支援しています。

沿革	昭和50年4月	「千代田区立老人福祉センター」として神田神保町に開設。
	昭和61年4月	「千代田区立高齢者センター」と改称。
	平成11年4月	千代田区社会福祉協議会が「区立高齢者センター」運営受託。
	平成28年1月	高齢者総合サポートセンターに移転し、名称を「高齢者活動センター」に改称。
		千代田区社会福祉協議会が指定管理者として運営開始。

1 利用対象・休館日等

①利用対象	60歳以上の区民及び60歳以上の区民で構成された団体。利用者には利用証を発行します。
②開館時間	午前9時から午後5時まで
③休館日	第1日曜日、年末年始（12月31日～1月3日） ※年始が日曜日の場合は、1月は最終日曜日が休館となります。
④利用料	無料

2 利用実績

	令和6年度	令和5年度	令和4年度	令和3年度
開館日数	349日	350日	349日	281日
のべ参加者数	※(6)85,590人	61,738人	57,821人	※(1)31,836人
利用登録者数 （更新・新規）	947人	※(3)1,207人	※(3)822人	※(2)800人
新規利用登録者数	216人	186人	151人	117人
浴室利用者数	17,542人	16,458人	16,952人	13,418人

事業区分	事業項目	令和6年度		令和5年度	
		回数	参加者数	回数	参加者数
健康づくり事業	健康づくり事業 （浴室利用者含む）	725回	19,584名	746回	19,043名
	機能回復訓練	239回	1,117名	215回	959名
	その他健康事業（マシン利用含む）	1,027回	13,498名	1,079回	12,170名
ふれあい食事	ふれあいクラブ食事会※(4)	132回	1,575名	122回	948名
	ふれあいクラブ研修交流会等	2回	41名	4回	44名
講座講習会	かがやき大学	95回	3,724名	89回	2,797名
	講習会関係	45回	240名	62回	289名
長寿会支援	長寿会活動支援	74回	2,839名	70回	2,673名

同好会支援 手作り事業	同好会支援事業※(5)	1,419回	9,866名	1,421回	9,571名
	サークル発表・大会	6回	307名	7回	545名
	利用者懇談会	6回	169名	6回	168名
	企画運営サポーターミーティング	3回	13名	4回	29名
	利用者有志・その他手作り事業	136回	625名	89回	435名
季節・レクリエーション	季節・レクリエーション	65回	733名	11回	609名
ボランティア活動	ボランティア活動	561回	1,786名	573回	1,564名
見学等	見学・実習・取材	2回	13名	10回	115名
その他施設利用等	開放事業等	349日	12,035名	350日	9,779名
合計			68,165名		61,738名

※(1)令和3年度より高齢者活動センター事業参加者数の総合計を記載

※(2)令和3年度は、新型コロナウイルスの影響により利用登録更新手続きを行わなかったため、実利用人数を記載

※(3)令和4年6月末より利用登録更新手続きを再開

※(4)「ふれあいクラブ食事会」は、5月から人数を制限し対面での食事会の再開

※(5)令和4年度より「その他施設利用等」に含まれていた同好会活動参加者数を「同好会支援事業」に記載

※(6)令和6年度よりフリースペース利用者数を含むのべ参加者数を記載



3 事業内容

(1) 健康づくり

予算決算	令和6年度 決算額	9,500,639円
	令和7年度 予算額	9,725千円

①健康相談

目 的	高齢者の身体的・精神的健康の維持・増進
内 容	(1)医師による健康相談 ①健康医療相談（第三金曜日） ②運動器相談（第三火曜日） (2)看護師による健康相談（毎開館日）

②機能回復訓練

目 的	高齢者の身体機能の維持・回復
内 容	理学療法士によるアドバイス ①運動サポート相談（随時） ②理学療法士によるスポット体操（第二火曜日）



③その他健康事業

内 容

- ・トレーニングマシン利用は予約制で実施
- ・栄養相談（月２回）
- ・ラジオ体操（毎開館日）
- ・ハンドマッサージ（第三月曜日）
- ・脳のトレーニング（毎開館日）
- ・利用証の新規登録及び登録更新

(2) 講座・講習会

予算決算 令和6年度 決算額 3,051,027円
 令和7年度 予算額 3,642千円

①かがやき大学（講座）

目 的	教養を深め知識を習得する、趣味活動の幅を広げる
内 容	文学歴史、音楽、美術、健康、くらし等の講座

<令和6年度実施内容>

- 1) 通年講座として、4月～7月を前編、10月～2月を後編として、それぞれパンフレットを作成し実施。また、アキバ分室でかがやき大学出張講座を実施。

【通年講座 前編（4月～7月）】全24回講座 51回実施 参加者数：延1,988名	
1	ウォーキング講座
2	大人の社会科見学／警視庁へ行こう！
3	正しく使ってとくする薬の話
4	夏の空中庭園をお花で飾ろう！
5	朝の鑑賞会／どうぶつ百景 江戸東京博物館コレクションより
6	夏に向けての養生と漢方
7	在宅避難とその備え
8	絵巻物の魅力「信貴山縁起絵巻」と「鳥獣戯画」
9	認知症疾患講座①《知識編》認知症とは何でしょう②《ヒント編》認知症カフェがあるじゃないですか
10	紅茶のたのしみ方
11	クラシック音楽を聴こう！～交響曲の名峰をめぐる＋萩谷由喜子箏曲リサイタル
12	大人の社会科見学／虹の下水道館へ行こう！
13	浮世絵からお江戸にタイムトラベル ～東海道 53 次・お江戸の近郊・富士山めぐり～
14	大人の社会科見学／池袋防災館へ行こう！
15	自宅で簡単！フレイル予防
16	「子育て士」資格講座 ちよだ特別プログラム こどもまんなか社会の導き手
17	はじめてのビリヤード
18	大塚製薬工場 presents 初夏から備える熱中症
19	認知症と共生する社会
20	能楽師に学ぶ「能の中の源氏物語」／能と平安文学のつながり

21	幕末の歴史～黒船から薩長連合～
22	紫式部『源氏物語』の魅力を探る
23	知っておきたい！ 身体の病気を引き起こす歯周病の怖さと自宅でできる口腔ケア
24	写真名所めぐり

【通年講座 後編（10月～2月）】 全26講座44回実施 参加者数：延1,736名	
1	大人の社会科見学／国立印刷局東京工場見学
2	骨粗しょう症の診断と治療
3	大人の社会科見学／毎日新聞社 社内見学ツアー
4	ウォーキング講座
5	大人の社会科見学／時の風が吹く庭園 旧岩崎邸庭園
6	浮世絵からお江戸にタイムトラベル
7	世紀末の画家たち 「ロートレック～モンマルトルの哀歓」／「ルドン～幻想と悪夢の画家～」／ 「ムンク～魂の叫び～」／「クリムト～世紀末ウィーンと日本～」
8	色鉛筆ではじめる お絵かきレッスン
9	日本の故郷・古都を守る～京都・奈良・鎌倉を中心に～
10	多世代交流 ciao！ 合同企画 植物の不思議を知ろう
11	大人の社会科見学 「警視庁へ行こう！」
12	在宅避難とその備え ※室出張講座 アキバ分室実施
13	フォーク、ニューミュージック J-ROCK・J-POP の歴史
14	文学でめぐる日本の世界遺産／宇治・吉野・平泉
15	ケニア『生理の貧困』とラオス『ゴミ問題』 外貨コインの仕分けで国際協力
16	ミュージカルがもっと楽しくなる！劇団四季ミュージカル『赤毛のアン』 ／劇団四季の歴史と『赤毛のアン』観劇のポイント&自由劇場
17	「整理」と「整頓」の違いから始まる 整理収納の基礎
18	セルフチェックとエクササイズで健康寿命を延ばそう
19	世界遺産と日本の山々
20	身体の健康は内側のケアから！「美腸講座」
21	ミュージカルの魅力
22	ぜんそくの症状や治療を知ろう
23	今から備える！終活のあれこれ
24	チョコレートの世界へようこそ
25	アロマの香りとセルフヘッドケアで脳を活性化
26	朝の鑑賞会／生誕120年宮脇綾子の芸術 見た、切った、貼った

2) 記念講演会

【説明会・記念講演会】		
令和6年度 後期説明会 記念講演会（在宅支援課共催） 認知症と難聴の関係～難聴の仕組みとその 予防・治療～	9月9日 （火）	ひだまりホール 91名
令和7年度 前期説明会 記念講演会（九段坂病院共催） 認知症を知る・治す・防ぐ～認知症予防 の時代へ～	3月11日 （水）	ひだまりホール 115名

② 講習会

- 目 的 継続した活動につながる趣味の習得
高齢者活動センターへの参加推進
- 内 容 運動系から文化系まで幅広いジャンルの「やって覚える」講習会
＜令和6年度実施内容＞
- ・パソコンサロン（22回、参加者68名）
 - ・スマホサロン（23回、参加者172名）

（3）企画運営協力事業

- 予算決算 令和6年度 決算額 26,883円
令和7年度 予算額 96千円
- 目 的 高齢者活動センター利用者の主体的な事業参加を促し、利用者が企画・運営に参加する多世代交流事業を展開する。
- 内 容 高齢者活動センターの事業企画運営協力者（企画運営サポーター）を募り、協働事業を実施する。
＜令和6年度主な実施内容＞
- ① かがやき納涼会×ひだまりサロン（多世代交流に一部再掲）

内容	日時	人数
バーチャル花火、盆踊り、オリジナルうちわ作成、ミニミニ縁日、納涼カフェを実施 同好会の手作り品バザー（3団体）	8月24日（土）	参加者 延べ397名 ボランティア12名

② 空中庭園へ行ってみよう かき氷でひと休み

内容	日時	人数
5階庭園テラスにて企画運営サポーターやボランティアの協力によりかき氷を多世代に提供し、交流を図る。（参加費1人100円）	9月29日（日）	参加者84名 運営ボランティア9名

③ その他、活動センターの季節行事、多世代交流事業の運営

（4）長寿会活動支援

- 予算決算 令和6年度 決算額 858,580円
令和7年度 予算額 1,503千円
- 目 的 いきがいづくり・仲間づくりを目的に高齢者が主体となって活動する団体の支援による、高齢者の自主活動の活性化
- 内 容 千代田区連合長寿会の活動支援、区内各地区長寿会の活動支援
＜令和6年度主な実施内容＞
- ・連合長寿会役員会運営支援（原則第4火曜日）（10回）
 - ・のんびりお散歩会（5/24、参加者8名）
 - ・歴史散策ツアー（11/11、参加者14名）
 - ・ふれあい福祉まつり（10/12、参加者346名）
 - ・各地区例会・誕生会における健康講座・いきいき講座の開催（延べ58回、1987名）
 - ・広報誌「はくちょう」発行（9月/3月：各2,000部）

地区	誕生会・例会	回数
麴町	第3日曜日	11回
富士見	第3水曜日	10回
神保町	第2土曜日	10回
神田公園	第3土曜日	9回
万世橋	第2水曜日	7回
和泉橋	第2土曜日	11回



（５）同好会活動・利用者有志活動支援

予算決算 令和6年度 決算額 220,683円

令和7年度 予算額 222千円

目 的 いきがづくり・仲間づくりを目的に高齢者が主体となって活動する団体の支援による、高齢者の自主活動の活性化

内 容 高齢者活動センター登録同好会の立ち上げや日常的活動の支援、同好会連絡会の開催

①同好会活動

1) 同好会推移

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
同好会数	47団体	49団体	51団体
会員数	511名	557名	703名
新規	1団体	1団体	2団体
解散	3団体	3団体	4団体

2) 令和6年度同好会一覧

※令和7年3月31日付

種別	同好会名	内容	結成年月	活動日
書	道の会	書道	平成18年1月	月2回
書画	ひまわりの会	絵手紙	平成18年4月	月1回
	たのしい水彩画	水彩画	平成18年9月	月2回
	心がアラワレる写経	写経	平成30年4月	月1回
	色えんぴつ画の世界	色えんぴつ	令和7年1月	月1回
	絵手紙コスモス	絵手紙	令和元年7月	月1回
文芸 文学	現代俳句 木の会	俳句	平成11年2月	月1回
	かるがも	川柳	平成20年4月	月2回
	チャレンジリーディング	朗読	平成21年11月	月2回
	すいれん	朗読	令和3年7月	月2回
手工芸	てまり	手まり作り	平成2年11月	週1回
	おしゃれリフォーム	洋裁	平成12年6月	週1回
	クルクルシャイン	ペーパークイリング	平成28年4月	月2回
	編み物クラブ	編み物	平成29年4月	月2回
ゲーム	碁楽会	囲碁	平成8年12月	週1回
運動	万華の会	ヨーガ	昭和54年4月	週1回
	卓友会	卓球	昭和55年7月	週1回
	気功太極拳	太極拳	昭和57年3月	週1回
	風仙花	卓球	平成4年10月	週1回

	スポーツウエルネス吹矢 東京千代田会	スポーツウエルネス吹矢	平成 16 年 1 月	月 2 回
	ハッピーフィットネス	ロコモ対策運動	平成 17 年 5 月	週 1 回
	自彊術	体操	平成 20 年 7 月	週 1 回
	らくらくストレッチ	ストレッチ	平成 27 年 1 月	週 1 回
	楊名時太極拳	太極拳	平成 28 年 5 月	月 2 回
	かがやき体操の会	体操	令和 5 年 4 月	月 4 回
	MA T	体操	平成 29 年 4 月	月 3 回
	太極拳 睡蓮(ひつじ草)	太極拳	令和 4 年 6 月	月 2 回
	太極拳 木蓮(マグノリア)	太極拳	令和 4 年 6 月	月 2 回
	100 歳まで元気に過ごす体操	体操	平成 29 年 5 月	月 2 回
声を出す	プラチナ会	体操	平成 30 年 9 月	月 3 回
	さざんか	カラオケ	昭和 58 年 10 月	週 1 回
	ヴォイス	カラオケ	平成 11 年 4 月	月 2 回
	カトレア	カラオケ	平成 12 年 6 月	月 2 回
	プー・プー・ヒメヒメ	ハワイアンソング	平成 17 年 11 月	月 2 回
	明星の会	ミュージックセラピー	平成 20 年 4 月	月 3 回
	リルシャンテ	シャンソン他	平成 22 年 4 月	月 2 回
	わかば	カラオケ	平成 28 年 3 月	週 1 回
	カラオケ勉強会	カラオケ	平成 28 年 3 月	月 2 回
	かがやきカンツォーネ	カンツォーネ	平成 28 年 4 月	月 1 回
	はまゆう	カラオケ	平成 29 年 7 月	週 1 回
	八重桜の会	歌唱	令和 4 年 3 月	月 1 回
	愛唱歌の森	唱歌	令和元年 7 月	月 1 回
おどり	レイ・ハッアハッア・オ・ヒロ・プアリリア（フラダンス）	フラダンス	平成元年 8 月	週 1 回
	フラ・プアエフ	フラダンス	平成 10 年 4 月	週 1 回
	ちゅらさん	沖縄舞踊	平成 18 年 8 月	月 2 回
花	あやめ会	華道(龍生派)	平成 2 年 4 月	月 2 回
音楽	ウクレレ同好会	ウクレレ	平成 12 年 6 月	月 2 回
	フォーク&ポップスの会	ギター	平成 29 年 6 月	月 2 回
計	48 同好会			

3) 同好会発表・大会

内 容 同好会主催による発表会・大会の開催

<令和 6 年度主な実施内容>

- ・ 演芸サークル発表会 [9/3] (来場者延べ数 190 名)
 <演芸サークル出演団体: 10 団体/同好会出演者のべ数 87 名>
- ・ カラオケ交流会 [12/4] (来場者延べ 80 名)
- ・ 作品展 [2/15 ~ 2/20] (来場者延べ 303 名/出展団体 11 団体)
- ・ 年末ビリヤード交流大会 [12/14] (参加者 16 名)
- ・ ビリヤード大会 [3/14・15] (2 回 参加者延べ 24 名)
- ・ 卓球交流会 [10/31] (参加者延べ 20 名)

4) 同好会講習会

内 容 同好会主催による講習会・体験会の開催
 <令和6年度主な実施内容>

講習会・体験会	同好会名
同好会体験会	リル・シャンテ
同好会体験会	八重桜の会
同好会体験会	ひまわりの会（絵手紙）
同好会体験会	らくらくストレッチ
同好会体験会	心アラワレル写経
同好会体験会	明星の会
同好会体験会	フォーク&ポップス
同好会体験会	気功太極拳

・ビリヤード講習会

[9月30日・10月7日・3月9日・3月16日]（4回、参加者延べ60名）

5) 同好会地域福祉活動

内 容 同好会による地域サロンや長寿会など、地域活動への出講活動および交流
 <令和6年度主な実施内容>

- ・かがやき納涼会 同好会バザー出店（リル・シャンテ クルクルシャイン・編み物クラブ）
- ・かがやき大学「色鉛筆ではじめる お絵かきレッスン」
講座開催後、色えんぴつ画の世界が結成

6) 利用者懇談会・同好会連絡会

内 容 高齢者活動センター運営及び事業の企画に反映させるため利用者の意見や要望を聴き、センターの利用ルールなどの情報を共有する。また、同好会活動の部屋申請、及び情報共有や利用者の意見や要望を聴く。

<令和6年度主な実施内容>

- ・利用者懇談会・同好会連絡会（計6回）

②利用者有志・その他手作り事業

内 容 高齢者活動センター利用者有志が主体的に教える講習会、大会等の開催
 <令和6年度主な実施内容>

- ・おりがみ講習会（計23回、参加者46名）
- ・ビリヤードご新規 day（計23回、参加者93名）
- ・卓球ご新規 day（計13回、参加者27名）
- ・ゴルフご新規 day（計26回、参加者66名）
- ・麻雀ご新規 day（計22回、参加者242名）



(6) 季節・レクリエーション事業

予算決算 令和6年度 決算額 906,647円
 令和7年度 予算額 599千円

①季節行事

目 的 季節行事への参加や劇場等での芸能鑑賞が困難な高齢者への機会提供

内 容 ・伝統的なものから新しいものまでの季節行事
・音楽・映画や舞踊などの芸能鑑賞会

<令和6年度実施内容>

実施回数：7回

主な催し（一部再掲あり）

事業名	日時	人数
しょうぶ湯	5月4日(日)	49名
納涼会 (バーチャル花火、盆踊り、オリジナルうちわ作成、ミニミニ縁日、納涼カフェを実施同好会の手作り品バザー)	8月24日(土)	参加者 延べ397名 ボランティア12名
空中庭園に行ってみよう！かき氷でひと涼み	9月29日(日)	参加者84名 運営ボランティア9名
白百合学園クリスマスコンサート	12月17日(水)	56名
ゆず湯	12月21日(日)	61名
今年もサンタクロースがやってくる！	12月21日(日)	18名
新春おたのしみ会 ～春をはこぶサイタル～ 三曲（箏・フルート・ピアノ）による演奏	1月10日(土)	58名

②その他レクリエーション

目 的 娯楽の提供

<令和6年度実施内容>

主な催し：二松学舎大学狂言ゼミナール／狂言ワークショップ[12/26]（15名）
魅惑のオペラミニコンサート[2/4]（79名）／かがやきシネマ[10月より毎月2作品の映画を上映]（226名）

（7）ふれあいクラブ

予算決算 令和6年度 決算額 2,064,578円

令和7年度 予算額 3,392千円

目 的 ひきこもり防止・解消、バランスよい食事の提供による食育効果、
地域における仲間づくり

内 容 区内出張所単位6地区における会食方式による食事サービス

地区	会場	活動日	活動回数
麴町	一番町集会室	金	22回
富士見	富士見区民館	金	22回
神保町	神保町区民館	土	22回
神田公園	スポーツセンター	土	22回
万世橋	万世橋区民館	月	22回
和泉橋	和泉橋区民館	金	22回

（8）ボランティア活動

目 的 ・福祉に携わるボランティアの育成

・ボランティア活動の場を広げることで区内ボランティア活動を活性化

・ボランティアとの協働による事業メニューの充実

内 容 ボランティア活動者を主体とした事業の実施

＜令和6年度主なボランティア活動＞

ふれあいクラブボランティア、脳トレーニングボランティア、パソコンサロン講師、スマホサロンボランティア、栄養相談、ハンドマッサージボランティア、マッサージボランティア、折り紙講習会アシスタント、ビリヤードご新規 day ボランティア、卓球ご新規 day ボランティア、ゴルフご新規 day ボランティア、麻雀ご新規 day ボランティア、かがやき大学学生アシスタント、納涼会、サンタクロース、オペラミニコンサート、5階テラス花つみ・水やり、多世代交流ボランティア、企画運営サポーター（累計561回 延べ1,786名）

（9）見学・実習等受入

目 的 ・福祉に携わる人材育成への協力
・福祉向上のための研究への協力
・高齢者福祉に対する理解促進

内 容 見学、実習、研究・取材等への協力

＜令和6年度主な受入実績＞

① 見 学	埼玉県立大学、大妻女子大学、筑波大学付属視覚特別支援学校
② 実 習	共立女子大学看護学部、上智大学、九段中等教育学校、神田一橋中学校、日本社会事業大学

4 P R 等広報活動

目 的 施設・事業利用の促進

内 容 施設案内パンフレット、事業案内パンフレット・ちらし、月報「のぞみ」、同好会案内、高齢者活動センター文集「きらめき」など各種広報紙の発行、中央エフエムのラジオ番組出演による広報活動

実 績 （月報「のぞみ」・同好会案内発行数）

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
高齢者活動センター月報「のぞみ」	30,000部／年	26,000部／年	26,000部／年
同好会案内	2,000部／年	2,000部／年	0部／年

5 健康マージャン事業

（1）ウエルネスマージャン初心者教室／全12回 5月9日（木）～8月1日（木）
令和5年度より区内3会場（錦江荘、雀友倶楽部、ガラパゴス神保町店）にて実施

① 初回オリエンテーション

日時：令和6年5月9日10時～11時30分

場所：かがやきプラザ

内容：井出洋介プロによる基調講演

② 第2回～12回初心者教室

各会場実施日・錦江荘：毎週木曜日 午前10時～12時30分

・雀友倶楽部：毎週火曜日 午前10時～12時30分

・ガラパゴス神保町店：毎週日曜日 午前9時30分～12時

参加費：1回1,500円

年度	令和6年度	令和5年度	令和4年度
参加者数	22名	27名	37名

(2) 千代田区いきいき健康マージャン交流祭（場所：KKRホテル東京）

目 的	健康マージャンを通じて楽しみながら手先と脳を使い、ひきこもり防止、健康増進、を図るとともに、健康について意識してもらい、千代田区の高齢者福祉に寄与します。また、健康マージャン教室終了後の地域のつながり、高齢者の仲間、居場所づくりを図ります。
根 拠 内 容	千代田区いきいき健康マージャン交流祭実施要綱 ・1対局50分×3回を手積みで実施。 ・井出洋介プロによるプチ脳トレ講座。
予算決算	令和6年度決算額 2,546,613円 令和7年度予算額 2,295千円
沿 革	平成27年度より毎年実施。 ※令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により中止。

年度	令和6年度(第10回)	令和5年度(第9回)	令和4年度(第8回)
開催日	9月16日（月・祝）	9月18日（木・祝）	2月23日（木・祝）
参加者数	91名	94名	75名

6 高齢者体力維持支援等業務（シルバートレーニング）※区委託事業

目 的	参加者が運動機能等の維持改善を図る方法を身につけ、在宅でも体力維持を行い、住み慣れた地域において自立した生活を送れるように運動指導や情報発信等を行う。また、自主グループ作りの支援等を行い、業務終了後も参加者が自主的に介護予防に取り組めることを目指す。
内 容	シルトレ運営業務
予算決算	令和6年度決算額 23,922,934円 令和7年度予算額 29,234千円
沿 革	
令和2年	5月より受託運営開始。コロナ禍によりシルトレ通信発行業務、電話対応業務を受託。
令和3年	4月より12会場で原則月1回参加の「シルトレ塾」を実施。各会場講師1名とサブスタッフ2名配置。 同年6月より月2回参加の要望が強く、「シルトレ」として隔週参加に調整し運営。 同年11月より、サブスタッフ制を終了し、講師1名と職員1名体制で運営。
令和4年	毎週1回参加できるよう、会場を16コースでスタート。講師2名体制で運営し、月1回職員の訪問を実施。 参加者数の増加により、同年5月からかがやきプラザ及び神保町区民館、6月から万世橋区民館、10月から岩本町ほほえみプラザを2部制に変更。和泉橋区民館は2部参加者が予想した人数よりも大きく下回り、会場のレイアウトを工夫した結果、5月より1部制に変更。 同年3月より、いきいきプラザ一番町は金曜日に映像投影のシルトレを開始。 3月末時点で、会場20コースに増加。
令和5年	令和4年度に「その他講習会」として実施した体力測定会とマット運動に関して、区の事業のフレイル測定会の年間回数が増加したこと、参加者の自主化に対するニーズが高くないため、本年度より中止。 参加者数の増加により、6月より富士見区民館が2部制に変更。 和泉橋区民館が改修工事のため、同年9月より、ちよだパークサイドプラザを代替会場として実施。また、神田公園区民館が改修工事のため、同年11月から1月までの3カ月間、スポーツセンターを代替会場として実施。

3月末時点で、会場21コースに増加。

事業実績

会場	曜日／時間	実施回数	のべ参加者数
万世橋区民館	月曜 ① 9:30～10:30 ② 10:45～11:45	84回	1,220人 ・男188人 ・女1,032人
富士見区民館	月曜 ① 13:30～14:30 ② 14:45～15:45	84回	1,226人 ・男264人 ・女962人
麴町区民館	火曜 ① 9:30～10:30 ② 10:45～11:45	98回	1,615人 ・男296人 ・女1,319人
岩本町ほほえみプラザ	水曜 ① 9:30～10:30 ② 10:45～11:45	100回	2,636人 ・男614人 ・女2,022人
神保町区民館	水曜 ① 13:30～14:30 ② 14:45～15:45	100回	1,738人 ・男214人 ・女1,524人
いきいきプラザ一番町	水曜 ① 13:30～14:30 ② 14:45～15:45	100回	1,992人 ・男328人 ・女1,664人
いきいきプラザ一番町 ※6月より2部制で実施	木曜／10:00～11:00 木曜（6月～） ① 9:30～10:30 ② 10:45～11:45	89回	1,494人 ・男319人 ・女1,175人
神田公園区民館	木曜 ① 13:30～14:30 ② 14:45～15:45	98回	1,176人 ・男118人 ・女1,058人
かがやきプラザ	金曜 ① 9:30～10:30 ② 10:45～11:45	98回	2,732人 ・男691人 ・女2,041人
万世橋区民館（投影）	金曜／10:00～11:00	49回	396人 ・男36人 ・女360人
ちよだアートスクエア （旧：アーツ千代田3331）	金曜／10:30～11:30	49回	616人 ・男21人 ・女595人
いきいきプラザ一番町 （投影）	金曜／11:00～12:00	49回	313人 ・男7人 ・女306人
和泉橋区民館 ※9月～12月改修工事のためちよだパークサイドプラザにて実施	金曜／13:30～14:30	49回	819人 ・男70人 ・女749人
合計		1,047回	17,973人 ・男3,166人 ・女14,807人

IX ちよだで多世代交流Ciao!の運営（平成28年1月から指定管理受託）

ちよだで多世代交流Ciao!は、平成28年1月に高齢者総合サポートセンター（かがやきプラザ）に開設し、千代田区社会福祉協議会が管理運営を行っています。かがやきプラザ1階ひだまりホールを多世代交流拠点として、多世代の出会いや交流を促進し、活力ある地域社会を目指します。

また、さまざまな世代の区民が多世代交流事業を運営するボランティア等として活躍できる場を提供することで、センター利用者はもとより、子どもから高齢者まで多くの区民が互いに交流できるイベントを実施します。

沿革 平成28年1月より高齢者総合サポートセンターの開設に伴い、事業開始。
世代間交流を通じ、住民同士が挨拶のできる関係を築けるよう、事業名を「Ciao」（チャオ）と名付ける。

1 利用対象等

①利用対象	区民、在学者、在勤者、その他
②休業日	毎月第1日曜日（ただし、事務室業務時間は、原則として、祝日を除く月曜日から金曜日の8時30分から17時まで）



2 事業等実施状況概要

	令和6年度		令和5年度	
	回数	延べ参加者数	回数	延べ参加者数
あそび講座	0回		1回	108名
多世代交流カレッジ	13回	439名	14回	425名
ひだまりサロン	11回	225名	14回	355名
多世代交流食堂 かがやキッチン	6回	93名	4回	30名
協働事業	29回	689名	29回	343名
その他企画・活動	17回	482名	13回	345名
見学・実習・その他取材	15回	17名		
ボランティア参加者数		456名		401名
合計	91回	2,401名	75回	2,007名

3 事業内容

（1）多世代交流事業

予算決算 令和6年度 決算額 2,356,152円

令和7年度 予算額 3,418千円

目的 多世代交流拠点として、多世代の出会いや交流を促進し、活力ある地域社会を目指す。

① 多世代交流カレッジ

内 容 子どもから高齢者まで年齢を問わず、工作などのワークショップ等を通じた多世代での交流を図る。

事業名	日時	内容	参加者
おんがくとあそぼう 「ミュージック・クロック」	6月1日	東京文化会館 音楽を通じた交流	66名
みんなでつくろう！ 手づくり味噌講座	8月6日	大妻女子大学 味噌作りを通じた交流	50名
体験しよう！ 初めてのブラインドサッカー	8月17日	アイマスクをしてのコミュニケーション、ブラインドサッカー 体	17名
ひだまり俳句教室～夏～ 木簡を作ろう	8月25日	木簡作成し、季節の俳句を詠む	10名
おんがくとあそぼう 「One Day コーラス」	9月28日	東京文化会館 音楽を通じた交流	36名
ひだまり俳句教室～秋～	11月10日	季節の俳句を詠む。	12名
味噌交流会&冬の手づくり味噌講座	2月5日	大妻女子大学 味噌作りを通じた交流	35名
ひだまり俳句教室～冬・春～	2月9日	季節の俳句を詠む。	15名
はじめましてクラシック	2月23日	東京文化会館 音楽を通じた交流	105名
太古の地球を感じよう ～化石発掘体験～	3月15日	いわき市アンモナイトセンター 化石発掘体験を通じた交流	83名
アート日和 「ひらり舞う 蝶のモビール」	3月20日	蝶のモビール制作を通じた交流	10名



② ひだまりサロン

内 容 1階ひだまりホールでの定例のサロンとして、運営の主体は地域団体やボランティアが担い、毎月さまざまなプログラムを実施し、参加者同士が年齢を問わず交流し、顔見知りとなりゆるやかなつながりをつくる。

事業名	日時	内容・講師等	参加者数
こいのぼり工作サロン	4月27日	高齢者活動センター企画運営サ ポーターによる企画	26名

わくわく電車タイム!	5月25日	法政大学市ヶ谷鉄道研究会	34名
七夕飾りで交流しよう!	6月22日	ハンズオン東京	22名
今年の夏は浴衣でお出かけ ～帯結びと髪飾り～	7月27日	ボランティアセンター登録グループ「なでしこフレンズ」により交流企画	9名
ハワイアンタイム with 法政大学フラサークル	9月21日	法政大学公認フラサークル Na Pua Alani	14名
Ciaoでハロウィンを楽しもう!	10月26日	ハンズオン東京	21名
クラフトバンドでリース作り ～クリスマスもお正月も～	11月30日	ボランティアセンター登録グループ「なでしこフレンズ」により交流企画	32名
卓上カーリングであそぼう ～Ciaoでレッツ!カーレット!!	12月21日	高齢者活動センター企画運営サポーターによる企画	10名
「ほめ達」×「どうぶつ占い」の魔法	1月25日	五十嵐雅子氏	18名
～パラグアイ伝統レース編み～ ニャンドゥティで交流しよう!	2月22日	パラグアイ大使館	26名
卓上カーリングであそぼう ～Ciaoでレッツ!カーレット!!	3月22日	高齢者活動センター企画運営サポーターによる企画	13名

② その他企画

〈1〉 ボッチャ活動

内 容 多世代の参加者がイベントを楽しみながら交流の場を体感する。



事業名	日時	内容	参加者数
ボッチャひろば	6月29日	参加者同士のボッチャによる交流	18名
	9月22日		16名
	10月12日		367名

※10月12日はふれあい福祉まつりのプログラムとして多団体と協働して実施

事業名	日時	内容	参加者数
ボッチャ交流会 (フレンズビレッジちよだ)	8月22日	ボランティアとボッチャを通じた交流	20名
	3月27日		25名



	赤	青
1	0	1
2	1	0
計	1	1



〈2〉季節・協カイベント

事業名	日時	内容	参加者数
明月会	4月14日	渡辺一二三氏による俳句を通じた交流会の支援	5名
	9月29日		5名
	12月14日		8名
	3月9日		10名
コーヒーサロン	7月28日	バリスタボランティアによる交流サロン	12名
	2月16日		13名
チャオの哲学カフェ	7月28日	哲学対話を通じた交流	12名
	2月16日		12名
かがやき納涼会×多世代交流Ciao!ミニミニ縁日	8月24日	高齢者活動センター企画運営サポーターによる企画	58名
かがやき納涼会×多世代交流Ciao!納涼カフェ	8月24日	バリスタボランティアによるコーヒーの提供	65名
かがやき納涼会×多世代交流Ciao!バーチャル花火大会	8月24日	ひだまりホールに花火の映像を投影し、交流の場にする	75名
多世代交流Ciao×かがやき大学「植物の不思議を知ろう！」	11月16日	5階テラスの花植え、ハーブ体験を通じた交流	37名
チャオのクリスマスコンサート	12月14日	響芸インターナショナル合同会社による和洋楽器コンサート	53名
東京文化会館	1月26日	音楽家のためのプロフェッショナル・トレーニング	9名
節分福まき会	2月1日	豆まきとマジックショー	74名

〈5〉多世代交流食堂かがやキッチン

内 容 地域の調理ボランティアと中高生～大学生の配膳ボランティアが活躍する食事会。

令和5年度より4年ぶりに再開。一人暮らし高齢者等を招いて交流した。

事業名	日時	内容	参加者数
多世代交流食堂かがやキッチン（練習会）	5月12日	食事を通じた住民同士の交流 ※年度当初の2回は「練習会」を実施。参加者より意見を聞く会とした。	17名
多世代交流食堂大妻キッチン	5月18日		8名
多世代交流食堂かがやキッチン	6月23日		16名

多世代交流食堂かがやキッチン (練習会)	10月20日		18名
多世代交流食堂かがやキッチン	11月17日		20名
多世代交流食堂かがやキッチン	2月18日		14名

(2) 協働事業

内 容 ボランティア、他団体や他事業者等との協働による事業

団体名	企画名	日付	参加者数
IVUSA 東京市ヶ谷クラブ 	e スポーツクラブ	4/6	7名
		5/11	6名
		6/8	7名
		7/6	1名
		10/5	6名
		11/2	8名
		12/7	3名
		1/11	7名
		2/1	5名
ボードゲームによる居場所づくり 『ココラボ』	ボードゲームを作って楽しもう！	3/1	8名
		5/19	1名
		6/30	1名
		7/28	1名
	ボードゲームを楽しもう！ ①遊ぶ部 ②作る部	8/25	0名
		9/29	1名
		10/27	5名
		11/24	2名
法政大学市ヶ谷鉄道研究会	わくわく電話タイム	12/15	2名
		6/30	39名

	with 法政大学市ヶ谷鉄道研究会	11/24	32 名
ハリ書房	チャオのビブリオトーク	8/21	1 名
法政大学ボランティアセンターVSP	編み物でつながる多世代交流	8/29	12 名
白百合学園中学高等学校	白百合学園クリスマス合奏・合唱会	12/17	28 名
田中 宗一 氏 他	トロンボーンアンサンブルコンサート	3/23	64 名
法政大学ボランティアセンターVSP	ブラインドサッカーから学ぶ心のバリアフリー	3/28	24 名
法政大学ボランティアセンターVSP	手づくり人生ゲーム会！	3/30	6 名



（３）ボランティア活動

目 的

- ・福祉に携わるボランティアの育成
- ・ボランティア活動の場を広げることで区内ボランティア活動を活性化
- ・企業や NPO・福祉団体等、協働による事業メニューの充実

内 容

ボランティア活動者を主体とした事業の実施
（累計 76 回 延べ 456 名）



X 研修センターの運営（平成27年度から指定管理受託）

研修センターは、平成28年1月に千代田区が開設した高齢者総合サポートセンター（愛称：かがやきプラザ）を構成する5拠点のひとつである人材育成・研修拠点として整備され、開設当初から千代田区社会福祉協議会が指定管理者として運営しています。

福祉ボランティア、家族介護者、介護・福祉サービス等従事者の育成を目的とした事業や、介護サービスと医療サービスの連携を強化する研修、そして、介護・福祉分野への人材参入促進を目的とした事業など、高齢者の在宅生活継続を支援する人材の育成を通じ、高齢者総合サポートセンターの設置目的である地域包括ケアシステムの推進を行っています。

沿革

- 平成27年10月 千代田区より人材育成・研修拠点の指定管理者として事業を受託。
千代田区社会福祉協議会事務局内(西神田庁舎)に研修センター(準備室)を開設
- 平成28年 1月 高齢者総合サポートセンターに事務所を移転。研修センターとして、事業を開始

1 施設概要

室名	規模等	備考
① 研修室1	定員45人	研修室1・2は連結しての使用も可能
② 研修室2	定員42人	
③ 研修室3	定員39人	
④ 閲覧室	席数12	福祉情報誌、福祉関連図書、大活字本、千代田にゆかりの文豪全集等を収蔵
⑤ 保育・授乳室	おむつ換え台×1 キッズスペース×1 授乳スペース×2	研修センター事業ほか、かがやきプラザ事業参加者・利用者と、乳幼児連れの方による利用を想定

2 利用対象等

①利用対象	区民、区をサービス範囲に含む介護・福祉事業所等従事者、在勤者、在学者、ほか一般
②休業日	毎月第1日曜日（ただし、事務室業務時間は、原則として、祝日を除く月曜日から金曜日の8時30分から17時まで）

3 事業等実施状況概要

	令和 6 年度		令和 5 年度	
	講座開催回数等	延べ参加者数	講座開催回数等	延べ参加者数
(1) ボランティアの育成と活動支援	15 回	215 名	15 回	264 名
(2) 家族介護者のスキルアップ	6 回	130 名	7 回	108 名
(3) 介護・福祉従事者のスキルアップ	69 回	1,840 名	66 回	1,365 名
(4) 区民向け福祉・医療学習	6 回	1,723 名	8 回	448 名
(5) 介護・福祉人材の育成と就職・復職支援①	4 回	87 名	3 回	82 名
(6) 介護・福祉人材の育成と就職・復職支援②	—	16 名		
(7) 介護カウンセリング	24 回	33 名	24 回	29 名
(8) 協力事業	0 回	0 名	1 回	17 名
合計	124 回	4,044 名	124 回	2,313 名
閲覧室利用開放	349 回	—	350 回	—
中学生向け自習スペース開放 (R5 度試行実施し終了)	—	—	48 回	24 名

※介護・福祉人材の育成と就職・復職支援②は受講費助成・施設実習受入助成の人数

4 事業内容

(1) ボランティアの育成と活動支援

予算決算 令和 6 年度 決算額 518,993 円
 令和 7 年度 予算額 1,108 千円
目 的 高齢者の生活を支援するボランティアの育成を行います。



① ボランティアの育成

事業名	日 時	内 容	参加者数
認知症サポーター養成講座	5 月 29 日 10 月 30 日 2 月 15 日	認知症を理解し、認知症の人とその家族を見守り、ちょっとした声かけや手助けができるサポーター養成講座	26 名 21 名 30 名
あなたを狙う悪質商法	11 月 14 日	契約の基礎知識、消費生活トラブルの事例、対処法などについて学ぶ	14 名
「見守り」で防ごう！高齢者の消費者トラブル	11 月 19 日	高齢者を狙う悪質商法の手口と対処法、見守りのポイント、被害発見時の対応などを解説	8 名
地域デビュー応援講座 ～マジック習得であなたも地域デビュー！～	11 月 16 日 11 月 23 日 11 月 30 日	プロマジシャンからマジックを習い、3 回目に区内の福祉施設で披露する。地域のボランティア活動や趣味のサークルを知る	11 名 10 名 7 名

認知症サポーターステ ップアップ講座	12月3日 12月17日 2月18日	認知症サポーター養成講座を修了 した方を対象にした、認知症と共 に暮らせる地域を作るための実践 講座	9名 7名 5名
認知症サポーターステ ップアップ講座 ボラ ンティア体験	1月1日～ 1月31日	区内の認知症カフェでのボランテ ィア体験	14名
認知症サポーターステ ップアップ講座 座談 会	3月11日	認知症カフェの運営に向けて参加 者の意見交換を実施	4名

②地域活動実践者支援

事業名	日 時	内 容	参加者数
目指そう「心のバリアフ リー」！合理的配慮につ いて学ぶ研修	9月28日	合理的配慮とは何か、合理的配慮が 求められた場面での対応の仕方、過 重な負担のボーダーラインはどこな のかについて学ぶ研修	25名
コロナ後に見えてきた 千代田区の生活困窮～ 孤独・孤立について考え る～	2月6日	コロナ後の生活困窮者の現状につい ての学習会	24名

（２）家族介護者のスキルアップ

予算決算 令和6年度 決算額 289,318円
令和7年度 予算額 720千円

目 的 家族介護者、高齢者の生活支援に携わる人向けに
介護の知識と技術が学べる講座を実施し、家族
等の負担軽減を図ります。



①高齢者の権利擁護・虐待防止の講座

事業名	日 時	内 容	参加者数
高齢者虐待防止研修映 画上映会 「ベトナムの風に吹か れて」	11月2日	認知症の母を自分の住むベトナム に呼び寄せて暮らし始めた娘と母 の日常を描いた映画。 区在宅支援課職員が区の高齢者の 特徴について話し、虐待防止への理 解を図る上映会	32名

②講座・講習会

事業名	日 時	内 容	参加者数
第1回かがやき介護 スクール 『介護者のためのセルフ ケア講座～基礎編～』	8月31日	公認心理師・臨床心理士の講師より、セルフケアについて学ぶ講座	8名
第2回かがやき介護 スクール 『介護者のためのセルフ ケア講座～実践編～』	10月5日	公認心理師・臨床心理士の講師より、セルフケア実践方法について学ぶ講座	9名
第3回かがやき介護 スクール 『家族と自分にちょう どいい食生活』	11月9日	時短・簡単な調理法で栄養失調に陥らぬようなメニューを管理栄養士から学ぶ講座	11名
第4回かがやき介護 スクール 『シニア向け健康ミニ 講座とQ&A』	11月28日	「シニア向け健康ミニ講座とQ&A」 薬剤師による栄養と薬に関する講座	8名
第5回かがやき介護 スクール 『落語で楽しくまなぶ エンディングノート』	1月25日	いつか訪れる人生の締めくくりにそなえるエンディングノートについて、落語で楽しく学ぶ	62名

(3) 介護・福祉従事者のスキルアップ

予算決算 令和6年度 決算額 2,966,555円

令和7年度 予算額 4,597千円

目 的 区内にサービス提供を行う介護・福祉職等のスキルアップ研修を行います。

①介護職・福祉職向けスキルアップ研修

【基本編】

事業名	日 時	内 容	参加者数
千代田区の地域特性	4月1日～ 4月30日	「千代田区の地域特性」について動画で学ぶ研修【オンデマンド】	38名
千代田区地域福祉計画・ 地域福祉活動計画	5月1日～ 5月31日	「千代田区地域福祉計画・地域福祉活動計画」について動画で学ぶ研修【オンデマンド】	6名
千代田区福祉施策研修	5月16日	千代田区の高齢者の現状や地域特性について学び、在宅生活の可能性を考える講座	20名
接遇マナー研修	5月22日	介護・医療・福祉職にとって必要なマナーについて、座学・演習を通して総合的に学ぶ講座	16名
成年後見セミナー～本人の 意思を尊重した支援を 目指して～	6月20日	成年後見制度の基礎知識や、権利擁護支援、中核機関について事例を交えながら学ぶ研修	19名

第1回介助技術研修	7月9日	身体能力を引き出す姿勢を理解し、腰痛予防の基礎と車いす座位のなおし方について、講義と実技から学ぶ研修	9名
第2回介助技術研修	7月16日	ボディメカニクスを理解しながら、歩行介助、床からの起き上がり介助等について講義と実技から学ぶ研修	11名
調理スキルUP講座	8月9日	調理の苦手なヘルパーに向け、限られた食材・時間で作る調理のコツを講義と調理実習を通して学び、身に着ける研修	9名
未来をつくる kaigo カフェ at ちよだ	8月21日	「これからどうなるケアラー支援」～ダブルケア・ヤングケアラー支援を考える～をテーマに講義と座談会から学ぶ研修	71名
IT・ICT活用セミナー	9月18日	デジタル用語の解説、ペーパーレス化への取り組み事例を知り、IT・ICTを活用できるようになるための研修	3名
好きな時間でeラーニング研修	4月	介護職が必要な知識をオンラインで時間や場所を問わず学べるeラーニングシステム（e care labo）を活用した研修【オンデマンド】	39名
	5月		49名
	6月		41名
	7月		39名
	8月		49名
	9月		50名
	10月		50名
	11月		50名
	12月		50名
	1月		50名
	2月		50名
	3月		50名

【中級編】

事業名	日時	内 容	参加者数
医療知識研修「コロナ禍により増加した依存症～A10細胞フィードバック機能障害～」	6月11日 ～6月26日	「コロナ禍により増加した依存症～A10細胞フィードバック機能障害～」についての講義 【オンデマンド】	32名
医療知識オンライン研修「看取り期の高齢者が発するサイン」～九段坂病院共催～	7月1日 ～7月16日	九段坂病院共催「看取り期の高齢者が発するサイン」についての講義 【オンデマンド】	24名

医療知識オンライン研修「高齢者の嚥下障害のアセスメント」～九段坂病院共催～	9月9日～9月24日	九段坂病院共催「高齢者の嚥下障害のアセスメント」についての講義 【オンデマンド】	29名
想いや強みを引き出す面接技術研修	7月23日	講義とロールプレイ演習より、利用者の想いや強みを引き出すための面接技術を学ぶ研修	13名
「重層的支援体制整備事業と地域づくり」	8月1日～8月30日	昨年度収録した「重層的支援体制整備事業と地域づくり」について動画で学ぶ 【オンデマンド】	9名
具体事例から学ぶ高齢者・障害者への虐待防止	10月4日	施設における虐待にどのようなものがあるのか事例をもとに学び、実際に起こった時の対応と予防の仕組みづくりについて学ぶ研修 【対面】	18名
	12月13日～1月14日	10月4日に対面にて開催した「具体事例から学ぶ高齢者・障害者への虐待防止研修」の様子を録画したものを配信 【オンデマンド】	14名
現場で役立つ！高齢者の嚥下障害の具体的ケア～九段坂病院共催～	11月20日	嚥下障害を予防するための具体的な口腔ケアの実技をはじめ、嚥下訓練・職形態の調整・食事環境などについて学ぶ	13名
介護現場におけるカスタマーハラスメント研修	12月10日	具体的な事例を基に、カスタマーハラスメントの予防策・法的対処法を学ぶ研修 【対面】	50名
	2月17日～3月18日	12月10日に対面にて開催した「介護現場におけるカスタマーハラスメント研修」の様子を録画したものを配信 【オンデマンド】	6名
千代田区保健所と区内訪問看護事業所・居宅介護支援事業所の情報交換会	12月20日	千代田区内をサービス提供地域とする訪問看護・居宅介護事業所と区保健所の保健師等が集い、互いの職務の理解や地域の課題を共有し、更なる連携の発展に向けた情報交換会	26名
千代田区障害者よろず相談 Light 共催 支援困難事例への対応	1月22日	支援を困難にする要因や対応方法について、講義やワークを通して考える	20名

【上級編】

事業名	日 時	内 容	参加者数
第1回ちよだケアマネ連絡会楽習会	5月30日	R6年度介護保険法改正について学ぶ研修	33名
第2回ちよだケアマネ連絡会楽習会	9月11日	災害時の対応(BCPの具体的活用)について学ぶことで、実際に災害が起きた時に千代田区のケアマネジャーとしてできる事を考える研修	28名

第3回ちよだケアマネ 連絡会楽習会	12月10日	【中級編】「介護現場におけるカス タマーハラスメント研修」を共催 にて開催。（再掲）	50名
第4回ちよだケアマネ 連絡会楽習会	2月21日	区内医療ソーシャルワーカーより 入退院等の連携、在宅患者と医師 との連携の取り方を学び、ワール ドカフェ方式で情報共有を行う講 座	35名
第1回スーパービジョ ン型事例検討会	7月19日	区内福祉・介護・医療職員より事 例を提供してもらい、スーパーバ イザーとの事例検討を通してスー パーバイズの視点や考え方を学ぶ 研修	18名
第2回スーパービジョ ン型事例検討会	11月26日		15名
第1回多職種協働研修 メンタルの問題のある 方へのチームアプロ ーチを考える	9月2日	医療と介護の両職種が、高齢者の在 宅療養支援における連携・協働の意 義と方法について、講義とグループ ワークで学び、相互理解を深めるた めに実施	68名
第2回多職種協働研修 在宅終末期のケアのあ り方を考える	1月31日		55名

(2) その他

事業名	日 時	内 容	回答者数
研修ニーズに関するア ンケート調査	10月2日～ 11月30日	区内介護事業所の管理者に研修事 業の要望を聞くアンケート調査	58名

②認知症ケア研修

（「認知症とともに、安心して暮らし続けられるまちへ」を基本テーマに開催）

事業名	日 時	内 容	参加者数
第1回 認知症の人と創るまち ～共生社会の今～	5月14日	認知症の本人視点のまちづくりの 実情を学び、今後の認知症への取り 組みを見据えたディスカッション や参加者を交えての意見交換等も 行う講座	30名
第2回 未来につなぐ認知症ケ ア～誰のため、何のため の福祉なのか～	6月26日	「住み慣れた地域で、最期まで暮ら していく」ことを叶え、すべての人 が安心して暮らせるまちについて 考える講座	39名
第3回 ミーティングセンター ってなあに？～オラン ダ発の取り組みが千代 田区でも～	7月24日	「ミーティングセンターってなあ に？」認知症の人と家族の一体的支 援プログラムについて、発祥の地オ ランダで学び、日本に紹介した講師 の話や実際の活動事例について学 ぶ研修	30名
第4回 オレンジは認知症の 色？アロマキャンドル をデコろう	8月3日	小学生向け認知症サポーター養成 講座を受講後、オレンジのアロマキ ャンドルを作成する講座	25名

第5回 共生社会は実現する？ ～認知症基本法が目指すもの～	9月12日	区内介護・福祉職従事者のスキルアップと介護サービスの質の向上のため、社会福祉士資格取得支援を実施	35名
第6回 認知症と共に生きる	10月29日	「認知症と共に生きる」認知症当事者である丹野智文氏を迎え、当事者だからこそ語れるエピソードを聞き、新たな気づきを得る。	43名
第7回 認知症の“人の気持ち” ～心に寄り添い、地域で支える～	11月7日	「認知症の人の気持ち～心に寄り添い、地域で支える～」認知症当事者や、地域の子供たちが綴った言葉を基に認知症の人の気持ちや支える側の心持ちを学ぶ	19名
第8回 千代田区認知症ケアの 取り組み発表会	1月17日	区内介護施設6事業所の取り組みを発表する区民向け講座 区内介護関連事業所等が集まり、それぞれが実施している認知症ケアに関する取り組みを発表	24名
第9回 認知症の診断後支援 ～当事者と専門職が協働する～	2月7日	認知症の診断を受けた方を長年に渡り支援してきた医師である講師より、新しい認知症観・ピアサポート・認知症の新薬について学ぶ	32名
第10回 家族介護を経験した脳 科学者が母から学んだこと	3月19日	認知症の母と関わってきた、脳科学者である講師の経験から、認知症の方との関わりについて考える講座	48名



③認知症の人と家族の一体的支援プログラム『ミーティングセンター』（試行事業）

事業名	日時	内 容	参加者数
認知症の人と家族の一体的支援プログラム『ミーティングセンター』	6月24日	家族を一つの単位として、一体的に支援を行う事業。月に一度、家族と本人が話し合い、思いを共有し、共に活動	6名
	9月25日		6名
	10月23日		6名
	11月27日		6名
	12月10日		7名
	12月25日		5名
	1月22日		6名
	2月26日		6名
	3月11日		7名
	3月26日		6名

③コーディネーター連携推進プログラム（共催）

事業名	日 時	内 容	参加者数
地域づくり実践研修(連携強化編)「千代田区の地域特性」	1月24日 ～2月14日	「千代田区の地域特性」について動画で学ぶ 【オンデマンド】	24名
地域づくり実践研修(連携強化編)「千代田区の地域福祉施策」	1月24日 ～2月14日	「千代田区の地域福祉施策」について動画で学ぶ 【オンデマンド】	24名
地域づくり実践研修(連携強化編)「重層的支援体制整備事業と地域づくり」	1月24日 ～2月14日	「重層的支援体制整備事業と地域づくり」について動画で学ぶ 【オンデマンド】	24名
地域づくり実践研修(連携強化編)「多機関・専門職連携による個別支援と地域支援」と「事例検討とグループワーク」	2月14日	地域福祉を推進するコーディネーター業務に携わる人材に共通して求められる知識・技能を学習する機会と包括的支援体制に向けた連携強化を図る研修	22名

④資格取得への支援

事業内容	日 時	内 容	参加者数
介護福祉士国家試験勉強法のコツ講座	8月22日	区内介護・福祉職従事者のスキルアップと介護サービス質の向上のため、介護福祉士資格取得支援を実施	7名
社会福祉士国家試験勉強のコツ講座	9月12日	区内介護・福祉職従事者のスキルアップと介護サービス質の向上のため、社会福祉士資格取得支援を実施	0名
社会福祉士国家試験対策自主勉強会	9月25日	「人体の構造と機能および疾病」 「心理学理論と心理支援」	1名
	10月9日	「社会理論と社会システム」 「現代社会と福祉」	0名
	10月23日	「地域福祉の理論と方法」 「福祉行財政と福祉計画」	1名
	11月8日	「社会保障」「障害者に対する支援と障害者自立支援制度」	0名
	11月27日	「低所得者に対する支援と生活保護制度」「保健医療サービス」	1名
	12月11日	「権利擁護と成年後見制度」 「社会調査の基盤」	0名
	12月25日	「相談援助の基盤と専門職」 「相談援助の理論と方法」	0名
	1月8日	「福祉サービスの組織と経営」「高齢者に対する支援と介護保険制度」	1名
	1月22日	「児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度」「就労支援サービス」「更生保護制度」	0名

介護福祉士国家試験筆記直前対策講座	12月8日	介護福祉士国家試験に向けての対策講座	9名
社会福祉士・精神保健福祉士直前対策講座	12月15日	社会福祉士国家試験に向けた直前対策講座	7名

（４）区民向け福祉・医療学習

予算決算 令和6年度 決算額 265,000円

令和7年度 予算額 344千円

目 的 福祉に対する理解促進と活動参加のきっかけづくりを目的として、他者への思いやり、介護職への理解、障がいへの理解等、福祉への理解を広めるイベントを開催します。



① 区民向け医療学習

事業名	日 時	内 容	参加者数
九段坂病院共催区民公開講座 「認知症についてもっと知ろう」	11月30日	認知症の正しい知識と対応を理解し、自分や周囲の人が認知症になったときに備える。	20名

② 区民向け福祉学習（福祉への理解を深める上映会）

事業名	日 時	内 容	参加者数
「こんな夜更けにバナナかよ」	6月15日	障害者の生活およびボランティア活動への理解を促し、区民によるボランティア活動を促進するための上映会	45名
「最高の人生の見つけ方」	1月18日	終活をテーマにした映画を上映し、エンディングノートへの関心を促進するための上映会	72名

③ 区民向け福祉講座（障がいへの理解促進講座）

事業名	日 時	内 容	参加者数
ふくしまつり「フクシチャレンジ」	10月12日	福祉体験プログラム(手話／視覚障害体験／車いす体験／ノルディックウォーク)を通して、障がいへの理解促進を図る講座	1,441名
十人十色の発達障害	8月27日	発達障害に対する地域住民の基礎的な理解を深めるための研修	40名
チョコっとバリアフリー体験	2月11日	車いす体験、手話体験、アイマスク体験、妊婦体験、高齢者疑似体験などを通して障がいやバリアフリーを学ぶ	105名

④ 閲覧室の運営

介護・福祉関係の書籍や月刊誌をそろえ、区内の介護・福祉の職場で働く人や関心をもつ人の学びの場として、また、介護・福祉



の仕事への理解促進を図るために、閲覧室
を運営します。

年 度	令和6年度	令和5年度	令和4年度
閲覧室利用開放	349日	350日	335日

（５）介護・福祉人材の育成と就職・復職支援

予算決算 令和6年度 決算額 1,310,162円

令和7年度 予算額 4,077千円

目 的

求職者・潜在資格者等に対する区内福祉
事業所等への就労支援・現場復帰支援や、
区内の介護・福祉人材の養成校と介護・
福祉事業者との連携により、区内への
質の高い介護・福祉人材確保を図ります。

沿 革

①介護・福祉のしごと合同面接会 平成28年度より実施

②介護・福祉人材の育成と就職・復職支援 平成29年度より実施



①介護・福祉のしごと相談会

事業名	日 時	内 容	参加者数
現場リーダー向け後輩 指導研修	1月23日	心理的安全性を高める会話の実例・ メンタルヘルスについて学ぶ	6名
人材採用につながるチ ラシと SNS 活用術	1月17日～ 2月17日	SNS 等の媒体を効果的に活用する方 法を学び、自法人の価値観や強み、 採用戦略を整理し明確にする研修 【オンデマンド】	2名
トークイベント「マッ チョ介護の創設者が語る 介護の未来」（介護の仕 事入門セミナー）	3月1日	マッチョ介護士が登場、また介護職 の魅力について丹羽悠介氏が語る トークイベント	38名
介護・福祉のしごと 就職フェアちよだ	3月1日	出展施設・事業所による PR タイム ならびに就職に関する相談・面接会	38名

②介護職員初任者研修・介護福祉士実務者研修受講費助成

目 的 介護職員初任者研修の受講助成を通じ、区内介護施設等で働く介護職の就労
促進を図ります。

対 象 18歳以上の区内在住、在勤、在学、その他どなたでも

内 容 介護職員初任者研修修了後に区内介護事業所等に就労した者に、研修受講
費の助成を行います。助成限度額8万円（助成定員20名迄）

沿 革 平成28年度より実施

年 度	令和6年度	令和5年度	令和4年度
受講費助成	16件	10件	12件

③介護・福祉人材の育成と就職の一体的支援事業

目 的 人材の養成校と介護施設・事業所とのつながりを強化し、養成校への出張型
の面接会、施設見学や実習等の受入調整を行っていたが、区内介護養成校が
なくなったため、令和6年度より、一般学部の大学生を対象に介護福祉の現

場体験をすることで介護や福祉への理解促進とともに仕事の適正確認や区内施設への就職につなげられるよう支援します。
 令和6年度は二松学舎大学学生を対象に試行実施
 令和7年度から区内大学に対象を広げて実施

事業名	日 時	内 容	参加者数
区内施設・事業所への 大学生実習受入助成 「1day 体験(オープン カンパニー)」	募集 11月1日 ～29日 実施 1月～2月	「介護人材の育成と就職の一体的支援事業」施設実習受入助成 ※1施設につき5名まで助成 ①ジロール麹町 ②岩本町ほほえみプラザ	5名 (内訳) ① 3名 ② 2名

④社会福祉士・介護福祉士実習指導者講習会受講費助成

目 的 社会福祉士及び介護福祉士養成に係る実習生の受け入れ体制の強化を図り、質の高い介護・福祉人材を育成するための支援をします。
 介護福祉士実習指導者 助成上限額35,000円
 社会福祉士実習指導者 助成上限額15,000円
 (助成定員 各20名迄)

事業名	日 時	内 容	参加者数
実習指導者講習会受講費助成	通年	社会福祉士・介護福祉士実習指導者講習会受講費助成	0名

(6) 介護カウンセリング(かがやきカウンセリングルーム)

予算決算 令和6年度 決算額 476,020円
 令和7年度 予算額 495千円

目 的 介護ストレス・高齢者虐待・ターミナル期の家族の心のケア、介護の仕事に従事する職員の心のケアなどについて、専門のカウンセラーが相談に応じ、家族介護者や介護サービス従事者の負担軽減を図ります。
 令和4年度より利用促進を図るため、名称を「介護カウンセリング」から「かがやきカウンセリングルーム」に変更。
 また、認知症と診断を受けた当事者の不安や悩みに対応するため、認知症・若年性認知症の当事者も利用できるよう、対象者を拡大した。
 (毎月2回/第2水曜日・第4土曜 ※年末年始・祝日は除く)

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
実施回数	24回	24回	23回
相談件数	33件	29件	37件

(7) 広報事業(メールマガジン)

目 的 研修センター事業の情報を定期的にメールで直接登録者に配信することで、研修センターの広報を強化し、講座参加者増進を図る。

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
配信回数	12回	12回	12回
登録数	499件	461件	355件